

医療の達成度、患者満足度に係る調査

本報告書は、中央社会保険医療協議会診療報酬基本問題小委員会の付託をうけた診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会の議論を踏まえ実施された、特別影響調査「医療の達成度、患者満足度に係る調査」を取りまとめ報告するものである。

この報告書は、以下の2つの特別調査の報告からなる。

I. 医療の達成度調査

納得できる質の高い医療が達成されたか、DPC 導入後の変化を医師または看護師などの医療従事者側の観点から調査した。

II. 患者の満足度調査

DPC 導入による医療効率化が進行するなかで、患者側からみて納得できる医療展開であったか、退院まで問題がなかったかを患者側の満足度の観点から調査した。

目 次

第1章 研究概要.....	1
1. 研究の概要.....	1
2. 調査の概要.....	3
3. 調査結果の概要および今後の活用.....	5
3-1. 調査結果の概要.....	5
3-2. 研究により得られた成果の今後の活用・提供.....	6
第2章 調査結果.....	7
1. 医療達成度調査.....	7
1-1. サンプル数および回答者の属性.....	7
1-2. 調査結果.....	8
2. 患者満足度調査.....	109
2-1. サンプル数および回答者の属性.....	109
2-2. 調査結果.....	110
3. 前年度調査結果との比較分析.....	128
3-1. 比較分析の方法.....	128
3-2. 比較分析の結果.....	129
第3章 アンケート調査票.....	137
1. 医療達成度調査アンケート調査票.....	137
1-1. DPC病院および試行的適用病院対象調査.....	137
1-2. 調査協力病院対象調査.....	141
2. 患者満足度調査アンケート調査票.....	145
2-1. DPC病院および試行的適用病院対象調査.....	145
2-2. 調査協力病院対象調査.....	147

第1章 研究概要

1. 研究の概要

(1) 研究要旨

DPC 導入による診療現場への影響を評価することを目的として、患者側の満足度の観点と医療従事者の側の医療の達成度の観点からアンケート調査を実施した。調査は、DPC 病院ならびに試行的適用病院、調査協力病院で行い、医療達成度調査については医師および看護師を対象とし、患者満足度調査については調査期間の間に退院を予定する患者を対象とした。

その結果、医療の達成度についてはおおむね高い評価となっており、特に入院目的については大部分が達成できていると評価していた。一方、DPC に対する理解度は、医師の場合は比較的 understanding が進んでいるものの、看護師については非常に理解が低いことが明らかとなった。また、職員は少なからず DPC 導入に伴い医療内容が変化していると感じており、具体的には、入院期間の短縮や患者への説明の増加、クリティカルパスの利用の増加、コスト意識の高まりといった点が、変化していると感じていた。

また、患者満足度調査では、DPC の認知状況ならびに DPC 導入による影響の有無などもあわせて調査した。調査の結果、医師や看護師による医療サービス内容に対する満足度は総じて高く、特に患者の年代があがるほど満足度が高くなる傾向であった。

また、DPC 導入等の以前に入院経験のある患者のうち、8割強の患者は DPC 導入後の医療内容や入院期間に変化がなかったと回答しており、DPC の導入による患者への影響はあまり大きくないことが明らかとなった。

(2) 研究体制

	氏名	所属・役職
主任研究者	熊本 一朗	鹿児島大学病院 副病院長
研究分担者	吉田 英機	昭和大学医学部泌尿器科学 教授
	信友 浩一	九州大学大学院医療システム学 教授
	酒巻 哲夫	群馬大学医療情報部 教授

(3) 研究目的

DPC 導入による医療効率化が臨床現場で進行するなかで、患者側からみて納得できる医療展開であったか、退院まで問題がなかったかを患者側の満足度の観点から調査する必要性が生じている。

また、納得できる質の高い医療が達成されたか、DPC 導入後の変化を医師または看護師など医療従事者の側の観点から調査する必要性が生じている。

こうしたことを背景に、本研究では DPC を導入している医療機関等の患者および職員を対象とするアンケート調査を実施することにより、患者側の患者満足度と医療従事者の医療の達成度を調査測定、評価分析し、DPC 導入の影響を評価することを目的とする。

(4) 研究方法

本調査では、DPCを導入している病院等において、職員および患者を対象とするアンケート調査を実施し、その結果を分析した。

調査対象施設は DPC 病院ならびに試行的適用病院、調査協力病院とし、102 施設で調査を行った。

調査対象者は、医療達成度調査については、対象施設に所属し、DPC に関連する診療科に属する医師および看護師を調査対象とした。また、患者満足度調査については、調査期間の間に退院を予定する患者を調査対象とした。

2. 調査の概要

(1) 調査方法

本調査では、DPCを導入している病院において、職員および患者を対象とするアンケート調査を実施し、その結果を分析した。

①調査対象施設

調査対象機関は、DPC病院、試行的適用病院、調査協力病院とした。

調査対象施設数は102施設で、そのうちDPC病院が24施設、試行的適用病院が62施設、調査協力病院が16施設である。また、設置主体別では、大学病院が23施設、国立病院が10施設、社会保険病院が25施設、公的病院が7施設、民間病院が37施設である。

表 I - 1 調査対象病院一覧

	大学病院	国立病院	社会保険病院	公的病院	民間病院	計
DPC病院	23施設	1施設	—	—	—	24施設
試行的適用病院	—	8施設	25施設	1施設	28施設	62施設
調査協力病院	—	1施設	—	6施設	9施設	16施設
計	23施設	10施設	25施設	7施設	37施設	102施設

②調査対象者

ア. 医療達成度調査

対象施設に所属し、DPCに関連する診療科に属する医師および看護師全員を調査対象とする全数調査を行った。

- ・配布数 39,365
- ・回収数 29,173
- ・回収率 74.1%

イ. 患者満足度調査

調査期間の間に退院を予定する患者を調査対象とし、標本数は各施設最大500人とした。

- ・配布数 35,968
- ・回収数 22,641
- ・回収率 62.9%

③調査内容

ア. 医療達成度調査

- ・ DPC に対する理解度
- ・ 医療の達成度に対する評価
- ・ DPC の導入の医療内容への影響

イ. 患者満足度調査

- ・ 医療内容への満足度
- ・ DPC に対する認知度
- ・ DPC の導入の医療内容への影響

(2) 調査データの分析

ア. 医療達成度調査

調査結果については、全体の傾向を分析するとともに、医師、看護師の別による分析を行った。また、医師および看護師のそれぞれについて、年代別、種別（DPC の導入状況）、設置主体別、地域別、診療科別による違いを分析した。さらに、DPC の理解度と医療達成度の関係などについて、質問間でのクロス分析を行った。

分析方法は χ^2 自乗検定を用いた。

分割表分析係数により相関の強さを判定するとともに（分割表分析係数が大きいほど相関が強い）、分割表分析係数が大きい項目については危険率 5% で検定した。（ $P < 0.05$ で有意。）

イ. 患者満足度調査

調査結果については、全体の傾向を分析するとともに、性別、年代別、種別（DPC の導入状況）、設置主体別、地域別による違いを分析した。また、退院後の予定と満足度の関係について、質問間でのクロス分析を行った。

分析方法は χ^2 自乗検定を用いた。

分割表分析係数により相関の強さを判定するとともに（分割表分析係数が大きいほど相関が強い）、分割表分析係数が大きい項目については危険率 5% で検定した。（ $P < 0.05$ で有意。）

3. 調査結果の概要および今後の活用

3-1. 調査結果の概要

(1) 医療達成度調査

医療達成度調査では、DPC についての理解度および DPC 導入による医療内容等への影響の有無を調査するとともに、医療の達成度を調査した。

調査の結果、DPC についての理解度は、診断群分類、包括の範囲ともに、理解している医師は半数程度であった。また、看護師においては 1 割程度であった。その中で、年代があがるほど DPC に対する理解度も高くなるという傾向が見られた。

また、約 2 割の職員が DPC 導入後に医療内容が変化していると回答しているが、DPC に対する理解度が高いほどその回答割合は高くなっており、DPC に対する理解が医療内容に影響を与えていることがうかがわれる。具体的には、入院期間の短縮、患者への説明の増加、クリティカルパスの利用の増加、コスト意識の高まりといった点に、変化を感じている。

一方、医療の達成度については、入院前、入院中、退院時の各段階における医療サービスの提供についてはおおむね高い評価となっている。特に、入院目的については大部分が達成できていると評価している。ここでも、年代があがるほど評価も高くなる傾向がみられた。反面、入院診療費用の事前説明は十分に行われていないという点も明らかとなった。

こうした中で、DPC に対する理解度と医療の達成度に対する評価の関係をみると、両者の間には明らかな相関がみられた。大部分の医療サービスにおいて、DPC に対する理解度が高い職員ほど医療の達成度に対する評価が高くなっており、DPC に対する理解が医療の達成度に好影響を与えていることが明らかとなった。

なお、DPC についての理解度、医療達成度ともに、年代や職制（医師と看護師）による回答傾向には大きな差が見られ、また、診療科別（内科系、外科系、その他）によって回答傾向に差がみられた。一方で、医療機関の地域別や種別（DPC の導入状況）、設置主体別では大きな差はみられなかった。

(2) 患者満足度調査

患者満足度調査では、退院時における医療内容等に対する満足度を調査するとともに、DPC の認知状況ならびに DPC 導入による影響の有無などを調査した。

調査の結果、医師や看護師による医療サービス内容に対する満足度は総じて高く、特に患者の年代があがるほど満足度が高くなる傾向にあることが明らかとなった。また、DPC の導入により入院医療費算定方法が変わったことを認識している患者は全体の約 3 分の 1 と少数であった。これらの点については、患者の属性による差はあまり見られなかった。

一方、DPC 導入等に伴う医療内容等の変化については、変化したと感じている患者は 2 割弱であり、多くの患者は医療内容に変化がなかったと回答していた。ただ、この点については、中高年を中心に変化を感じている患者が多く、また調査協力病院の患者が

変化を感じている割合が高い、という回答結果となっており、患者の年齢や医療機関の DPC の導入状況や設置主体によって、意識の違いがあることがわかった。

本調査の結果からは、DPC に対する患者の理解と認知を進めることが今後の課題として浮き彫りとなったが、患者の多くは DPC の導入後も医療内容には高い満足度を示しており、DPC の導入による医療サービスの低下は認められていないことが明らかとなった。

3-2. 研究により得られた成果の今後の活用・提供

DPC 導入による医療効率化が臨床現場では進行するなかで、患者側からみて納得できる医療展開であったか、退院まで問題がなかったかを患者側の満足度の観点から調査する必要性が生じている。また、納得できる質の高い医療が達成されたか、DPC 導入後の変化を医師または看護師など医療従事者の側の観点から調査する必要性が生じており、本研究事業を開始した。具体的には無記名のアンケート調査を実施し、患者側の患者満足度と医療従事者の医療の達成度を調査測定、評価分析を行い DPC 導入の影響を評価した。

この DPC 導入の影響評価のための調査研究により得られた医療達成度調査と患者満足度調査のそれぞれの結果は、中央社会保険医療協議会の基本問題小委員会の付託を受けた診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会において報告し、公表する予定である。

第2章 調査結果

1. 医療達成度調査

1-1. サンプル数および回答者の属性

(1) サンプル数

29,173 サンプル（配布数 39,365、回収率 74.1%）

(2) 回答者の属性

	医師		看護師	
	人数	構成比	人数	構成比
総数	6,855	100.0%	21,600	100.0%
年代	20歳未満	—	2	0.0%
	20歳代	1,020	12,237	56.7%
	30歳代	2,720	5,228	24.2%
	40歳代	1,987	2,573	11.9%
	50歳代	678	1,076	5.0%
	60歳代以上	118	22	0.1%
	無回答	332	462	2.1%
地域	北海道	454	1,654	7.7%
	東北	423	1,742	8.1%
	東京	972	3,385	15.7%
	関東	422	1,611	7.5%
	中部	1,234	3,529	16.3%
	関西	1,325	3,795	17.6%
	中国・四国	771	2,391	11.1%
	九州	1,254	3,493	16.2%
種別	DPC病院	3,808	8,490	39.3%
	試行的適用病院	2,526	10,390	48.1%
	調査協力病院	521	2,720	12.6%
設置主体	大学病院	3,784	8,432	39.0%
	国立病院	611	2,016	9.3%
	社会保険病院	777	3,182	14.7%
	公的病院	253	1,062	4.9%
	民間病院	1,430	6,908	32.0%

※718人は、職制について無回答

1-2. 調査結果

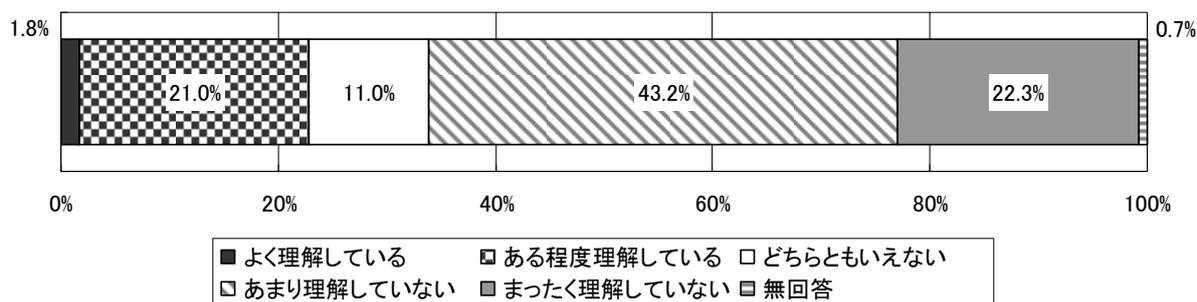
(1) DPCの診断群分類についての理解度

① 全体傾向

DPCの診断群分類については、「あまり理解していない」(43.2%)という回答割合が4割強を占める。「まったく理解していない」(22.3%)という回答割合も2割強あり、7割近くの職員がDPCの診断群分類について十分に理解していない。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「よく理解している」(6.0%)と「ある程度理解している」(47.3%)をあわせ、5割以上が理解していると回答しており、比較的高い理解度を示している。

一方で、看護師の場合は、「あまり理解していない」(48.3%)、「まったく理解していない」(27.3%)という回答で8割近くを占めており、DPCの診断群分類に対する理解度は低い。職制との関係では有意であり、医師と看護師の間でDPCの診断群分類に対しては理解度に大きな差がある。(分割表分析係数=0.3983、P値<0.01)



		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全体		29,173 100.0%	513 1.8%	6,129 21.0%	3,216 11.0%	12,605 43.2%	6,494 22.3%	216 0.7%
職性別	医師	6,855 100.0%	414 6.0%	3,243 47.3%	799 11.7%	1,907 27.8%	478 7.0%	14 0.2%
	看護師	21,600 100.0%	87 0.4%	2,756 12.8%	2,340 10.8%	10,439 48.3%	5,902 27.3%	76 0.4%
	無回答	718 100.0%	12 1.7%	130 18.1%	77 10.7%	259 36.1%	114 15.9%	126 17.5%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(40.2%)、「まったく理解していない」(13.7%)をあわせて、5割以上が理解していないと回答している。一方で、50歳代では「よく理解している」(14.5%)、「ある程度理解している」(55.5%)をあわせてほぼ7割が理解していると回答している。年代との関係では有意であり、年代が上がるほど理解度が高くなる。(分割表分析係数=0.3027、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、その他で「あまり理解していない」、「まったく理解していない」という回答割合が高く、DPCの診断群の理解度と診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	414 6.0%	3,243 47.3%	799 11.7%	1,907 27.8%	478 7.0%	14 0.2%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	15 1.5%	301 29.5%	153 15.0%	410 40.2%	140 13.7%	1 0.1%
	30歳代	2,720 100.0%	91 3.3%	1,209 44.4%	357 13.1%	846 31.1%	211 7.8%	6 0.2%
	40歳代	1,987 100.0%	156 7.9%	1,149 57.8%	186 9.4%	411 20.7%	81 4.1%	4 0.2%
	50歳代	678 100.0%	98 14.5%	376 55.5%	59 8.7%	124 18.3%	20 2.9%	1 0.1%
	60歳代以上	118 100.0%	30 25.4%	70 59.3%	4 3.4%	12 10.2%	1 0.8%	1 0.8%
	無回答	332 100.0%	24 7.2%	138 41.6%	40 12.0%	104 31.3%	25 7.5%	1 0.3%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	211 5.5%	1,709 44.9%	454 11.9%	1,094 28.7%	333 8.7%
試行的適用病院		2,526 100.0%	183 7.2%	1,291 51.1%	278 11.0%	652 25.8%	116 4.6%	6 0.2%
調査協力病院		521 100.0%	20 3.8%	243 46.6%	67 12.9%	161 30.9%	29 5.6%	1 0.2%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	209 5.5%	1,697 44.8%	453 12.0%	1,086 28.7%	332 8.8%	7 0.2%
	国立病院	611 100.0%	51 8.3%	296 48.4%	72 11.8%	160 26.2%	29 4.7%	3 0.5%
	社会保険病院	777 100.0%	66 8.5%	394 50.7%	87 11.2%	202 26.0%	27 3.5%	1 0.1%
	公的病院	253 100.0%	9 3.6%	127 50.2%	29 11.5%	78 30.8%	10 4.0%	0 0.0%
	民間病院	1,430 100.0%	79 5.5%	729 51.0%	158 11.0%	381 26.6%	80 5.6%	3 0.2%
地域別	北海道	454 100.0%	31 6.8%	215 47.4%	43 9.5%	125 27.5%	39 8.6%	1 0.2%
	東北	423 100.0%	36 8.5%	201 47.5%	54 12.8%	107 25.3%	24 5.7%	1 0.2%
	関東	972 100.0%	64 6.6%	453 46.6%	117 12.0%	277 28.5%	61 6.3%	0 0.0%
	東京	422 100.0%	20 4.7%	225 53.3%	44 10.4%	106 25.1%	26 6.2%	1 0.2%
	中部	1,234 100.0%	70 5.7%	551 44.7%	165 13.4%	342 27.7%	101 8.2%	5 0.4%
	関西	1,325 100.0%	83 6.3%	642 48.5%	142 10.7%	371 28.0%	83 6.3%	4 0.3%
	中国・四国	771 100.0%	40 5.2%	367 47.6%	89 11.5%	217 28.1%	57 7.4%	1 0.1%
	九州	1,254 100.0%	70 5.6%	589 47.0%	145 11.6%	362 28.9%	87 6.9%	1 0.1%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	188 6.3%	1,414 47.5%	370 12.4%	810 27.2%	193 6.5%	4 0.1%
	外科系	3,201 100.0%	202 6.3%	1,611 50.3%	345 10.8%	859 26.8%	178 5.6%	6 0.2%
	その他	583 100.0%	17 2.9%	176 30.2%	75 12.9%	208 35.7%	105 18.0%	2 0.3%
	無回答	92 100.0%	7 7.6%	42 45.7%	9 9.8%	30 32.6%	2 2.2%	2 2.2%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代で「あまり理解していない」(49.0%)、「まったく理解していない」(33.1%)をあわせ、8割以上が理解していないと回答しているように、若い年代の理解度は非常に低い。一方で、「ある程度理解している」という回答が40歳代で24.8%、50歳代で40.4%となっている。年代との関係では有意であり、年代が上がるほど理解度が高くなる。(分割表分析係数=0.2895、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	87 0.4%	2,756 12.8%	2,340 10.8%	10,439 48.3%	5,902 27.3%	76 0.4%
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	10 0.1%	912 7.5%	1,219 10.0%	6,002 49.0%	4,053 33.1%	41 0.3%
	30歳代	5,228 100.0%	16 0.3%	696 13.3%	625 12.0%	2,612 50.0%	1,265 24.2%	14 0.3%
	40歳代	2,573 100.0%	32 1.2%	639 24.8%	328 12.7%	1,193 46.4%	368 14.3%	13 0.5%
	50歳代	1,076 100.0%	25 2.3%	435 40.4%	114 10.6%	394 36.6%	102 9.5%	6 0.6%
	60歳代以上	22 100.0%	1 4.5%	6 27.3%	3 13.6%	8 36.4%	3 13.6%	1 4.5%
	無回答	462 100.0%	3 0.6%	68 14.7%	51 11.0%	229 49.6%	110 23.8%	1 0.2%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	30 0.4%	847 10.0%	770 9.1%	3,934 46.3%	2,880 33.9%	29 0.3%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	50 0.5%	1,533 14.8%	1,222 11.8%	5,290 50.9%	2,265 21.8%	30 0.3%
	調査協力病院	2,720 100.0%	7 0.3%	376 13.8%	348 12.8%	1,215 44.7%	757 27.8%	17 0.6%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	30 0.4%	833 9.9%	763 9.0%	3,904 46.3%	2,873 34.1%	29 0.3%
	国立病院	2,016 100.0%	4 0.2%	282 14.0%	189 9.4%	1,046 51.9%	487 24.2%	8 0.4%
	社会保険病院	3,182 100.0%	17 0.5%	462 14.5%	424 13.3%	1,653 51.9%	622 19.5%	4 0.1%
	公的病院	1,062 100.0%	2 0.2%	180 16.9%	167 15.7%	478 45.0%	225 21.2%	10 0.9%
	民間病院	6,908 100.0%	34 0.5%	999 14.5%	797 11.5%	3,358 48.6%	1,695 24.5%	25 0.4%
地域別	北海道	1,654 100.0%	11 0.7%	213 12.9%	173 10.5%	788 47.6%	464 28.1%	5 0.3%
	東北	1,742 100.0%	7 0.4%	245 14.1%	201 11.5%	897 51.5%	384 22.0%	8 0.5%
	関東	3,385 100.0%	15 0.4%	397 11.7%	388 11.5%	1,618 47.8%	952 28.1%	15 0.4%
	東京	1,611 100.0%	5 0.3%	227 14.1%	177 11.0%	726 45.1%	473 29.4%	3 0.2%
	中部	3,529 100.0%	14 0.4%	404 11.4%	362 10.3%	1,729 49.0%	1,009 28.6%	11 0.3%
	関西	3,795 100.0%	17 0.4%	494 13.0%	427 11.3%	1,715 45.2%	1,121 29.5%	21 0.6%
	中国・四国	2,391 100.0%	5 0.2%	281 11.8%	216 9.0%	1,157 48.4%	729 30.5%	3 0.1%
	九州	3,493 100.0%	13 0.4%	495 14.2%	396 11.3%	1,809 51.8%	770 22.0%	10 0.3%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	34 0.5%	913 12.2%	788 10.6%	3,593 48.2%	2,109 28.3%	20 0.3%
	外科系	8,978 100.0%	33 0.4%	1,183 13.2%	1,001 11.1%	4,354 48.5%	2,376 26.5%	31 0.3%
	その他	4,497 100.0%	16 0.4%	548 12.2%	462 10.3%	2,178 48.4%	1,272 28.3%	21 0.5%
	無回答	668 100.0%	4 0.6%	112 16.8%	89 13.3%	314 47.0%	145 21.7%	4 0.6%

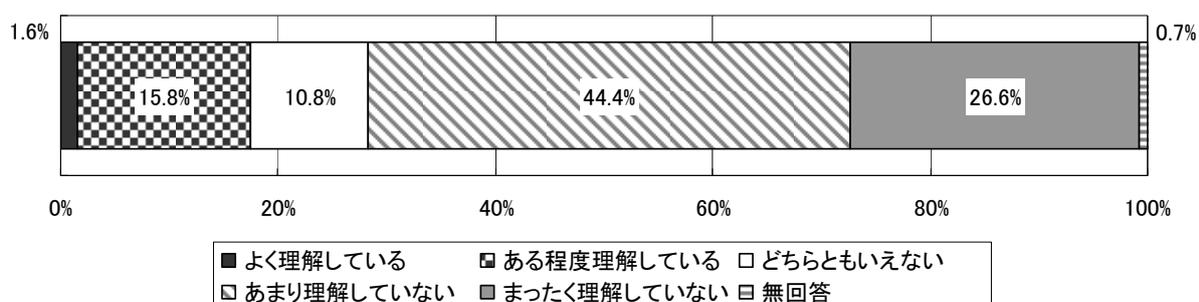
(2) DPCの包括の範囲についての理解度

① 全体傾向

DPCの包括の範囲については、「あまり理解していない」(44.4%)という回答が4割強を占める。「まったく理解していない」(26.6%)という回答をあわせると、7割を超える職員が十分には理解していないという結果となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よく理解している」(5.6%)と「ある程度理解している」(40.4%)をあわせ、5割近くが理解していると回答している。

一方で、看護師の場合は、「あまり理解していない」(48.6%)、「まったく理解していない」(32.5%)という回答割合が8割強を占めており、DPCの包括の範囲に対する理解度は低くなっている。職制との関係では有意であり、医師と看護師の間で理解度に大きな差が見られる。(分割表分析係数=0.4118、P値<0.01)



		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全体		29,173	456	4,622	3,159	12,955	7,772	209
		100.0%	1.6%	15.8%	10.8%	44.4%	26.6%	0.7%
職性別	医師	6,855	384	2,766	897	2,186	613	9
		100.0%	5.6%	40.4%	13.1%	31.9%	8.9%	0.1%
	看護師	21,600	59	1,753	2,189	10,504	7,019	76
	100.0%	0.3%	8.1%	10.1%	48.6%	32.5%	0.4%	
	無回答	718	13	103	73	265	140	124
	100.0%	1.8%	14.3%	10.2%	36.9%	19.5%	17.3%	

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(49.6%)、「まったく理解していない」(18.6%)をあわせて、7割近くが理解していないと回答している。一方で、40歳代以上では5割以上が「ある程度理解している」と回答している。年代との関係では有意であり、年代が上がるほどDPCの包括の範囲についての理解度が高くなる。(分割表分析係数=0.3614、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で「ある程度理解している」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、社会保険病院で「ある程度理解している」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、その他で「まったく理解していない」という回答割合が高く、DPCの診断群の理解度と診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	384 5.6%	2,766 40.4%	897 13.1%	2,186 31.9%	613 8.9%	9 0.1%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	16 1.6%	167 16.4%	140 13.7%	506 49.6%	190 18.6%	1 0.1%
	30歳代	2,720 100.0%	87 3.2%	954 35.1%	413 15.2%	976 35.9%	287 10.6%	3 0.1%
	40歳代	1,987 100.0%	136 6.8%	1,112 56.0%	221 11.1%	436 21.9%	80 4.0%	2 0.1%
	50歳代	678 100.0%	91 13.4%	362 53.4%	73 10.8%	133 19.6%	18 2.7%	1 0.1%
	60歳代以上	118 100.0%	29 24.6%	60 50.8%	5 4.2%	21 17.8%	2 1.7%	1 0.8%
	無回答	332 100.0%	25 7.5%	111 33.4%	45 13.6%	114 34.3%	36 10.8%	1 0.3%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	187 4.9%	1,452 38.1%	506 13.3%	1,247 32.7%	411 10.8%
試行的適用病院		2,526 100.0%	181 7.2%	1,147 45.4%	308 12.2%	731 28.9%	155 6.1%	4 0.2%
調査協力病院		521 100.0%	16 3.1%	167 32.1%	83 15.9%	208 39.9%	47 9.0%	0 0.0%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	185 4.9%	1,441 38.1%	503 13.3%	1,241 32.8%	409 10.8%	5 0.1%
	国立病院	611 100.0%	47 7.7%	242 39.6%	81 13.3%	197 32.2%	42 6.9%	2 0.3%
	社会保険病院	777 100.0%	64 8.2%	365 47.0%	93 12.0%	223 28.7%	31 4.0%	1 0.1%
	公的病院	253 100.0%	11 4.3%	95 37.5%	43 17.0%	90 35.6%	14 5.5%	0 0.0%
	民間病院	1,430 100.0%	77 5.4%	623 43.6%	177 12.4%	435 30.4%	117 8.2%	1 0.1%
地域別	北海道	454 100.0%	40 8.8%	177 39.0%	51 11.2%	138 30.4%	48 10.6%	0 0.0%
	東北	423 100.0%	33 7.8%	167 39.5%	56 13.2%	131 31.0%	36 8.5%	0 0.0%
	関東	972 100.0%	60 6.2%	382 39.3%	120 12.3%	340 35.0%	70 7.2%	0 0.0%
	東京	422 100.0%	27 6.4%	177 41.9%	48 11.4%	133 31.5%	36 8.5%	1 0.2%
	中部	1,234 100.0%	54 4.4%	461 37.4%	181 14.7%	402 32.6%	135 10.9%	1 0.1%
	関西	1,325 100.0%	71 5.4%	560 42.3%	174 13.1%	395 29.8%	119 9.0%	6 0.5%
	中国・四国	771 100.0%	40 5.2%	318 41.2%	99 12.8%	252 32.7%	62 8.0%	0 0.0%
	九州	1,254 100.0%	59 4.7%	524 41.8%	168 13.4%	395 31.5%	107 8.5%	1 0.1%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	154 5.2%	1,228 41.2%	382 12.8%	974 32.7%	237 8.0%	4 0.1%
	外科系	3,201 100.0%	208 6.5%	1,361 42.5%	430 13.4%	972 30.4%	228 7.1%	2 0.1%
	その他	583 100.0%	15 2.6%	141 24.2%	77 13.2%	211 36.2%	138 23.7%	1 0.2%
	無回答	92 100.0%	7 7.6%	36 39.1%	8 8.7%	29 31.5%	10 10.9%	2 2.2%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(48.3%)、「まったく理解していない」(39.3%)をあわせて、9割近くが理解していないと回答しているように、若い年代の理解度は非常に低い。一方で、「ある程度理解している」という回答が40歳代で17.8%、50歳代で29.7%となっている。年代との関係では有意であり、年代が上がるほど包括の範囲についての理解度が高くなる。(分割表分析係数=0.2974、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	59 0.3%	1,753 8.1%	2,189 10.1%	10,504 48.6%	7,019 32.5%	76 0.4%
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	7 0.1%	473 3.9%	1,007 8.2%	5,913 48.3%	4,807 39.3%	30 0.2%
	30歳代	5,228 100.0%	10 0.2%	447 8.6%	613 11.7%	2,615 50.0%	1,527 29.2%	16 0.3%
	40歳代	2,573 100.0%	22 0.9%	457 17.8%	367 14.3%	1,274 49.5%	439 17.1%	14 0.5%
	50歳代	1,076 100.0%	14 1.3%	320 29.7%	150 13.9%	465 43.2%	115 10.7%	12 1.1%
	60歳代以上	22 100.0%	2 9.1%	5 22.7%	3 13.6%	8 36.4%	3 13.6%	1 4.5%
	無回答	462 100.0%	4 0.9%	51 11.0%	49 10.6%	228 49.4%	127 27.5%	3 0.6%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	23 0.3%	616 7.3%	754 8.9%	3,936 46.4%	3,135 36.9%	26 0.3%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	32 0.3%	945 9.1%	1,113 10.7%	5,339 51.4%	2,932 28.2%	29 0.3%
	調査協力病院	2,720 100.0%	4 0.1%	192 7.1%	322 11.8%	1,229 45.2%	952 35.0%	21 0.8%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	22 0.3%	608 7.2%	747 8.9%	3,906 46.3%	3,123 37.0%	26 0.3%
	国立病院	2,016 100.0%	2 0.1%	173 8.6%	182 9.0%	1,014 50.3%	635 31.5%	10 0.5%
	社会保険病院	3,182 100.0%	10 0.3%	305 9.6%	372 11.7%	1,672 52.5%	816 25.6%	7 0.2%
	公的病院	1,062 100.0%	1 0.1%	107 10.1%	150 14.1%	496 46.7%	297 28.0%	11 1.0%
	民間病院	6,908 100.0%	24 0.3%	560 8.1%	738 10.7%	3,416 49.4%	2,148 31.1%	22 0.3%
地域別	北海道	1,654 100.0%	11 0.7%	147 8.9%	146 8.8%	790 47.8%	558 33.7%	2 0.1%
	東北	1,742 100.0%	3 0.2%	177 10.2%	197 11.3%	886 50.9%	471 27.0%	8 0.5%
	関東	3,385 100.0%	10 0.3%	236 7.0%	362 10.7%	1,633 48.2%	1,126 33.3%	18 0.5%
	東京	1,611 100.0%	5 0.3%	133 8.3%	184 11.4%	741 46.0%	544 33.8%	4 0.2%
	中部	3,529 100.0%	4 0.1%	231 6.5%	323 9.2%	1,738 49.2%	1,223 34.7%	10 0.3%
	関西	3,795 100.0%	17 0.4%	302 8.0%	410 10.8%	1,763 46.5%	1,286 33.9%	17 0.4%
	中国・四国	2,391 100.0%	2 0.1%	196 8.2%	185 7.7%	1,117 46.7%	886 37.1%	5 0.2%
	九州	3,493 100.0%	7 0.2%	331 9.5%	382 10.9%	1,836 52.6%	925 26.5%	12 0.3%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	15 0.2%	556 7.5%	736 9.9%	3,604 48.3%	2,521 33.8%	25 0.3%
	外科系	8,978 100.0%	29 0.3%	770 8.6%	934 10.4%	4,401 49.0%	2,816 31.4%	28 0.3%
	その他	4,497 100.0%	11 0.2%	352 7.8%	446 9.9%	2,163 48.1%	1,507 33.5%	18 0.4%
	無回答	668 100.0%	4 0.6%	75 11.2%	73 10.9%	336 50.3%	175 26.2%	5 0.7%

④ 診断群分類の理解度との関連

DPC の診断群分類についての理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類を理解している職員ほど、DPC の包括の範囲を理解している。診断群分類の理解度と包括の範囲の理解度の関係は有意であり、非常に強い相関が見られる。(分割表分析係数=0.7829、P 値<0.01)

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全体		29,173 100.0%	456 1.6%	4,622 15.8%	3,159 10.8%	12,955 44.4%	7,772 26.6%	209 0.7%
DPC の 理 解 度 の 診 断 群 分 類 (質 問 1 に つ い て	よく理解している	513 1.8%	325 63.4%	159 31.0%	6 1.2%	16 3.1%	7 1.4%	0 0.0%
	ある程度理解している	6,129 21.0%	117 1.9%	3,563 58.1%	894 14.6%	1,368 22.3%	178 2.9%	9 0.1%
	どちらともいえない	3,216 11.0%	0 0.0%	321 10.0%	1,668 51.9%	1,085 33.7%	135 4.2%	7 0.2%
	あまり理解していない	12,605 43.2%	12 0.1%	496 3.9%	514 4.1%	9,829 78.0%	1,732 13.7%	22 0.2%
	まったく理解していない	6,494 22.3%	1 0.0%	77 1.2%	70 1.1%	624 9.6%	5,711 87.9%	11 0.2%
	無回答	216 0.7%	1 0.5%	6 2.8%	7 3.2%	33 15.3%	9 4.2%	160 74.1%

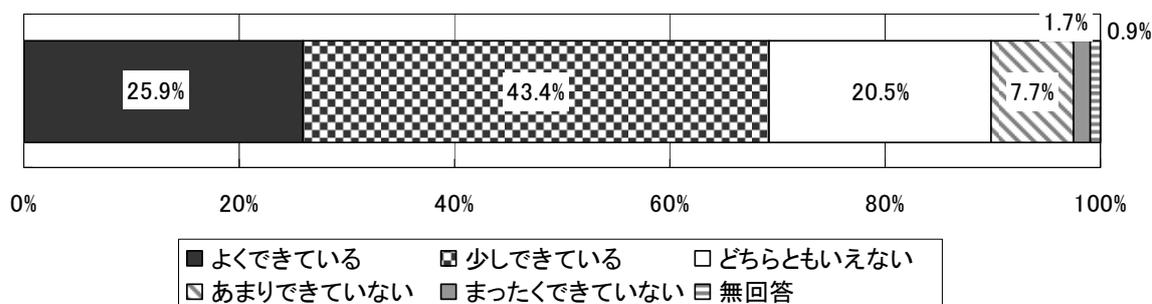
(3) 入院時の患者への説明状況

① 全体傾向

入院時の患者への説明については、「よくできている」(25.9%)、「少しできている」(43.4%)をあわせると7割弱となっており、入院時の患者への説明に対しては高い評価となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「よくできている」(57.8%)、「少しできている」(30.4%)をあわせ、9割近くができていますと回答しており、非常に高い評価となっている。

一方で、看護師の場合は、「よくできている」(16.0%)、「少しできている」(47.8%)という回答は6割強にとどまり、医師と比べ低い評価となっている。職制との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.3839、P値<0.01)



		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173	7,544	12,666	5,992	2,233	485	253
		100.0%	25.9%	43.4%	20.5%	7.7%	1.7%	0.9%
職性別	医師	6,855	3,961	2,081	579	148	59	27
		100.0%	57.8%	30.4%	8.4%	2.2%	0.9%	0.4%
	看護師	21,600	3,448	10,322	5,283	2,041	413	93
		100.0%	16.0%	47.8%	24.5%	9.4%	1.9%	0.4%
	無回答	718	135	263	130	44	13	133
		100.0%	18.8%	36.6%	18.1%	6.1%	1.8%	18.5%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代では「少しできている」、「どちらとも言えない」という回答が医師全体に比べ多いのに対し、40歳代では66.6%、50歳代では69.2%、60歳代以上では74.6%が「よくできている」と回答しており、年代が上がるほど評価が高くなる傾向が見られる。年代との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2294、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系では「よくできている」という回答割合が高いのに対し、その他では「どちらともいえない」という回答割合が高くなっており、診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	3,961 57.8%	2,081 30.4%	579 8.4%	148 2.2%	59 0.9%	27 0.4%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	351 34.4%	484 47.5%	138 13.5%	34 3.3%	11 1.1%	2 0.2%
	30歳代	2,720 100.0%	1,546 56.8%	853 31.4%	234 8.6%	49 1.8%	28 1.0%	10 0.4%
	40歳代	1,987 100.0%	1,324 66.6%	472 23.8%	125 6.3%	47 2.4%	12 0.6%	7 0.4%
	50歳代	678 100.0%	469 69.2%	156 23.0%	39 5.8%	6 0.9%	5 0.7%	3 0.4%
	60歳代以上	118 100.0%	88 74.6%	19 16.1%	5 4.2%	2 1.7%	0 0.0%	4 3.4%
	無回答	332 100.0%	183 55.1%	97 29.2%	38 11.4%	10 3.0%	3 0.9%	1 0.3%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	2,215 58.2%	1,090 28.6%	354 9.3%	91 2.4%	46 1.2%
試行的適用病院		2,526 100.0%	1,459 57.8%	814 32.2%	184 7.3%	45 1.8%	12 0.5%	12 0.5%
調査協力病院		521 100.0%	287 55.1%	177 34.0%	41 7.9%	12 2.3%	1 0.2%	3 0.6%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	2,196 58.0%	1,087 28.7%	353 9.3%	91 2.4%	46 1.2%	11 0.3%
	国立病院	611 100.0%	359 58.8%	198 32.4%	42 6.9%	6 1.0%	1 0.2%	5 0.8%
	社会保険病院	777 100.0%	451 58.0%	241 31.0%	63 8.1%	16 2.1%	3 0.4%	3 0.4%
	公的病院	253 100.0%	146 57.7%	85 33.6%	13 5.1%	7 2.8%	0 0.0%	2 0.8%
	民間病院	1,430 100.0%	809 56.6%	470 32.9%	108 7.6%	28 2.0%	9 0.6%	6 0.4%
地域別	北海道	454 100.0%	254 55.9%	135 29.7%	45 9.9%	13 2.9%	6 1.3%	1 0.2%
	東北	423 100.0%	209 49.4%	151 35.7%	49 11.6%	8 1.9%	4 0.9%	2 0.5%
	関東	972 100.0%	563 57.9%	306 31.5%	70 7.2%	24 2.5%	5 0.5%	4 0.4%
	東京	422 100.0%	232 55.0%	123 29.1%	48 11.4%	13 3.1%	4 0.9%	2 0.5%
	中部	1,234 100.0%	736 59.6%	339 27.5%	109 8.8%	32 2.6%	13 1.1%	5 0.4%
	関西	1,325 100.0%	783 59.1%	404 30.5%	104 7.8%	21 1.6%	7 0.5%	6 0.5%
	中国・四国	771 100.0%	447 58.0%	240 31.1%	58 7.5%	14 1.8%	10 1.3%	2 0.3%
	九州	1,254 100.0%	737 58.8%	383 30.5%	96 7.7%	23 1.8%	10 0.8%	5 0.4%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	1,649 55.4%	987 33.1%	252 8.5%	57 1.9%	26 0.9%	8 0.3%
	外科系	3,201 100.0%	2,072 64.7%	845 26.4%	206 6.4%	55 1.7%	17 0.5%	6 0.2%
	その他	583 100.0%	191 32.8%	226 38.8%	107 18.4%	32 5.5%	16 2.7%	11 1.9%
	無回答	92 100.0%	49 53.3%	23 25.0%	14 15.2%	4 4.3%	0 0.0%	2 2.2%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代や30歳代では「どちらともいえない」という回答割合が高いのに対し、40歳代、50歳代では「よくできている」という回答割合が高くなっており、年代が上がるほど評価が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答に傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	3,448 16.0%	10,322 47.8%	5,283 24.5%	2,041 9.4%	413 1.9%	93 0.4%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	1,414 11.6%	5,989 48.9%	3,295 26.9%	1,244 10.2%	268 2.2%	27 0.2%
	30歳代	5,228 100.0%	984 18.8%	2,454 46.9%	1,220 23.3%	463 8.9%	87 1.7%	20 0.4%
	40歳代	2,573 100.0%	633 24.6%	1,185 46.1%	485 18.8%	213 8.3%	33 1.3%	24 0.9%
	50歳代	1,076 100.0%	339 31.5%	465 43.2%	162 15.1%	72 6.7%	18 1.7%	20 1.9%
	60歳代以上	22 100.0%	7 31.8%	9 40.9%	4 18.2%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	462 100.0%	70 15.2%	220 47.6%	117 25.3%	47 10.2%	6 1.3%	2 0.4%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,360 16.0%	3,966 46.7%	2,151 25.3%	822 9.7%	162 1.9%	29 0.3%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,725 16.6%	5,003 48.2%	2,462 23.7%	945 9.1%	198 1.9%	57 0.5%
	調査協力病院	2,720 100.0%	363 13.3%	1,353 49.7%	670 24.6%	274 10.1%	53 1.9%	7 0.3%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,327 15.7%	3,954 46.9%	2,139 25.4%	822 9.7%	161 1.9%	29 0.3%
	国立病院	2,016 100.0%	372 18.5%	990 49.1%	423 21.0%	187 9.3%	37 1.8%	7 0.3%
	社会保険病院	3,182 100.0%	497 15.6%	1,577 49.6%	798 25.1%	253 8.0%	47 1.5%	10 0.3%
	公的病院	1,062 100.0%	212 20.0%	518 48.8%	217 20.4%	96 9.0%	16 1.5%	3 0.3%
	民間病院	6,908 100.0%	1,040 15.1%	3,283 47.5%	1,706 24.7%	683 9.9%	152 2.2%	44 0.6%
地域別	北海道	1,654 100.0%	290 17.5%	787 47.6%	383 23.2%	154 9.3%	33 2.0%	7 0.4%
	東北	1,742 100.0%	315 18.1%	826 47.4%	400 23.0%	143 8.2%	32 1.8%	26 1.5%
	関東	3,385 100.0%	444 13.1%	1,544 45.6%	977 28.9%	336 9.9%	71 2.1%	13 0.4%
	東京	1,611 100.0%	248 15.4%	733 45.5%	450 27.9%	145 9.0%	32 2.0%	3 0.2%
	中部	3,529 100.0%	516 14.6%	1,773 50.2%	836 23.7%	324 9.2%	71 2.0%	9 0.3%
	関西	3,795 100.0%	664 17.5%	1,785 47.0%	937 24.7%	334 8.8%	61 1.6%	14 0.4%
	中国・四国	2,391 100.0%	402 16.8%	1,137 47.6%	533 22.3%	253 10.6%	56 2.3%	10 0.4%
	九州	3,493 100.0%	569 16.3%	1,737 49.7%	767 22.0%	352 10.1%	57 1.6%	11 0.3%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,066 14.3%	3,680 49.3%	1,841 24.7%	719 9.6%	122 1.6%	29 0.4%
	外科系	8,978 100.0%	1,519 16.9%	4,332 48.3%	2,123 23.6%	825 9.2%	157 1.7%	22 0.2%
	その他	4,497 100.0%	773 17.2%	2,015 44.8%	1,147 25.5%	414 9.2%	110 2.4%	38 0.8%
	無回答	668 100.0%	90 13.5%	295 44.2%	172 25.7%	83 12.4%	24 3.6%	4 0.6%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員ほど、入院時の患者への説明が「よくできている」という回答割合が高くなっている。DPC の理解度と入院時の説明に対する評価は有意であり、強い相関が見られる。(質問 1 とのクロス分析：分割表分析係数=0.3290、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.3270、P 値<0.01)

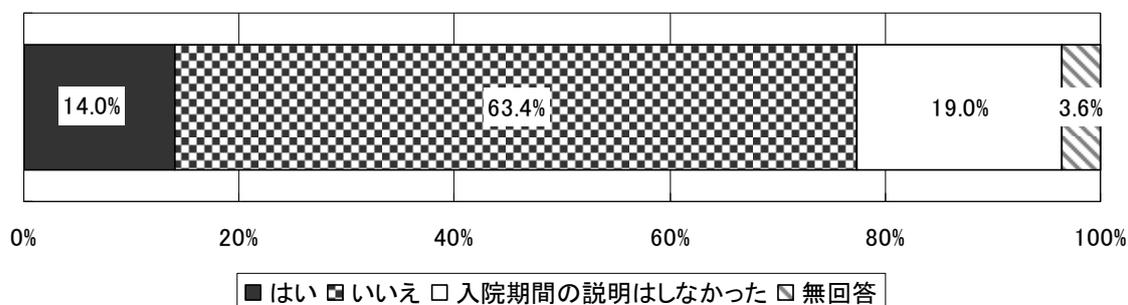
		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173 100.0%	7,544 25.9%	12,666 43.4%	5,992 20.5%	2,233 7.7%	485 1.7%	253 0.9%
DPCの理解度診断群分類(質問1)について	よく理解している	513 100.0%	389 75.8%	90 17.5%	20 3.9%	13 2.5%	0 0.0%	1 0.2%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	2,919 47.6%	2,323 37.9%	625 10.2%	212 3.5%	26 0.4%	24 0.4%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	706 22.0%	1,532 47.6%	813 25.3%	137 4.3%	15 0.5%	13 0.4%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	2,485 19.7%	5,864 46.5%	2,941 23.3%	1,118 8.9%	155 1.2%	42 0.3%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	1,024 15.8%	2,820 43.4%	1,578 24.3%	749 11.5%	287 4.4%	36 0.6%
	無回答	216 100.0%	21 9.7%	37 17.1%	15 6.9%	4 1.9%	2 0.9%	137 63.4%
	DPCの理解度包括の範囲(質問2)について	よく理解している	456 100.0%	362 79.4%	70 15.4%	15 3.3%	8 1.8%	0 0.0%
ある程度理解している	4,622 100.0%	2,352 50.9%	1,694 36.7%	405 8.8%	139 3.0%	12 0.3%	20 0.4%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	816 25.8%	1,426 45.1%	782 24.8%	110 3.5%	12 0.4%	13 0.4%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	2,768 21.4%	6,031 46.6%	2,891 22.3%	1,084 8.4%	134 1.0%	47 0.4%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	1,226 15.8%	3,419 44.0%	1,879 24.2%	888 11.4%	326 4.2%	34 0.4%	
無回答	209 100.0%	20 9.6%	26 12.4%	20 9.6%	4 1.9%	1 0.5%	138 66.0%	

(4) 診断群分類ごとの平均在院日数の利用状況

① 全体傾向

入院時における診断群分類ごとの平均在院日数の利用状況については、「はい（利用している）」（14.0%）、「いいえ（利用していない）」（63.4%）となっており、利用割合は非常に低い。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「いいえ（利用していない）」という回答割合が78.8%と非常に高く、説明はするが、平均在院日数を利用しないという傾向にある。一方で、看護師の場合は、「入院期間の説明はしなかった」という回答割合が23.4%と高い。職制との関係は有意であり、相関が見られる。（分割表分析係数=0.2043、P値<0.01）



		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答
全体		29,173 100.0%	4,076 14.0%	18,503 63.4%	5,531 19.0%	1,063 3.6%
職性別	医師	6,855 100.0%	943 13.8%	5,402 78.8%	369 5.4%	141 2.1%
	看護師	21,600 100.0%	3,034 14.0%	12,734 59.0%	5,062 23.4%	770 3.6%
	無回答	718 100.0%	99 13.8%	367 51.1%	100 13.9%	152 21.2%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別で見ると、「はい（利用している）」という回答は 60 歳代以上で 27.1%、50 歳代で 20.6%となっているように、年代が上がるほど平均在院日数を利用する割合が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別で見ると、社会保険病院で「はい（利用している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別で見ると、「はい（利用している）」という回答割合は、外科系の方が内科系やその他に比べて高く、平均入院日数の利用がやや多い。

		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答
医師全体		6,855 100.0%	943 13.8%	5,402 78.8%	369 5.4%	141 2.1%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	97 9.5%	860 84.3%	49 4.8%	14 1.4%
	30歳代	2,720 100.0%	338 12.4%	2,193 80.6%	147 5.4%	42 1.5%
	40歳代	1,987 100.0%	287 14.4%	1,552 78.1%	104 5.2%	44 2.2%
	50歳代	678 100.0%	140 20.6%	483 71.2%	36 5.3%	19 2.8%
	60歳代以上	118 100.0%	32 27.1%	69 58.5%	10 8.5%	7 5.9%
	無回答	332 100.0%	49 14.8%	245 73.8%	23 6.9%	15 4.5%
種別	DPC病院	3,808 100.0%	486 12.8%	3,019 79.3%	224 5.9%	79 2.1%
	試行的適用病院	2,526 100.0%	395 15.6%	1,961 77.6%	119 4.7%	51 2.0%
	調査協力病院	521 100.0%	62 11.9%	422 81.0%	26 5.0%	11 2.1%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	484 12.8%	3,001 79.3%	223 5.9%	76 2.0%
	国立病院	611 100.0%	91 14.9%	482 78.9%	26 4.3%	12 2.0%
	社会保険病院	777 100.0%	123 15.8%	602 77.5%	37 4.8%	15 1.9%
	公的病院	253 100.0%	35 13.8%	207 81.8%	7 2.8%	4 1.6%
	民間病院	1,452 100.0%	210 14.5%	1,110 76.4%	76 5.2%	34 2.3%
地域別	北海道	454 100.0%	56 12.3%	362 79.7%	26 5.7%	10 2.2%
	東北	423 100.0%	63 14.9%	325 76.8%	28 6.6%	7 1.7%
	関東	972 100.0%	112 11.5%	781 80.3%	57 5.9%	22 2.3%
	東京	422 100.0%	49 11.6%	331 78.4%	26 6.2%	16 3.8%
	中部	1,234 100.0%	183 14.8%	962 78.0%	62 5.0%	27 2.2%
	関西	1,325 100.0%	178 13.4%	1,054 79.5%	74 5.6%	19 1.4%
	中国・四国	771 100.0%	91 11.8%	639 82.9%	32 4.2%	9 1.2%
	九州	1,254 100.0%	211 16.8%	948 75.6%	64 5.1%	31 2.5%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	345 11.6%	2,434 81.7%	155 5.2%	45 1.5%
	外科系	3,201 100.0%	531 16.6%	2,455 76.7%	160 5.0%	55 1.7%
	その他	583 100.0%	52 8.9%	444 76.2%	49 8.4%	38 6.5%
	無回答	92 100.0%	15 16.3%	69 75.0%	5 5.4%	3 3.3%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、50歳代で「はい（利用している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で「はい（利用している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、社会保険病院で「はい（利用している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、「はい（利用している）」という回答割合は、内科系では外科系やその他に比べてやや低く、平均入院日数の利用がやや少ない。

		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	3,034 14.0%	12,734 59.0%	5,062 23.4%	770 3.6%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
	20歳代	12,237 100.0%	1,534 12.5%	7,150 58.4%	3,253 26.6%	300 2.5%
	30歳代	5,228 100.0%	782 15.0%	3,179 60.8%	1,081 20.7%	186 3.6%
	40歳代	2,573 100.0%	387 15.0%	1,605 62.4%	449 17.5%	132 5.1%
	50歳代	1,076 100.0%	250 23.2%	533 49.5%	184 17.1%	109 10.1%
	60歳代以上	22 100.0%	6 27.3%	8 36.4%	5 22.7%	3 13.6%
	無回答	462 100.0%	74 16.0%	259 56.1%	90 19.5%	39 8.4%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	924 10.9%	5,133 60.5%	2,140 25.2%	293 3.5%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,738 16.7%	5,959 57.4%	2,338 22.5%	355 3.4%
	調査協力病院	2,720 100.0%	372 13.7%	1,642 60.4%	584 21.5%	122 4.5%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	918 10.9%	5,087 60.3%	2,135 25.3%	292 3.5%
	国立病院	2,016 100.0%	258 12.8%	1,206 59.8%	470 23.3%	82 4.1%
	社会保険病院	3,182 100.0%	512 16.1%	1,888 59.3%	692 21.7%	90 2.8%
	公的病院	1,062 100.0%	188 17.7%	611 57.5%	222 20.9%	41 3.9%
	民間病院	6,908 100.0%	1,158 16.8%	3,942 57.1%	1,543 22.3%	265 3.8%
地域別	北海道	1,654 100.0%	262 15.8%	1,002 60.6%	345 20.9%	45 2.7%
	東北	1,742 100.0%	245 14.1%	998 57.3%	400 23.0%	99 5.7%
	関東	3,385 100.0%	418 12.3%	1,925 56.9%	913 27.0%	129 3.8%
	東京	1,611 100.0%	230 14.3%	932 57.9%	418 25.9%	31 1.9%
	中部	3,529 100.0%	413 11.7%	2,162 61.3%	824 23.3%	130 3.7%
	関西	3,795 100.0%	565 14.9%	2,264 59.7%	853 22.5%	113 3.0%
	中国・四国	2,391 100.0%	340 14.2%	1,400 58.6%	551 23.0%	100 4.2%
	九州	3,493 100.0%	561 16.1%	2,051 58.7%	758 21.7%	123 3.5%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	789 10.6%	4,584 61.5%	1,819 24.4%	265 3.6%
	外科系	8,978 100.0%	1,493 16.6%	5,180 57.7%	2,053 22.9%	252 2.8%
	その他	4,497 100.0%	632 14.1%	2,603 57.9%	1,058 23.5%	204 4.5%
	無回答	668 100.0%	120 18.0%	367 54.9%	132 19.8%	49 7.3%

④ DPCの理解度との関連

DPCの理解度との関連性をみると、DPCの診断群やDPCの包括範囲について理解している職員ほど、「はい(利用している)」という回答割合が高くなっており、DPCの包括の範囲に対する理解度と平均在院日数の利用との間には弱い相関が見られる。

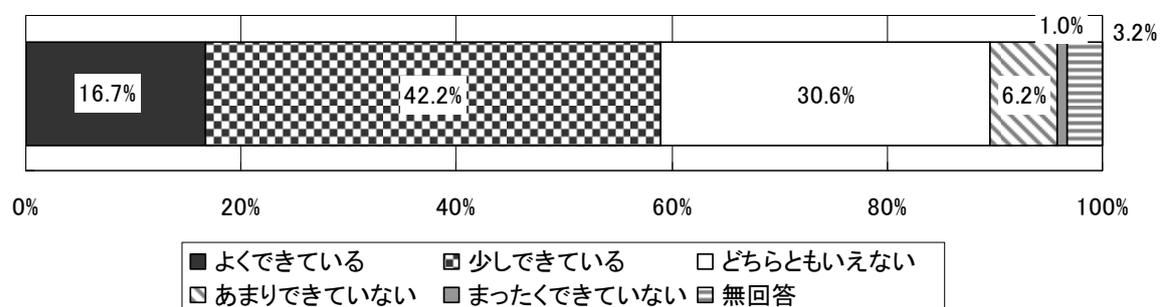
		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答
全体		29,173 100.0%	4,076 14.0%	18,503 63.4%	5,531 19.0%	1,063 3.6%
DPCの理解度診断群(質問1)について	よく理解している	513 100.0%	175 34.1%	286 55.8%	41 8.0%	11 2.1%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,299 21.2%	4,027 65.7%	653 10.7%	150 2.4%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	509 15.8%	1,980 61.6%	624 19.4%	103 3.2%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	1,553 12.3%	8,063 64.0%	2,575 20.4%	414 3.3%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	531 8.2%	4,101 63.2%	1,621 25.0%	241 3.7%
	無回答	216 100.0%	9 4.2%	46 21.3%	17 7.9%	144 66.7%
DPCの理解度包括(質問2)について	よく理解している	456 100.0%	156 34.2%	254 55.7%	32 7.0%	14 3.1%
	ある程度理解している	4,622 100.0%	1,045 22.6%	3,010 65.1%	452 9.8%	115 2.5%
	どちらともいえない	3,159 100.0%	549 17.4%	1,911 60.5%	588 18.6%	111 3.5%
	あまり理解していない	12,955 100.0%	1,655 12.8%	8,333 64.3%	2,547 19.7%	420 3.2%
	まったく理解していない	7,772 100.0%	657 8.5%	4,961 63.8%	1,901 24.5%	253 3.3%
	無回答	209 100.0%	14 6.7%	34 16.3%	11 5.3%	150 71.8%

(5) 入院中の患者への計画的な医療内容の提供

① 全体傾向

入院中の患者への計画的な医療内容の提供については、「少しできている」という回答が42.2%でもっとも多く、次いで「どちらとも言えない」(30.6%)、「よくできている」(16.7%)の順に多い。できていないという回答は1割もなく、比較的高い評価である。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よくできている」という回答が40.0%で、看護師と比べ30.5ポイント高い。職制との関係では有意であり、医師の方が看護師に比べ非常に高い評価となっている。(分割表分析係数=0.3503、P値<0.01)



		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173	4,885	12,303	8,931	1,814	298	942
		100.0%	16.7%	42.2%	30.6%	6.2%	1.0%	3.2%
職性別	医師	6,855	2,740	2,791	1,006	144	37	137
		100.0%	40.0%	40.7%	14.7%	2.1%	0.5%	2.0%
	看護師	21,600	2,059	9,269	7,742	1,636	252	642
		100.0%	9.5%	42.9%	35.8%	7.6%	1.2%	3.0%
	無回答	718	86	243	183	34	9	163
		100.0%	12.0%	33.8%	25.5%	4.7%	1.3%	22.7%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、「よくできている」という回答は、60歳代以上で47.5%、50歳代で47.9%あるのに対し、20歳代では23.2%にとどまっている。年代があがるほど評価が高くなる傾向が見られ、年代との間には弱い相関が見られる。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院で「よくできている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、東北で「よくできている」という回答割合がやや低いが、回答傾向には大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系の方が「よくできている」という回答割合が高いのに対し、その他では「どちらともいえない」という回答割合が高く、診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	2,740 40.0%	2,791 40.7%	1,006 14.7%	144 2.1%	37 0.5%	137 2.0%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	237 23.2%	507 49.7%	219 21.5%	28 2.7%	9 0.9%	20 2.0%
	30歳代	2,720 100.0%	1,061 39.0%	1,149 42.2%	411 15.1%	41 1.5%	13 0.5%	45 1.7%
	40歳代	1,987 100.0%	939 47.3%	717 36.1%	241 12.1%	54 2.7%	7 0.4%	29 1.5%
	50歳代	678 100.0%	325 47.9%	244 36.0%	75 11.1%	11 1.6%	6 0.9%	17 2.5%
	60歳代以上	118 100.0%	56 47.5%	40 33.9%	13 11.0%	1 0.8%	0 0.0%	8 6.8%
	無回答	332 100.0%	122 36.7%	134 40.4%	47 14.2%	9 2.7%	2 0.6%	18 5.4%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	1,511 39.7%	1,519 39.9%	571 15.0%	86 2.3%	30 0.8%
試行的適用病院		2,526 100.0%	1,052 41.6%	1,021 40.4%	359 14.2%	47 1.9%	7 0.3%	40 1.6%
調査協力病院		521 100.0%	177 34.0%	251 48.2%	76 14.6%	11 2.1%	0 0.0%	6 1.2%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	1,493 39.5%	1,514 40.0%	571 15.1%	85 2.2%	30 0.8%	91 2.4%
	国立病院	611 100.0%	269 44.0%	242 39.6%	82 13.4%	10 1.6%	1 0.2%	7 1.1%
	社会保険病院	777 100.0%	303 39.0%	332 42.7%	117 15.1%	9 1.2%	2 0.3%	14 1.8%
	公的病院	253 100.0%	98 38.7%	120 47.4%	25 9.9%	5 2.0%	0 0.0%	5 2.0%
	民間病院	1,430 100.0%	577 40.3%	583 40.8%	211 14.8%	35 2.4%	4 0.3%	20 1.4%
地域別	北海道	454 100.0%	186 41.0%	181 39.9%	61 13.4%	11 2.4%	6 1.3%	9 2.0%
	東北	423 100.0%	147 34.8%	174 41.1%	77 18.2%	9 2.1%	3 0.7%	13 3.1%
	関東	972 100.0%	393 40.4%	389 40.0%	142 14.6%	19 2.0%	3 0.3%	26 2.7%
	東京	422 100.0%	161 38.2%	176 41.7%	57 13.5%	14 3.3%	3 0.7%	11 2.6%
	中部	1,234 100.0%	495 40.1%	492 39.9%	191 15.5%	30 2.4%	10 0.8%	16 1.3%
	関西	1,325 100.0%	555 41.9%	520 39.2%	208 15.7%	22 1.7%	2 0.2%	18 1.4%
	中国・四国	771 100.0%	317 41.1%	304 39.4%	114 14.8%	17 2.2%	6 0.8%	13 1.7%
	九州	1,254 100.0%	486 38.8%	555 44.3%	156 12.4%	22 1.8%	4 0.3%	31 2.5%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	1,095 36.8%	1,281 43.0%	460 15.4%	73 2.5%	14 0.5%	56 1.9%
	外科系	3,201 100.0%	1,471 46.0%	1,239 38.7%	377 11.8%	54 1.7%	9 0.3%	51 1.6%
	その他	583 100.0%	142 24.4%	232 39.8%	154 26.4%	15 2.6%	14 2.4%	26 4.5%
	無回答	92 100.0%	32 34.8%	39 42.4%	15 16.3%	2 2.2%	0 0.0%	4 4.3%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よくできている」という回答割合が高くなるのに対し、年代がさがるほど「どちらともいえない」という回答割合が高くなるが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	2,059 9.5%	9,269 42.9%	7,742 35.8%	1,636 7.6%	252 1.2%	642 3.0%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	910 7.4%	5,189 42.4%	4,859 39.7%	896 7.3%	132 1.1%	251 2.1%
	30歳代	5,228 100.0%	558 10.7%	2,227 42.6%	1,776 34.0%	434 8.3%	64 1.2%	169 3.2%
	40歳代	2,573 100.0%	344 13.4%	1,158 45.0%	726 28.2%	202 7.9%	33 1.3%	110 4.3%
	50歳代	1,076 100.0%	197 18.3%	489 45.4%	227 21.1%	74 6.9%	13 1.2%	76 7.1%
	60歳代以上	22 100.0%	1 4.5%	8 36.4%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%
	無回答	462 100.0%	48 10.4%	198 42.9%	146 31.6%	29 6.3%	10 2.2%	31 6.7%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	769 9.1%	3,662 43.1%	3,069 36.1%	653 7.7%	113 1.3%	224 2.6%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,085 10.4%	4,445 42.8%	3,696 35.6%	725 7.0%	104 1.0%	335 3.2%
	調査協力病院	2,720 100.0%	205 7.5%	1,162 42.7%	977 35.9%	258 9.5%	35 1.3%	83 3.1%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	748 8.9%	3,642 43.2%	3,056 36.2%	649 7.7%	113 1.3%	224 2.7%
	国立病院	2,016 100.0%	203 10.1%	897 44.5%	687 34.1%	150 7.4%	27 1.3%	52 2.6%
	社会保険病院	3,182 100.0%	278 8.7%	1,342 42.2%	1,213 38.1%	229 7.2%	23 0.7%	97 3.0%
	公的病院	1,062 100.0%	123 11.6%	503 47.4%	295 27.8%	96 9.0%	10 0.9%	35 3.3%
	民間病院	6,908 100.0%	707 10.2%	2,885 41.8%	2,491 36.1%	512 7.4%	79 1.1%	234 3.4%
地域別	北海道	1,654 100.0%	189 11.4%	721 43.6%	586 35.4%	106 6.4%	19 1.1%	33 2.0%
	東北	1,742 100.0%	193 11.1%	716 41.1%	596 34.2%	107 6.1%	28 1.6%	102 5.9%
	関東	3,385 100.0%	272 8.0%	1,332 39.4%	1,389 41.0%	255 7.5%	46 1.4%	91 2.7%
	東京	1,611 100.0%	172 10.7%	663 41.2%	608 37.7%	105 6.5%	14 0.9%	49 3.0%
	中部	3,529 100.0%	263 7.5%	1,530 43.4%	1,270 36.0%	329 9.3%	41 1.2%	96 2.7%
	関西	3,795 100.0%	403 10.6%	1,688 44.5%	1,298 34.2%	276 7.3%	34 0.9%	96 2.5%
	中国・四国	2,391 100.0%	247 10.3%	1,081 45.2%	804 33.6%	168 7.0%	29 1.2%	62 2.6%
	九州	3,493 100.0%	320 9.2%	1,538 44.0%	1,191 34.1%	290 8.3%	41 1.2%	113 3.2%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	601 8.1%	3,071 41.2%	2,881 38.6%	608 8.2%	84 1.1%	212 2.8%
	外科系	8,978 100.0%	918 10.2%	4,035 44.9%	3,047 33.9%	658 7.3%	89 1.0%	231 2.6%
	その他	4,497 100.0%	477 10.6%	1,895 42.1%	1,583 35.2%	306 6.8%	71 1.6%	165 3.7%
	無回答	668 100.0%	63 9.4%	268 40.1%	231 34.6%	64 9.6%	8 1.2%	34 5.1%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲についての理解度が高いほど、「よくできている」という回答割合が高くなる傾向にある。DPC に対する理解度と計画的な医療内容の提供の関係は有意であり、強い相関が見られる。

(質問 1 とのクロス分析：分割表分析係数=0.3151、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.3214、P 値<0.01)

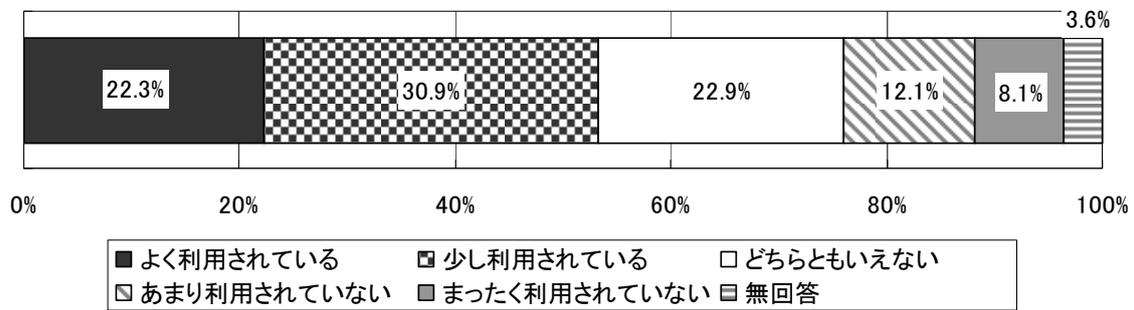
		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173 100.0%	4,885 16.7%	12,303 42.2%	8,931 30.6%	1,814 6.2%	298 1.0%	942 3.2%
DPCの理解度(診断群分類(質問1)について)	よく理解している	513 100.0%	322 62.8%	130 25.3%	33 6.4%	10 1.9%	1 0.2%	17 3.3%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,950 31.8%	2,825 46.1%	963 15.7%	204 3.3%	24 0.4%	163 2.7%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	408 12.7%	1,422 44.2%	1,187 36.9%	104 3.2%	11 0.3%	84 2.6%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	1,571 12.5%	5,379 42.7%	4,290 34.0%	931 7.4%	90 0.7%	344 2.7%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	619 9.5%	2,514 38.7%	2,431 37.4%	560 8.6%	172 2.6%	198 3.0%
	無回答	216 100.0%	15 6.9%	33 15.3%	27 12.5%	5 2.3%	0 0.0%	136 63.0%
	DPCの理解度(包括の範囲(質問2)について)	よく理解している	456 100.0%	303 66.4%	95 20.8%	28 6.1%	10 2.2%	2 0.4%
ある程度理解している	4,622 100.0%	1,640 35.5%	2,078 45.0%	621 13.4%	142 3.1%	12 0.3%	129 2.8%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	466 14.8%	1,432 45.3%	1,066 33.7%	87 2.8%	14 0.4%	94 3.0%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	1,691 13.1%	5,723 44.2%	4,218 32.6%	888 6.9%	75 0.6%	360 2.8%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	776 10.0%	2,944 37.9%	2,969 38.2%	684 8.8%	193 2.5%	206 2.7%	
無回答	209 100.0%	9 4.3%	31 14.8%	29 13.9%	3 1.4%	2 1.0%	135 64.6%	

(6) クリティカルパスの利用状況

① 全体傾向

クリティカルパスの利用状況は、「少し利用されている」という回答割合が 30.9%で最も高く、「よく利用されている」(22.3%)という回答をあわせると、5割強の職員が利用していると回答しており、比較的高い利用状況である。

医師と看護師を比較すると、医師は看護師に比べ「あまり利用されていない」という回答が 3.5ポイント、「まったく利用されていない」という回答が 5.7ポイント上回っており、医師の方がクリティカルパスの利用がやや低い。



		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらともいえない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答
全体		29,173	6,503	9,020	6,674	3,539	2,374	1,063
		100.0%	22.3%	30.9%	22.9%	12.1%	8.1%	3.6%
職性別	医師	6,855	1,408	1,933	1,491	1,015	858	150
		100.0%	20.5%	28.2%	21.8%	14.8%	12.5%	2.2%
	看護師	21,600	4,965	6,910	5,061	2,441	1,469	754
		100.0%	23.0%	32.0%	23.4%	11.3%	6.8%	3.5%
	無回答	718	130	177	122	83	47	159
		100.0%	18.1%	24.7%	17.0%	11.6%	6.5%	22.1%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よく利用されている」、「少し利用されている」という回答割合がやや高くなる。大きくはないものの、年代による差が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、試行的適用病院で「よく利用されている」という割合が高いのに対し、調査協力病院では「まったく利用されていない」という回答割合が高くなる。DPC の導入状況とクリティカルパスの利用状況の関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2392、P 値<0.01)

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院や民間病院、社会保険病院では「よく利用されている」という回答割合が高いのに対し、大学病院や公的病院では「よく利用されている」という回答割合が低い。特に、大学病院では「あまり利用されていない」、「まったく利用されていない」という回答割合が高い。設置主体とクリティカルパスの利用状況の関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2354、P 値<0.01)

エ. 地域別

地域別でみると、東北や東京で「よく利用されている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、「よく利用されている」という回答割合は外科系の方が内科系やその他に比べて高いのに対し、「まったく利用されていない」という回答割合は内科系およびその他の方が外科系に比べて高く、外科系でのクリティカルパスの利用率が高い。クリティカルパスの利用状況と診療科との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2052、P 値<0.01)

		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらともいえない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	1,408 20.5%	1,933 28.2%	1,491 21.8%	1,015 14.8%	858 12.5%	150 2.2%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	182 17.8%	255 25.0%	304 29.8%	129 12.6%	120 11.8%	30 2.9%
	30歳代	2,720 100.0%	548 20.1%	707 26.0%	582 21.4%	409 15.0%	424 15.6%	50 1.8%
	40歳代	1,987 100.0%	436 21.9%	616 31.0%	383 19.3%	299 15.0%	224 11.3%	29 1.5%
	50歳代	678 100.0%	158 23.3%	230 33.9%	129 19.0%	93 13.7%	54 8.0%	14 2.1%
	60歳代以上	118 100.0%	26 22.0%	42 35.6%	18 15.3%	20 16.9%	4 3.4%	8 6.8%
	無回答	332 100.0%	58 17.5%	83 25.0%	75 22.6%	65 19.6%	32 9.6%	19 5.7%
種別	DPC病院	3,808 100.0%	541 14.2%	1,120 29.4%	738 19.4%	693 18.2%	621 16.3%	95 2.5%
	試行的適用病院	2,526 100.0%	773 30.6%	652 25.8%	626 24.8%	248 9.8%	179 7.1%	48 1.9%
	調査協力病院	521 100.0%	94 18.0%	161 30.9%	127 24.4%	74 14.2%	58 11.1%	7 1.3%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	533 14.1%	1,111 29.4%	736 19.5%	689 18.2%	621 16.4%	94 2.5%
	国立病院	611 100.0%	192 31.4%	152 24.9%	156 25.5%	56 9.2%	43 7.0%	12 2.0%
	社会保険病院	777 100.0%	217 27.9%	230 29.6%	175 22.5%	89 11.5%	54 6.9%	12 1.5%
	公的病院	253 100.0%	47 18.6%	75 29.6%	60 23.7%	40 15.8%	23 9.1%	8 3.2%
	民間病院	1,430 100.0%	419 29.3%	365 25.5%	364 25.5%	141 9.9%	117 8.2%	24 1.7%
地域別	北海道	454 100.0%	86 18.9%	132 29.1%	104 22.9%	69 15.2%	53 11.7%	10 2.2%
	東北	423 100.0%	96 22.7%	123 29.1%	95 22.5%	47 11.1%	47 11.1%	15 3.5%
	関東	972 100.0%	172 17.7%	259 26.6%	199 20.5%	167 17.2%	151 15.5%	24 2.5%
	東京	422 100.0%	112 26.5%	120 28.4%	82 19.4%	52 12.3%	44 10.4%	12 2.8%
	中部	1,234 100.0%	217 17.6%	371 30.1%	288 23.3%	188 15.2%	149 12.1%	21 1.7%
	関西	1,325 100.0%	244 18.4%	367 27.7%	274 20.7%	226 17.1%	196 14.8%	18 1.4%
	中国・四国	771 100.0%	138 17.9%	225 29.2%	170 22.0%	117 15.2%	107 13.9%	14 1.8%
	九州	1,254 100.0%	343 27.4%	336 26.8%	279 22.2%	149 11.9%	111 8.9%	36 2.9%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	414 13.9%	885 29.7%	662 22.2%	528 17.7%	432 14.5%	58 1.9%
	外科系	3,201 100.0%	897 28.0%	909 28.4%	627 19.6%	403 12.6%	310 9.7%	55 1.7%
	その他	583 100.0%	77 13.2%	114 19.6%	182 31.2%	72 12.3%	105 18.0%	33 5.7%
	無回答	92 100.0%	20 21.7%	25 27.2%	20 21.7%	12 13.0%	11 12.0%	4 4.3%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、試行的適用病院で「よく利用されている」という回答割合が高い。DPC の導入状況とクリティカルパスの利用状況の関係には、弱い相関が見られる。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、「よく利用されている」という回答割合は、社会保険病院や民間病院では高いのに対し、大学病院では低い。設置主体とクリティカルパスの利用状況の関係には、弱い相関が見られる。

エ. 地域別

地域別でみると、九州で「よく利用されている」という回答割合が 32.6%と高いのが特徴的である。逆に、関東では「よく利用されている」という回答割合が 17.1%と低く、地域による差が見られる。

オ. 診療科別

診療科別でみると、「よく利用されている」という回答割合は外科系の方が内科系やその他に比べて高くなっている。

		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらともいえない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	4,965 23.0%	6,910 32.0%	5,061 23.4%	2,441 11.3%	1,469 6.8%	754 3.5%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	2,712 22.2%	3,952 32.3%	3,143 25.7%	1,336 10.9%	727 5.9%	367 3.0%
	30歳代	5,228 100.0%	1,261 24.1%	1,585 30.3%	1,164 22.3%	619 11.8%	425 8.1%	174 3.3%
	40歳代	2,573 100.0%	589 22.9%	847 32.9%	486 18.9%	328 12.7%	212 8.2%	111 4.3%
	50歳代	1,076 100.0%	290 27.0%	379 35.2%	158 14.7%	107 9.9%	75 7.0%	67 6.2%
	60歳代以上	22 100.0%	6 27.3%	5 22.7%	5 22.7%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%
	無回答	462 100.0%	106 22.9%	141 30.5%	105 22.7%	50 10.8%	30 6.5%	30 6.5%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,435 16.9%	2,902 34.2%	1,906 22.4%	1,188 14.0%	807 9.5%	252 3.0%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	3,010 29.0%	3,188 30.7%	2,474 23.8%	910 8.8%	400 3.8%	408 3.9%
	調査協力病院	2,720 100.0%	520 19.1%	820 30.1%	681 25.0%	343 12.6%	262 9.6%	94 3.5%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,420 16.8%	2,875 34.1%	1,891 22.4%	1,187 14.1%	807 9.6%	252 3.0%
	国立病院	2,016 100.0%	479 23.8%	655 32.5%	432 21.4%	226 11.2%	162 8.0%	62 3.1%
	社会保険病院	3,182 100.0%	936 29.4%	1,034 32.5%	713 22.4%	273 8.6%	109 3.4%	117 3.7%
	公的病院	1,062 100.0%	286 26.9%	335 31.5%	251 23.6%	104 9.8%	54 5.1%	32 3.0%
	民間病院	6,908 100.0%	1,844 26.7%	2,011 29.1%	1,774 25.7%	651 9.4%	337 4.9%	291 4.2%
地域別	北海道	1,654 100.0%	354 21.4%	541 32.7%	408 24.7%	184 11.1%	120 7.3%	47 2.8%
	東北	1,742 100.0%	369 21.2%	547 31.4%	323 18.5%	245 14.1%	146 8.4%	112 6.4%
	関東	3,385 100.0%	580 17.1%	1,075 31.8%	879 26.0%	485 14.3%	252 7.4%	114 3.4%
	東京	1,611 100.0%	402 25.0%	518 32.2%	417 25.9%	147 9.1%	70 4.3%	57 3.5%
	中部	3,529 100.0%	680 19.3%	1,181 33.5%	914 25.9%	379 10.7%	264 7.5%	111 3.1%
	関西	3,795 100.0%	865 22.8%	1,286 33.9%	838 22.1%	432 11.4%	262 6.9%	112 3.0%
	中国・四国	2,391 100.0%	578 24.2%	746 31.2%	515 21.5%	293 12.3%	192 8.0%	67 2.8%
	九州	3,493 100.0%	1,137 32.6%	1,016 29.1%	767 22.0%	276 7.9%	163 4.7%	134 3.8%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,321 17.7%	2,621 35.1%	1,906 25.6%	951 12.8%	410 5.5%	248 3.3%
	外科系	8,978 100.0%	2,491 27.7%	2,824 31.5%	1,991 22.2%	892 9.9%	498 5.5%	282 3.1%
	その他	4,497 100.0%	996 22.1%	1,273 28.3%	1,004 22.3%	516 11.5%	518 11.5%	190 4.2%
	無回答	668 100.0%	157 23.5%	192 28.7%	160 24.0%	82 12.3%	43 6.4%	34 5.1%

④ DPCの理解度との関連

DPCの理解度との関連性をみると、DPCの診断群分類、包括の範囲についての理解度が高いほど、「よく利用されている」という回答割合が高くなっているが、DPCの理解度とクリティカルパスの利用状況の間には相関は見られない。

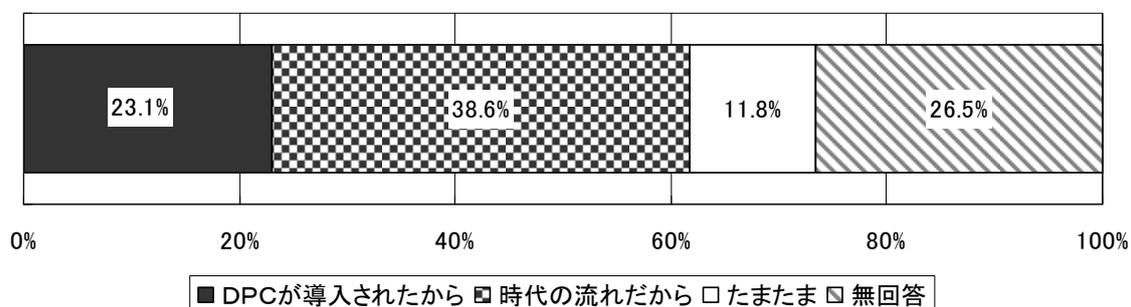
		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらともいえない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答
全体		29,173 100.0%	6,503 22.3%	9,020 30.9%	6,674 22.9%	3,539 12.1%	2,374 8.1%	1,063 3.6%
DPCの理解度 の診断群分類 (質問1)について	よく理解している	513 100.0%	191 37.2%	132 25.7%	67 13.1%	62 12.1%	43 8.4%	18 3.5%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,647 26.9%	1,961 32.0%	1,137 18.6%	758 12.4%	473 7.7%	153 2.5%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	721 22.4%	1,050 32.6%	848 26.4%	315 9.8%	185 5.8%	97 3.0%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	2,788 22.1%	3,968 31.5%	2,876 22.8%	1,658 13.2%	908 7.2%	407 3.2%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	1,139 17.5%	1,882 29.0%	1,731 26.7%	732 11.3%	759 11.7%	251 3.9%
	無回答	216 100.0%	17 7.9%	27 12.5%	15 6.9%	14 6.5%	6 2.8%	137 63.4%
	DPCの理解度 の包括の範囲 (質問2)について	よく理解している	456 100.0%	171 37.5%	115 25.2%	66 14.5%	46 10.1%	40 8.8%
ある程度理解している		4,622 100.0%	1,259 27.2%	1,512 32.7%	828 17.9%	558 12.1%	351 7.6%	114 2.5%
どちらともいえない		3,159 100.0%	703 22.3%	986 31.2%	834 26.4%	315 10.0%	219 6.9%	102 3.2%
あまり理解していない		12,955 100.0%	2,948 22.8%	4,114 31.8%	2,879 22.2%	1,736 13.4%	870 6.7%	408 3.1%
まったく理解していない		7,772 100.0%	1,405 18.1%	2,272 29.2%	2,048 26.4%	870 11.2%	892 11.5%	285 3.7%
無回答		209 100.0%	17 8.1%	21 10.0%	19 9.1%	14 6.7%	2 1.0%	136 65.1%

(7) クリティカルパスの利用が変化している理由

① 全体傾向

クリティカルパスの利用が変化している理由については、「時代の流れだから」という回答割合が 38.6%と高く、次いで「DPC が導入されたから」(23.1%) という回答割合が高い。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「時代の流れだから」という回答が多くなるのに対し、看護師の場合は「DPC が導入されたから」という回答が多くなり、看護師の方が DPC 導入との関連をやや強く感じている。



		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	無回答
全体		29,173 100.0%	6,734 23.1%	11,272 38.6%	3,430 11.8%	7,737 26.5%
職性別	医師	6,855 100.0%	1,193 17.4%	2,905 42.4%	775 11.3%	1,982 28.9%
	看護師	21,600 100.0%	5,406 25.0%	8,153 37.7%	2,584 12.0%	5,457 25.3%
	無回答	718 100.0%	135 18.8%	214 29.8%	71 9.9%	298 41.5%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、調査協力病院で「DPC が導入されたから」という回答割合が低くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、公的病院で「DPC が導入されたから」という回答割合が低くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別にみると、東京で「DPC が導入されたから」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	無回答
医師全体		6,855 100.0%	1,193 17.4%	2,905 42.4%	775 11.3%	1,982 28.9%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	192 18.8%	410 40.2%	138 13.5%	280 27.5%
	30歳代	2,720 100.0%	435 16.0%	1,141 41.9%	323 11.9%	821 30.2%
	40歳代	1,987 100.0%	333 16.8%	877 44.1%	218 11.0%	559 28.1%
	50歳代	678 100.0%	148 21.8%	297 43.8%	49 7.2%	184 27.1%
	60歳代以上	118 100.0%	37 31.4%	48 40.7%	10 8.5%	23 19.5%
	無回答	332 100.0%	48 14.5%	132 39.8%	37 11.1%	115 34.6%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	602 15.8%	1,652 43.4%	452 11.9%
試行的適用病院		2,526 100.0%	531 21.0%	1,032 40.9%	272 10.8%	691 27.4%
調査協力病院		521 100.0%	60 11.5%	221 42.4%	51 9.8%	189 36.3%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	601 15.9%	1,640 43.3%	447 11.8%	1,096 29.0%
	国立病院	611 100.0%	100 16.4%	269 44.0%	75 12.3%	167 27.3%
	社会保険病院	777 100.0%	155 19.9%	348 44.8%	73 9.4%	201 25.9%
	公的病院	253 100.0%	25 9.9%	100 39.5%	23 9.1%	105 41.5%
	民間病院	1,430 100.0%	312 21.8%	548 38.3%	157 11.0%	413 28.9%
地域別	北海道	454 100.0%	82 18.1%	165 36.3%	51 11.2%	156 34.4%
	東北	423 100.0%	85 20.1%	192 45.4%	44 10.4%	102 24.1%
	関東	972 100.0%	168 17.3%	376 38.7%	120 12.3%	308 31.7%
	東京	422 100.0%	102 24.2%	150 35.5%	66 15.6%	104 24.6%
	中部	1,234 100.0%	177 14.3%	548 44.4%	146 11.8%	363 29.4%
	関西	1,325 100.0%	222 16.8%	540 40.8%	158 11.9%	405 30.6%
	中国・四国	771 100.0%	112 14.5%	349 45.3%	80 10.4%	230 29.8%
	九州	1,254 100.0%	245 19.5%	585 46.7%	110 8.8%	314 25.0%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	516 17.3%	1,246 41.8%	329 11.0%	888 29.8%
	外科系	3,201 100.0%	553 17.3%	1,421 44.4%	366 11.4%	861 26.9%
	その他	583 100.0%	107 18.4%	203 34.8%	66 11.3%	207 35.5%
	無回答	92 100.0%	17 18.5%	35 38.0%	14 15.2%	26 28.3%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、50歳代以上で「DPCが導入されたから」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、「DPCが導入されたから」という回答割合は試行的適用病院で高く、調査協力病院で低いですが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、公的病院で「DPCが導入されたから」という回答割合が低いですが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	5,406 25.0%	8,153 37.7%	2,584 12.0%	5,457 25.3%
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	3,296 26.9%	4,456 36.4%	1,642 13.4%	2,843 23.2%
	30歳代	5,228 100.0%	1,109 21.2%	2,164 41.4%	578 11.1%	1,377 26.3%
	40歳代	2,573 100.0%	572 22.2%	1,009 39.2%	232 9.0%	760 29.5%
	50歳代	1,076 100.0%	313 29.1%	371 34.5%	83 7.7%	309 28.7%
	60歳代以上	22 100.0%	7 31.8%	5 22.7%	1 4.5%	9 40.9%
	無回答	462 100.0%	109 23.6%	146 31.6%	48 10.4%	159 34.4%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,958 23.1%	3,407 40.1%	1,014 11.9%	2,111 24.9%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	2,980 28.7%	3,688 35.5%	1,223 11.8%	2,499 24.1%
	調査協力病院	2,720 100.0%	468 17.2%	1,058 38.9%	347 12.8%	847 31.1%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,949 23.1%	3,371 40.0%	1,012 12.0%	2,100 24.9%
	国立病院	2,016 100.0%	464 23.0%	739 36.7%	219 10.9%	594 29.5%
	社会保険病院	3,182 100.0%	886 27.8%	1,288 40.5%	339 10.7%	669 21.0%
	公的病院	1,062 100.0%	179 16.9%	430 40.5%	125 11.8%	328 30.9%
	民間病院	6,908 100.0%	1,928 27.9%	2,325 33.7%	889 12.9%	1,766 25.6%
地域別	北海道	1,654 100.0%	385 23.3%	631 38.1%	195 11.8%	443 26.8%
	東北	1,742 100.0%	421 24.2%	623 35.8%	208 11.9%	490 28.1%
	関東	3,385 100.0%	899 26.6%	1,198 35.4%	450 13.3%	838 24.8%
	東京	1,611 100.0%	370 23.0%	671 41.7%	222 13.8%	348 21.6%
	中部	3,529 100.0%	783 22.2%	1,337 37.9%	432 12.2%	977 27.7%
	関西	3,795 100.0%	990 26.1%	1,334 35.2%	472 12.4%	999 26.3%
	中国・四国	2,391 100.0%	601 25.1%	947 39.6%	241 10.1%	602 25.2%
	九州	3,493 100.0%	957 27.4%	1,412 40.4%	364 10.4%	760 21.8%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,922 25.8%	2,780 37.3%	929 12.5%	1,826 24.5%
	外科系	8,978 100.0%	2,252 25.1%	3,562 39.7%	1,074 12.0%	2,090 23.3%
	その他	4,497 100.0%	1,052 23.4%	1,604 35.7%	506 11.3%	1,335 29.7%
	無回答	668 100.0%	180 26.9%	207 31.0%	75 11.2%	206 30.8%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲についての理解度が低いほど、「DPC が導入されたから」という回答割合が少なくなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	無回答
全体		29,173 100.0%	6,734 23.1%	11,272 38.6%	3,430 11.8%	7,737 26.5%
DPCの理解度 診断群分類 (質問1)について	よく理解している	513 100.0%	156 30.4%	187 36.5%	42 8.2%	128 25.0%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,583 25.8%	2,456 40.1%	593 9.7%	1,497 24.4%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	869 27.0%	1,251 38.9%	402 12.5%	694 21.6%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	3,013 23.9%	4,801 38.1%	1,499 11.9%	3,292 26.1%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	1,094 16.8%	2,547 39.2%	882 13.6%	1,971 30.4%
	無回答	216 100.0%	19 8.8%	30 13.9%	12 5.6%	155 71.8%
	DPCの理解度 包括の範囲 (質問2)について	よく理解している	456 100.0%	137 30.0%	172 37.7%	41 9.0%
ある程度理解している	4,622 100.0%	1,177 25.5%	1,870 40.5%	440 9.5%	1,135 24.6%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	836 26.5%	1,230 38.9%	379 12.0%	714 22.6%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	3,218 24.8%	4,947 38.2%	1,491 11.5%	3,299 25.5%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	1,348 17.3%	3,028 39.0%	1,072 13.8%	2,324 29.9%	
無回答	209 100.0%	18 8.6%	25 12.0%	7 3.3%	159 76.1%	

⑤ クリティカルパスの利用状況との関連

クリティカルパスの利用状況との関連性をみると、クリティカルパスの利用度が高いと回答している職員ほど、「DPC が導入されたから」という回答割合が高くなる。クリティカルパスの利用状況と利用の変化した理由の間には、弱い相関が見られる。

		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	無回答
全体		29,173 100.0%	6,734 23.1%	11,272 38.6%	3,430 11.8%	7,737 26.5%
クリティカルパス の利用状況 (質問6)	よく利用されている	6,503 100.0%	2,364 36.4%	2,850 43.8%	574 8.8%	715 11.0%
	少し利用されている	9,020 100.0%	2,618 29.0%	4,470 49.6%	1,080 12.0%	852 9.4%
	どちらともいえない	6,674 100.0%	1,019 15.3%	2,300 34.5%	896 13.4%	2,459 36.8%
	あまり利用されていない	3,539 100.0%	497 14.0%	1,146 32.4%	618 17.5%	1,278 36.1%
	まったく利用されていない	2,374 100.0%	226 9.5%	475 20.0%	243 10.2%	1,430 60.2%
	無回答	1,063 100.0%	10 0.9%	31 2.9%	19 1.8%	1,003 94.4%

(8) DPC導入後の医療内容の変化

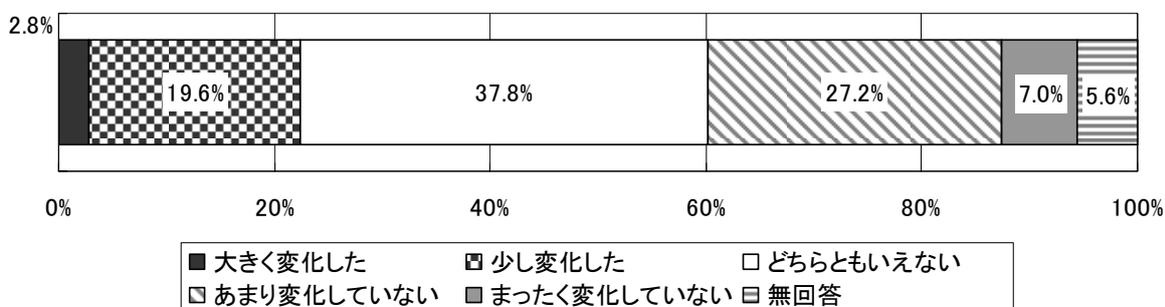
① 全体傾向

DPC導入後の医療内容の変化については、「どちらとも言えない」という回答が37.8%と最も多く、「あまり変化していない」(27.2%)、「少し変化した」(19.6%)の順に多い。

「大きく変化した」(2.8%)、「少し変化した」(19.6%)をあわせ約2割の職員が、DPC導入による医療内容の変化を感じている。

医師と看護師を比較すると、医師の方が看護師と比べると「大きく変化した」、「少し変化した」という回答割合が高いのに対し、看護師は「どちらとも言えない」という回答割合が非常に高い。職制との関係は有意であり、医師と看護師の間で差が見られる。

(分割表分析係数=0.2479、P値<0.01)



		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらとも言えない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答
全体		29,173	822	5,710	11,038	7,930	2,029	1,644
		100.0%	2.8%	19.6%	37.8%	27.2%	7.0%	5.6%
職性別	医師	6,855	302	1,845	1,270	2,343	869	226
		100.0%	4.4%	26.9%	18.5%	34.2%	12.7%	3.3%
	看護師	21,600	500	3,755	9,537	5,444	1,116	1,248
		100.0%	2.3%	17.4%	44.2%	25.2%	5.2%	5.8%
無回答		718	20	110	231	143	44	170
		100.0%	2.8%	15.3%	32.2%	19.9%	6.1%	23.7%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「少し変化した」という回答割合が高いのに対し、年代がさがるほど「どちらとも言えない」という回答割合が高くなっており、年代があがるほど DPC 導入後の医療内容の変化を感じている。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、調査協力病院で「少し変化した」という回答割合が低くなるが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、公的病院で「少し変化した」という回答割合が低くなるが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、東北で「大きく変化した」という回答割合がやや高く、東京で「少し変化した」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、その他で「大きく変化した」、「少し変化した」という回答割合がやや低く、診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらともいえない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	302 4.4%	1,845 26.9%	1,270 18.5%	2,343 34.2%	869 12.7%	226 3.3%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	25 2.5%	209 20.5%	316 31.0%	304 29.8%	113 11.1%	53 5.2%
	30歳代	2,720 100.0%	117 4.3%	637 23.4%	505 18.6%	968 35.6%	412 15.1%	81 3.0%
	40歳代	1,987 100.0%	87 4.4%	662 33.3%	271 13.6%	699 35.2%	222 11.2%	46 2.3%
	50歳代	678 100.0%	46 6.8%	222 32.7%	92 13.6%	229 33.8%	71 10.5%	18 2.7%
	60歳代以上	118 100.0%	8 6.8%	52 44.1%	17 14.4%	27 22.9%	5 4.2%	9 7.6%
	無回答	332 100.0%	19 5.7%	63 19.0%	69 20.8%	116 34.9%	46 13.9%	19 5.7%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	176 4.6%	971 25.5%	705 18.5%	1,300 34.1%	522 13.7%
試行的適用病院		2,526 100.0%	113 4.5%	794 31.4%	471 18.6%	851 33.7%	243 9.6%	54 2.1%
調査協力病院		521 100.0%	13 2.5%	80 15.4%	94 18.0%	192 36.9%	104 20.0%	38 7.3%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	176 4.7%	968 25.6%	703 18.6%	1,287 34.0%	516 13.6%	134 3.5%
	国立病院	611 100.0%	30 4.9%	149 24.4%	134 21.9%	216 35.4%	69 11.3%	13 2.1%
	社会保険病院	777 100.0%	27 3.5%	273 35.1%	142 18.3%	245 31.5%	76 9.8%	14 1.8%
	公的病院	253 100.0%	9 3.6%	40 15.8%	35 13.8%	86 34.0%	51 20.2%	32 12.6%
	民間病院	1,430 100.0%	60 4.2%	415 29.0%	256 17.9%	509 35.6%	157 11.0%	33 2.3%
地域別	北海道	454 100.0%	16 3.5%	130 28.6%	80 17.6%	154 33.9%	60 13.2%	14 3.1%
	東北	423 100.0%	34 8.0%	119 28.1%	101 23.9%	113 26.7%	41 9.7%	15 3.5%
	関東	972 100.0%	36 3.7%	242 24.9%	182 18.7%	351 36.1%	126 13.0%	35 3.6%
	東京	422 100.0%	16 3.8%	138 32.7%	64 15.2%	139 32.9%	55 13.0%	10 2.4%
	中部	1,234 100.0%	49 4.0%	320 25.9%	224 18.2%	436 35.3%	174 14.1%	31 2.5%
	関西	1,325 100.0%	57 4.3%	348 26.3%	233 17.6%	448 33.8%	182 13.7%	57 4.3%
	中国・四国	771 100.0%	29 3.8%	207 26.8%	125 16.2%	292 37.9%	102 13.2%	16 2.1%
	九州	1,254 100.0%	65 5.2%	341 27.2%	261 20.8%	410 32.7%	129 10.3%	48 3.8%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	132 4.4%	817 27.4%	544 18.3%	1,004 33.7%	391 13.1%	91 3.1%
	外科系	3,201 100.0%	152 4.7%	906 28.3%	499 15.6%	1,158 36.2%	401 12.5%	85 2.7%
	その他	583 100.0%	16 2.7%	102 17.5%	211 36.2%	145 24.9%	65 11.1%	44 7.5%
	無回答	92 100.0%	2 2.2%	20 21.7%	16 17.4%	36 39.1%	12 13.0%	6 6.5%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別で見ると、年代があがるほど「少し変化した」という回答割合が高いのに対し、年代がさがるほど「どちらとも言えない」という回答割合が高くなっており、年代との間には弱い相関が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況で見ると、調査協力病院で「少し変化した」という回答割合がやや低いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別で見ると、社会保険病院で「少し変化した」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらともいえない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	500 2.3%	3,755 17.4%	9,537 44.2%	5,444 25.2%	1,116 5.2%	1,248 5.8%
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	180 1.5%	1,784 14.6%	6,202 50.7%	2,819 23.0%	586 4.8%	666 5.4%
	30歳代	5,228 100.0%	133 2.5%	964 18.4%	2,022 38.7%	1,472 28.2%	354 6.8%	283 5.4%
	40歳代	2,573 100.0%	99 3.8%	606 23.6%	803 31.2%	780 30.3%	122 4.7%	163 6.3%
	50歳代	1,076 100.0%	69 6.4%	315 29.3%	326 30.3%	250 23.2%	31 2.9%	85 7.9%
	60歳代以上	22 100.0%	1 4.5%	8 36.4%	5 22.7%	2 9.1%	0 0.0%	6 27.3%
	無回答	462 100.0%	18 3.9%	77 16.7%	178 38.5%	121 26.2%	23 5.0%	45 9.7%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	184 2.2%	1,361 16.0%	3,924 46.2%	2,095 24.7%	466 5.5%	460 5.4%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	285 2.7%	2,105 20.3%	4,344 41.8%	2,667 25.7%	419 4.0%	570 5.5%
	調査協力病院	2,720 100.0%	31 1.1%	289 10.6%	1,269 46.7%	682 25.1%	231 8.5%	218 8.0%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	180 2.1%	1,347 16.0%	3,909 46.4%	2,076 24.6%	460 5.5%	460 5.5%
	国立病院	2,016 100.0%	46 2.3%	320 15.9%	935 46.4%	496 24.6%	108 5.4%	111 5.5%
	社会保険病院	3,182 100.0%	90 2.8%	729 22.9%	1,230 38.7%	856 26.9%	118 3.7%	159 5.0%
	公的病院	1,062 100.0%	15 1.4%	152 14.3%	428 40.3%	282 26.6%	73 6.9%	112 10.5%
	民間病院	6,908 100.0%	169 2.4%	1,207 17.5%	3,035 43.9%	1,734 25.1%	357 5.2%	406 5.9%
地域別	北海道	1,654 100.0%	54 3.3%	343 20.7%	733 44.3%	372 22.5%	71 4.3%	81 4.9%
	東北	1,742 100.0%	37 2.1%	302 17.3%	700 40.2%	474 27.2%	89 5.1%	140 8.0%
	関東	3,385 100.0%	55 1.6%	489 14.4%	1,578 46.6%	880 26.0%	194 5.7%	189 5.6%
	東京	1,611 100.0%	36 2.2%	250 15.5%	742 46.1%	418 25.9%	78 4.8%	87 5.4%
	中部	3,529 100.0%	45 1.3%	581 16.5%	1,596 45.2%	908 25.7%	223 6.3%	176 5.0%
	関西	3,795 100.0%	104 2.7%	679 17.9%	1,684 44.4%	860 22.7%	198 5.2%	270 7.1%
	中国・四国	2,391 100.0%	50 2.1%	446 18.7%	1,045 43.7%	625 26.1%	116 4.9%	109 4.6%
	九州	3,493 100.0%	119 3.4%	665 19.0%	1,459 41.8%	907 26.0%	147 4.2%	196 5.6%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	120 1.6%	1,261 16.9%	3,360 45.1%	1,955 26.2%	379 5.1%	382 5.1%
	外科系	8,978 100.0%	254 2.8%	1,706 19.0%	3,855 42.9%	2,249 25.1%	410 4.6%	504 5.6%
	その他	4,497 100.0%	105 2.3%	663 14.7%	2,029 45.1%	1,091 24.3%	302 6.7%	307 6.8%
	無回答	668 100.0%	21 3.1%	125 18.7%	293 43.9%	149 22.3%	25 3.7%	55 8.2%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「大きく変化した」、「少し変化した」という回答割合が高くなっている。DPC の理解度と DPC による医療内容の変化についての認識の関係は有意であり、相関が見られる。(質問 1 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2743、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2874、P 値<0.01)

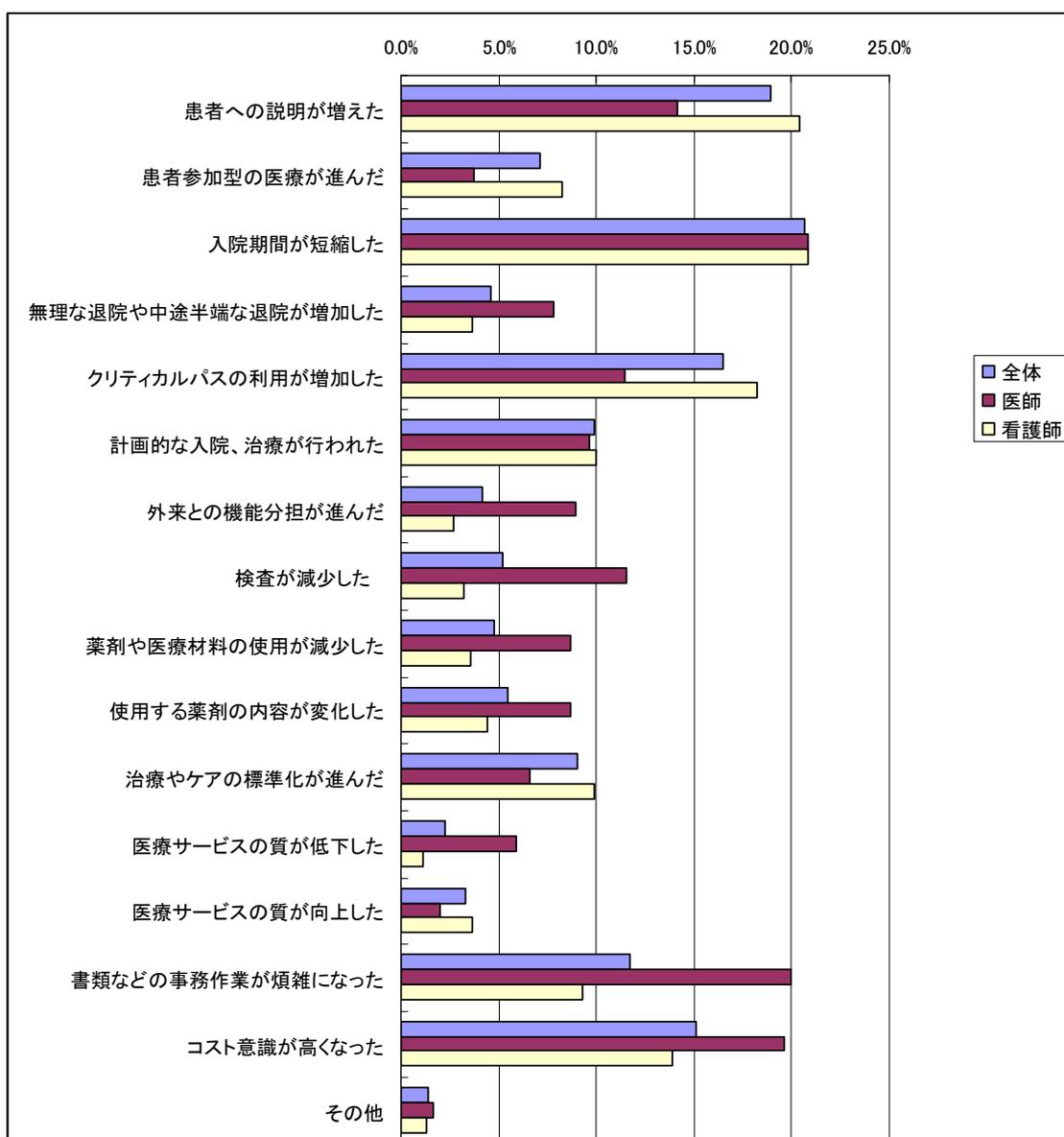
		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらともいえない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答
全体		29,173 100.0%	822 2.8%	5,710 19.6%	11,038 37.8%	7,930 27.2%	2,029 7.0%	1,644 5.6%
DPCの理解度の診断群分類(質問1)について	よく理解している	513 100.0%	61 11.9%	164 32.0%	52 10.1%	169 32.9%	47 9.2%	20 3.9%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	317 5.2%	1,948 31.8%	1,327 21.7%	1,883 30.7%	435 7.1%	219 3.6%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	91 2.8%	672 20.9%	1,472 45.8%	704 21.9%	144 4.5%	133 4.1%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	276 2.2%	2,227 17.7%	5,036 40.0%	3,697 29.3%	710 5.6%	659 5.2%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	76 1.2%	683 10.5%	3,116 48.0%	1,459 22.5%	687 10.6%	473 7.3%
	無回答	216 100.0%	1 0.5%	16 7.4%	35 16.2%	18 8.3%	6 2.8%	140 64.8%
	DPCの理解度の包括の範囲(質問2)について	よく理解している	456 100.0%	63 13.8%	144 31.6%	52 11.4%	130 28.5%	46 10.1%
ある程度理解している	4,622 100.0%	282 6.1%	1,602 34.7%	857 18.5%	1,418 30.7%	320 6.9%	143 3.1%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	92 2.9%	730 23.1%	1,336 42.3%	707 22.4%	151 4.8%	143 4.5%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	291 2.2%	2,407 18.6%	5,112 39.5%	3,826 29.5%	659 5.1%	660 5.1%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	92 1.2%	813 10.5%	3,647 46.9%	1,834 23.6%	849 10.9%	537 6.9%	
無回答	209 100.0%	2 1.0%	14 6.7%	34 16.3%	15 7.2%	4 1.9%	140 67.0%	

(9) DPC導入後の医療内容の変化（具体的な項目）

① 全体傾向

DPC 導入後の医療内容で変化した点については、「入院期間が短縮した」という回答が 20.7%と最も多く、「患者への説明が増えた」(18.9%)、「クリティカルパスの利用が増加した」(16.5%)、「コスト意識が高くなった」(15.1%) の順に多い。

医師と看護師を比較すると、医師では「外来との機能分担が進んだ」、「書類などの事務作業が繁雑になった」、「検査が減少した」、「コスト意識が高くなった」という項目での回答割合が高いのに対し、看護師では「患者への説明が増えた」、「患者参加型の医療が進んだ」、「クリティカルパスの利用が増加した」という項目での回答割合が高い。職制との関係は有意であり、医師と看護師の間で差が見られる。(分割表分析係数=0.2611、P 値<0.01)



		サンプル数	患者への説明が増えた	患者参加型の医療が進んだ	入院期間が短縮した	無理な退院や中途半端な退院が増加した	クリティカルパスの利用が増加した	計画的な入院、治療が行われた	外来との機能分担が進んだ	検査が減少した
全体		29,173 100.0%	5,518 18.9%	2,079 7.1%	6,028 20.7%	1,348 4.6%	4,814 16.5%	2,893 9.9%	1,213 4.2%	1,520 5.2%
職性別	医師	6,855 100.0%	969 14.1%	255 3.7%	1,426 20.8%	535 7.8%	785 11.5%	663 9.7%	613 8.9%	793 11.6%
	看護師	21,600 100.0%	4,415 20.4%	1,787 8.3%	4,491 20.8%	786 3.6%	3,936 18.2%	2,165 10.0%	577 2.7%	701 3.2%
	無回答	718 100.0%	134 18.7%	37 5.2%	111 15.5%	27 3.8%	93 13.0%	65 9.1%	23 3.2%	26 3.6%
		サンプル数	薬剤や医療材料の使用が減少した	使用する薬剤の内容が変化した	治療やケアの標準化が進んだ	医療サービスの質が低下した	医療サービスの質が向上した	書類などの事務作業が煩雑になった	コスト意識が高くなった	その他
全体		29,173 100.0%	1,399 4.8%	1,585 5.4%	2,635 9.0%	665 2.3%	959 3.3%	3,431 11.8%	4,418 15.1%	401 1.4%
職性別	医師	6,855 100.0%	595 8.7%	596 8.7%	455 6.6%	406 5.9%	137 2.0%	1,369 20.0%	1,343 19.6%	112 1.6%
	看護師	21,600 100.0%	777 3.6%	965 4.5%	2,129 9.9%	247 1.1%	793 3.7%	1,997 9.2%	2,998 13.9%	282 1.3%
	無回答	718 100.0%	27 3.8%	24 3.3%	51 7.1%	12 1.7%	29 4.0%	65 9.1%	77 10.7%	7 1.0%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、大部分の項目について、年代があがるほど回答割合が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で各項目への回答割合が高いのに対し、調査協力病院では回答割合が低くなっており、DPC導入の状況との間では弱い相関が見られる。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、社会保険病院で各項目に対する回答割合が高いのに対し、公的病院では回答割合が低い。設置主体との間には弱い相関が見られる。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

	サンプル数	患者への説明が増えた	患者参加型の医療が進んだ	入院期間が短縮した	無理な退院や中途半端な退院が増加した	クリティカルバスの利用が増加した	計画的な入院、治療が行われた	外来との機能分担が進んだ	検査が減少した	
医師全体	6,855 100.0%	969 14.1%	255 3.7%	1,426 20.8%	535 7.8%	785 11.5%	663 9.7%	613 8.9%	793 11.6%	
年齢別	20歳代	1,020 100.0%	113 11.1%	25 2.5%	160 15.7%	58 5.7%	119 11.7%	77 7.5%	68 6.7%	86 8.4%
	30歳代	2,720 100.0%	315 11.6%	72 2.6%	468 17.2%	204 7.5%	276 10.1%	200 7.4%	182 6.7%	277 10.2%
	40歳代	1,987 100.0%	304 15.3%	80 4.0%	479 24.1%	185 9.3%	236 11.9%	218 11.0%	235 11.8%	271 13.6%
	50歳代	678 100.0%	148 21.8%	46 6.8%	212 31.3%	59 8.7%	92 13.6%	101 14.9%	84 12.4%	117 17.3%
	60歳代以上	118 100.0%	39 33.1%	20 16.9%	46 39.0%	10 8.5%	29 24.6%	29 24.6%	28 23.7%	15 12.7%
	無回答	332 100.0%	50 15.1%	12 3.6%	61 18.4%	19 5.7%	33 9.9%	38 11.4%	16 4.8%	27 8.1%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	613 16.1%	160 4.2%	800 21.0%	344 9.0%	383 10.1%	336 8.8%	307 8.1%
試行的適用病院		2,526 100.0%	295 11.7%	74 2.9%	561 22.2%	169 6.7%	351 13.9%	287 11.4%	287 11.4%	412 16.3%
調査協力病院		521 100.0%	61 11.7%	21 4.0%	65 12.5%	22 4.2%	51 9.8%	40 7.7%	19 3.6%	7 1.3%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	610 16.1%	160 4.2%	798 21.1%	343 9.1%	382 10.1%	336 8.9%	306 8.1%	374 9.9%
	国立病院	611 100.0%	83 13.6%	20 3.3%	148 24.2%	59 9.7%	90 14.7%	70 11.5%	47 7.7%	54 8.8%
	社会保険病院	777 100.0%	87 11.2%	23 3.0%	146 18.8%	44 5.7%	101 13.0%	79 10.2%	93 12.0%	146 18.8%
	公的病院	253 100.0%	26 10.3%	8 3.2%	37 14.6%	15 5.9%	18 7.1%	19 7.5%	9 3.6%	6 2.4%
	民間病院	1,430 100.0%	163 11.4%	44 3.1%	297 20.8%	74 5.2%	194 13.6%	159 11.1%	158 11.0%	213 14.9%
地域別	北海道	454 100.0%	67 14.8%	22 4.8%	79 17.4%	37 8.1%	44 9.7%	50 11.0%	45 9.9%	61 13.4%
	東北	423 100.0%	58 13.7%	17 4.0%	94 22.2%	56 13.2%	63 14.9%	43 10.2%	41 9.7%	41 9.7%
	関東	972 100.0%	142 14.6%	46 4.7%	158 16.3%	53 5.5%	107 11.0%	86 8.8%	87 9.0%	82 8.4%
	東京	422 100.0%	58 13.7%	15 3.6%	80 19.0%	32 7.6%	52 12.3%	34 8.1%	42 10.0%	84 19.9%
	中部	1,234 100.0%	160 13.0%	44 3.6%	258 20.9%	87 7.1%	125 10.1%	102 8.3%	96 7.8%	132 10.7%
	関西	1,325 100.0%	180 13.6%	49 3.7%	283 21.4%	107 8.1%	145 10.9%	122 9.2%	113 8.5%	182 13.7%
	中国・四国	771 100.0%	98 12.7%	21 2.7%	186 24.1%	68 8.8%	88 11.4%	92 11.9%	77 10.0%	79 10.2%
	九州	1,254 100.0%	206 16.4%	41 3.3%	288 23.0%	95 7.6%	161 12.8%	134 10.7%	112 8.9%	132 10.5%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	411 13.8%	116 3.9%	627 21.0%	284 9.5%	298 10.0%	288 9.7%	272 9.1%	337 11.3%
	外科系	3,201 100.0%	470 14.7%	126 3.9%	700 21.9%	219 6.8%	419 13.1%	317 9.9%	301 9.4%	404 12.6%
	その他	583 100.0%	73 12.5%	11 1.9%	80 13.7%	29 5.0%	55 9.4%	45 7.7%	34 5.8%	44 7.5%
	無回答	92 100.0%	15 16.3%	2 2.2%	19 20.7%	3 3.3%	13 14.1%	13 14.1%	6 6.5%	8 8.7%

	サンプル数	薬剤や医療材料の使用が減少した	使用する薬剤の内容が変化した	治療やケアの標準化が進んだ	医療サービスの質が低下した	医療サービスの質が向上した	書類などの事務作業が煩雑になった	コスト意識が高くなった	その他	
医師全体	6,855 100.0%	595 8.7%	596 8.7%	455 6.6%	406 5.9%	137 2.0%	1,369 20.0%	1,343 19.6%	112 1.6%	
年齢別	20歳代	1,020 100.0%	65 6.4%	84 8.2%	47 4.6%	36 3.5%	9 0.9%	162 15.9%	193 18.9%	18 1.8%
	30歳代	2,720 100.0%	212 7.8%	211 7.8%	145 5.3%	165 6.1%	43 1.6%	488 17.9%	489 18.0%	47 1.7%
	40歳代	1,987 100.0%	210 10.6%	200 10.1%	145 7.3%	137 6.9%	38 1.9%	453 22.8%	414 20.8%	33 1.7%
	50歳代	678 100.0%	72 10.6%	71 10.5%	78 11.5%	38 5.6%	27 4.0%	189 27.9%	163 24.0%	8 1.2%
	60歳代以上	118 100.0%	13 11.0%	12 10.2%	23 19.5%	4 3.4%	13 11.0%	29 24.6%	36 30.5%	2 1.7%
	無回答	332 100.0%	23 6.9%	18 5.4%	17 5.1%	26 7.8%	7 2.1%	48 14.5%	48 14.5%	4 1.2%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	293 7.7%	222 5.8%	212 5.6%	259 6.8%	65 1.7%	767 20.1%	700 18.4%
試行的適用病院		2,526 100.0%	283 11.2%	351 13.9%	210 8.3%	136 5.4%	62 2.5%	528 20.9%	594 23.5%	47 1.9%
調査協力病院		521 100.0%	19 3.6%	23 4.4%	33 6.3%	11 2.1%	10 1.9%	74 14.2%	49 9.4%	10 1.9%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	293 7.7%	220 5.8%	211 5.6%	258 6.8%	64 1.7%	764 20.2%	700 18.5%	55 1.5%
	国立病院	611 100.0%	38 6.2%	48 7.9%	46 7.5%	35 5.7%	17 2.8%	115 18.8%	107 17.5%	7 1.1%
	社会保険病院	777 100.0%	114 14.7%	129 16.6%	63 8.1%	50 6.4%	14 1.8%	172 22.1%	191 24.6%	15 1.9%
	公的病院	253 100.0%	13 5.1%	16 6.3%	13 5.1%	6 2.4%	2 0.8%	31 12.3%	29 11.5%	4 1.6%
	民間病院	1,430 100.0%	137 9.6%	183 12.8%	122 8.5%	57 4.0%	40 2.8%	287 20.1%	316 22.1%	31 2.2%
地域別	北海道	454 100.0%	31 6.8%	61 13.4%	36 7.9%	26 5.7%	11 2.4%	87 19.2%	93 20.5%	7 1.5%
	東北	423 100.0%	48 11.3%	43 10.2%	31 7.3%	32 7.6%	7 1.7%	110 26.0%	87 20.6%	14 3.3%
	関東	972 100.0%	71 7.3%	72 7.4%	70 7.2%	57 5.9%	29 3.0%	202 20.8%	171 17.6%	23 2.4%
	東京	422 100.0%	59 14.0%	58 13.7%	29 6.9%	39 9.2%	5 1.2%	79 18.7%	100 23.7%	5 1.2%
	中部	1,234 100.0%	116 9.4%	88 7.1%	78 6.3%	64 5.2%	19 1.5%	238 19.3%	217 17.6%	24 1.9%
	関西	1,325 100.0%	127 9.6%	123 9.3%	82 6.2%	60 4.5%	26 2.0%	229 17.3%	275 20.8%	20 1.5%
	中国・四国	771 100.0%	55 7.1%	53 6.9%	49 6.4%	52 6.7%	18 2.3%	153 19.8%	144 18.7%	8 1.0%
	九州	1,254 100.0%	88 7.0%	98 7.8%	80 6.4%	76 6.1%	22 1.8%	271 21.6%	256 20.4%	11 0.9%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	178 6.0%	247 8.3%	153 5.1%	207 6.9%	68 2.3%	565 19.0%	597 20.0%	49 1.6%
	外科系	3,201 100.0%	373 11.7%	300 9.4%	264 8.2%	171 5.3%	62 1.9%	709 22.1%	637 19.9%	49 1.5%
	その他	583 100.0%	33 5.7%	43 7.4%	31 5.3%	27 4.6%	6 1.0%	85 14.6%	99 17.0%	12 2.1%
	無回答	92 100.0%	11 12.0%	6 6.5%	7 7.6%	1 1.1%	1 1.1%	10 10.9%	10 10.9%	2 2.2%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、「患者への説明が増えた」、「患者参加型の医療が進んだ」、「入院期間が短縮した」、「計画的な入院、治療が行われた」、「治療やケアの標準化が進んだ」、「書類などの事務作業が繁雑になった」、「コスト意識が高くなった」といった項目では、年代があがるほど回答割合が高くなっている。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、「入院期間が短縮した」、「コスト意識が高くなった」といった項目で、DPC 病院ならびに試行的適用病院の回答割合が高くなるが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、社会保険病院で各項目に対する回答割合がやや高いのに対し、公的病院では回答割合がやや低いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

	サンプル数	患者への説明が増えた	患者参加型の医療が進んだ	入院期間が短縮した	無理な退院や中途半端な退院が増加した	クリティカルパスの利用が増加した	計画的な入院、治療が行われた	外来との機能分担が進んだ	検査が減少した
看護師全体	21,600 100.0%	4,415 20.4%	1,787 8.3%	4,491 20.8%	786 3.6%	3,936 18.2%	2,165 10.0%	577 2.7%	701 3.2%
年齢別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	2,000 16.3%	803 6.6%	2,211 18.1%	373 3.0%	2,121 17.3%	1,047 8.6%	253 2.1%
	30歳代	5,228 100.0%	1,145 21.9%	448 8.6%	1,075 20.6%	196 3.7%	955 18.3%	531 10.2%	142 2.7%
	40歳代	2,573 100.0%	706 27.4%	284 11.0%	697 27.1%	126 4.9%	490 19.0%	328 12.7%	102 4.0%
	50歳代	1,076 100.0%	427 39.7%	201 18.7%	390 36.2%	72 6.7%	268 24.9%	204 19.0%	64 5.9%
	60歳代以上	22 100.0%	11 50.0%	5 22.7%	8 36.4%	0 0.0%	8 36.4%	4 18.2%	3 13.6%
	無回答	462 100.0%	125 27.1%	46 10.0%	109 23.6%	19 4.1%	94 20.3%	51 11.0%	13 2.8%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,808 21.3%	793 9.3%	1,759 20.7%	338 4.0%	1,479 17.4%	758 8.9%	228 2.7%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	2,068 19.9%	825 7.9%	2,440 23.5%	390 3.8%	2,040 19.6%	1,183 11.4%	318 3.1%
	調査協力病院	2,720 100.0%	539 19.8%	169 6.2%	292 10.7%	58 2.1%	417 15.3%	224 8.2%	31 1.1%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,786 21.2%	778 9.2%	1,741 20.6%	332 3.9%	1,464 17.4%	748 8.9%	225 2.7%
	国立病院	2,016 100.0%	399 19.8%	225 11.2%	451 22.4%	85 4.2%	338 16.8%	201 10.0%	32 1.6%
	社会保険病院	3,182 100.0%	721 22.7%	241 7.6%	794 25.0%	101 3.2%	704 22.1%	350 11.0%	131 4.1%
	公的病院	1,062 100.0%	217 20.4%	83 7.8%	147 13.8%	31 2.9%	191 18.0%	108 10.2%	18 1.7%
	民間病院	6,908 100.0%	1,292 18.7%	460 6.7%	1,358 19.7%	237 3.4%	1,239 17.9%	758 11.0%	171 2.5%
地域別	北海道	1,654 100.0%	300 18.1%	199 12.0%	359 21.7%	78 4.7%	268 16.2%	161 9.7%	55 3.3%
	東北	1,742 100.0%	383 22.0%	145 8.3%	388 22.3%	82 4.7%	296 17.0%	196 11.3%	41 2.4%
	関東	3,385 100.0%	687 20.3%	248 7.3%	581 17.2%	113 3.3%	547 16.2%	311 9.2%	81 2.4%
	東京	1,611 100.0%	322 20.0%	137 8.5%	311 19.3%	50 3.1%	326 20.2%	137 8.5%	30 1.9%
	中部	3,529 100.0%	678 19.2%	227 6.4%	631 17.9%	107 3.0%	574 16.3%	314 8.9%	104 2.9%
	関西	3,795 100.0%	788 20.8%	312 8.2%	769 20.3%	124 3.3%	715 18.8%	360 9.5%	87 2.3%
	中国・四国	2,391 100.0%	476 19.9%	188 7.9%	580 24.3%	92 3.8%	412 17.2%	250 10.5%	60 2.5%
	九州	3,493 100.0%	781 22.4%	331 9.5%	872 25.0%	140 4.0%	798 22.8%	436 12.5%	119 3.4%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,488 20.0%	585 7.8%	1,475 19.8%	278 3.7%	1,220 16.4%	677 9.1%	171 2.3%
	外科系	8,978 100.0%	1,846 20.6%	797 8.9%	2,073 23.1%	367 4.1%	1,843 20.5%	1,003 11.2%	278 3.1%
	その他	4,497 100.0%	924 20.5%	356 7.9%	799 17.8%	116 2.6%	744 16.5%	414 9.2%	115 2.6%
	無回答	668 100.0%	157 23.5%	49 7.3%	144 21.6%	25 3.7%	129 19.3%	71 10.6%	13 1.9%

		サンプル数	薬剤や医療材料の使用が減少した	使用する薬剤の内容が変化した	治療やケアの標準化が進んだ	医療サービスの質が低下した	医療サービスの質が向上した	書類などの事務作業が煩雑になった	コスト意識が高くなった	その他
看護師全体		21,600 100.0%	777 3.6%	965 4.5%	2,129 9.9%	247 1.1%	793 3.7%	1,997 9.2%	2,998 13.9%	282 1.3%
年齢別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	319 2.6%	388 3.2%	906 7.4%	99 0.8%	363 3.0%	728 5.9%	1,646 13.5%	168 1.4%
	30歳代	5,228 100.0%	227 4.3%	283 5.4%	559 10.7%	75 1.4%	192 3.7%	544 10.4%	658 12.6%	67 1.3%
	40歳代	2,573 100.0%	143 5.6%	194 7.5%	387 15.0%	42 1.6%	118 4.6%	420 16.3%	395 15.4%	30 1.2%
	50歳代	1,076 100.0%	65 6.0%	78 7.2%	220 20.4%	25 2.3%	98 9.1%	243 22.6%	234 21.7%	9 0.8%
	60歳代以上	22 100.0%	2 9.1%	1 4.5%	6 27.3%	0 0.0%	7 31.8%	5 22.7%	3 13.6%	0 0.0%
	無回答	462 100.0%	21 4.5%	21 4.5%	50 10.8%	6 1.3%	15 3.2%	57 12.3%	62 13.4%	8 1.7%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	246 2.9%	267 3.1%	818 9.6%	102 1.2%	287 3.4%	772 9.1%	1,173 13.8%	107 1.3%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	496 4.8%	639 6.2%	1,125 10.8%	132 1.3%	386 3.7%	1,004 9.7%	1,591 15.3%	144 1.4%
	調査協力病院	2,720 100.0%	35 1.3%	59 2.2%	186 6.8%	13 0.5%	120 4.4%	221 8.1%	234 8.6%	31 1.1%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	243 2.9%	260 3.1%	808 9.6%	100 1.2%	286 3.4%	762 9.0%	1,159 13.7%	106 1.3%
	国立病院	2,016 100.0%	61 3.0%	76 3.8%	201 10.0%	14 0.7%	74 3.7%	157 7.8%	285 14.1%	27 1.3%
	社会保険病院	3,182 100.0%	187 5.9%	248 7.8%	414 13.0%	46 1.4%	131 4.1%	400 12.6%	580 18.2%	39 1.2%
	公的病院	1,062 100.0%	32 3.0%	42 4.0%	87 8.2%	5 0.5%	43 4.0%	106 10.0%	121 11.4%	15 1.4%
	民間病院	6,908 100.0%	254 3.7%	339 4.9%	619 9.0%	82 1.2%	259 3.7%	572 8.3%	853 12.3%	95 1.4%
地域別	北海道	1,654 100.0%	84 5.1%	99 6.0%	141 8.5%	29 1.8%	56 3.4%	112 6.8%	276 16.7%	17 1.0%
	東北	1,742 100.0%	50 2.9%	71 4.1%	205 11.8%	27 1.5%	73 4.2%	243 13.9%	222 12.7%	25 1.4%
	関東	3,385 100.0%	108 3.2%	133 3.9%	292 8.6%	36 1.1%	146 4.3%	312 9.2%	487 14.4%	47 1.4%
	東京	1,611 100.0%	52 3.2%	61 3.8%	142 8.8%	27 1.7%	47 2.9%	147 9.1%	230 14.3%	28 1.7%
	中部	3,529 100.0%	95 2.7%	133 3.8%	291 8.2%	29 0.8%	113 3.2%	283 8.0%	428 12.1%	53 1.5%
	関西	3,795 100.0%	162 4.3%	178 4.7%	403 10.6%	33 0.9%	129 3.4%	315 8.3%	533 14.0%	50 1.3%
	中国・四国	2,391 100.0%	98 4.1%	119 5.0%	223 9.3%	19 0.8%	73 3.1%	175 7.3%	364 15.2%	28 1.2%
	九州	3,493 100.0%	128 3.7%	171 4.9%	432 12.4%	47 1.3%	156 4.5%	410 11.7%	458 13.1%	34 1.0%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	195 2.6%	269 3.6%	657 8.8%	75 1.0%	250 3.4%	649 8.7%	1,001 13.4%	82 1.1%
	外科系	8,978 100.0%	399 4.4%	468 5.2%	984 11.0%	127 1.4%	342 3.8%	888 9.9%	1,299 14.5%	108 1.2%
	その他	4,497 100.0%	152 3.4%	199 4.4%	428 9.5%	36 0.8%	165 3.7%	404 9.0%	611 13.6%	81 1.8%
	無回答	668 100.0%	31 4.6%	29 4.3%	60 9.0%	9 1.3%	36 5.4%	56 8.4%	87 13.0%	11 1.6%

④ DPCの理解度との関連

DPCの理解度との関連性をみると、DPCの診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では、各項目での回答割合が高くなる傾向にある。DPCの理解度とDPC導入後の医療内容の具体的な変化に対する認識との間には、弱い相関が見られる。

		サンプル数	患者への説明が増えた	患者参加型の医療が進んだ	入院期間が短縮した	無理な退院や中途半端な退院が増加した	クリティカルバスの利用が増加した	計画的な入院、治療が行われた	外来との機能分担が進んだ	検査が減少した
全体		29,173 100.0%	5,518 18.9%	2,079 7.1%	6,028 20.7%	1,348 4.6%	4,814 16.5%	2,893 9.9%	1,213 4.2%	1,520 5.2%
DPCの理解度(診断群分類1)について	よく理解している	513 100.0%	138 26.9%	50 9.7%	167 32.6%	36 7.0%	76 14.8%	96 18.7%	80 15.6%	78 15.2%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,333 21.7%	516 8.4%	1,718 28.0%	424 6.9%	1,146 18.7%	862 14.1%	517 8.4%	624 10.2%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	658 20.5%	235 7.3%	694 21.6%	158 4.9%	550 17.1%	352 10.9%	129 4.0%	172 5.3%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	2,375 18.8%	901 7.1%	2,470 19.6%	525 4.2%	2,152 17.1%	1,151 9.1%	365 2.9%	495 3.9%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	992 15.3%	373 5.7%	962 14.8%	202 3.1%	875 13.5%	421 6.5%	117 1.8%	148 2.3%
	無回答	216 100.0%	22 10.2%	4 1.9%	17 7.9%	3 1.4%	15 6.9%	11 5.1%	5 2.3%	3 1.4%
	DPCの理解度の包括(質問2)について	よく理解している	456 100.0%	100 21.9%	45 9.9%	143 31.4%	29 6.4%	70 15.4%	77 16.9%	81 17.8%
ある程度理解している	4,622 100.0%	1,009 21.8%	384 8.3%	1,348 29.2%	371 8.0%	833 18.0%	679 14.7%	481 10.4%	548 11.9%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	678 21.5%	269 8.5%	723 22.9%	159 5.0%	565 17.9%	379 12.0%	135 4.3%	183 5.8%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	2,494 19.3%	920 7.1%	2,642 20.4%	547 4.2%	2,285 17.6%	1,221 9.4%	376 2.9%	526 4.1%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	1,217 15.7%	454 5.8%	1,157 14.9%	241 3.1%	1,046 13.5%	529 6.8%	135 1.7%	181 2.3%	
無回答	209 100.0%	20 9.6%	7 3.3%	15 7.2%	1 0.5%	15 7.2%	8 3.8%	5 2.4%	3 1.4%	

		サンプル数	薬剤や医療材料の使用が減少した	使用する薬剤の内容が変化した	治療やケアの標準化が進んだ	医療サービスの質が低下した	医療サービスの質が向上した	書類などの事務作業が煩雑になった	コスト意識が高くなった	その他
全体		29,173 100.0%	1,399 4.8%	1,585 5.4%	2,635 9.0%	665 2.3%	959 3.3%	3,431 11.8%	4,418 15.1%	401 1.4%
DPCの理解度(診断群分類1)について	よく理解している	513 100.0%	48 9.4%	66 12.9%	66 12.9%	25 4.9%	36 7.0%	113 22.0%	133 25.9%	5 1.0%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	540 8.8%	570 9.3%	750 12.2%	253 4.1%	262 4.3%	1,098 17.9%	1,339 21.8%	79 1.3%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	148 4.6%	182 5.7%	292 9.1%	87 2.7%	110 3.4%	415 12.9%	466 14.5%	36 1.1%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	484 3.8%	547 4.3%	1,083 8.6%	204 1.6%	402 3.2%	1,323 10.5%	1,802 14.3%	155 1.2%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	176 2.7%	216 3.3%	436 6.7%	93 1.4%	145 2.2%	474 7.3%	666 10.3%	126 1.9%
	無回答	216 100.0%	3 1.4%	4 1.9%	8 3.7%	3 1.4%	4 1.9%	8 3.7%	12 5.6%	0 0.0%
	DPCの理解度の包括(質問2)について	よく理解している	456 100.0%	52 11.4%	67 14.7%	52 11.4%	23 5.0%	24 5.3%	98 21.5%	132 28.9%
ある程度理解している	4,622 100.0%	472 10.2%	484 10.5%	589 12.7%	223 4.8%	198 4.3%	940 20.3%	1,106 23.9%	61 1.3%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	165 5.2%	187 5.9%	322 10.2%	89 2.8%	124 3.9%	404 12.8%	512 16.2%	40 1.3%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	521 4.0%	600 4.6%	1,174 9.1%	226 1.7%	427 3.3%	1,406 10.9%	1,857 14.3%	149 1.2%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	189 2.4%	244 3.1%	491 6.3%	103 1.3%	180 2.3%	575 7.4%	799 10.3%	145 1.9%	
無回答	209 100.0%	0 0.0%	3 1.4%	7 3.3%	1 0.5%	6 2.9%	8 3.8%	12 5.7%	1 0.5%	

⑤ DPC導入後の医療内容の変化に対する認識との関連

DPC 導入後の医療内容についての認識との関連性をみると、変化を感じている職員ほど、各項目への回答割合が高い。DPC 導入後の医療内容の変化に対する認識と、具体的に変化を感じている項目との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2156、P 値<0.01)

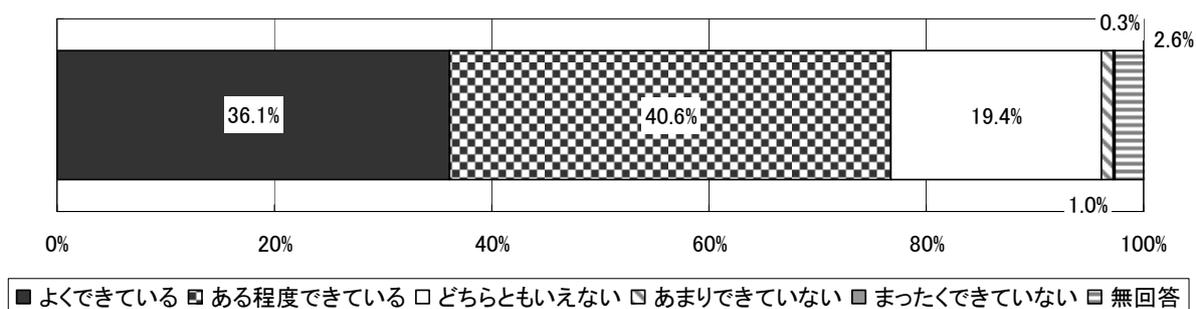
		サンプル数	患者への説明が増えた	患者参加型の医療が進んだ	入院期間が短縮した	無理な退院や中途半端な退院が増加した	クリティカルパスの利用が増加した	計画的な入院、治療が行われた	外来との機能分担が進んだ	検査が減少した
全体		29,173 100.0%	5,518 18.9%	2,079 7.1%	6,028 20.7%	1,348 4.6%	4,814 16.5%	2,893 9.9%	1,213 4.2%	1,520 5.2%
DPC導入後の医療内容の変化 (質問8)	大きく変化した	822 100.0%	376 45.7%	185 22.5%	530 64.5%	171 20.8%	385 46.8%	297 36.1%	151 18.4%	203 24.7%
	少し変化した	5,710 100.0%	2,121 37.1%	822 14.4%	3,027 53.0%	607 10.6%	2,303 40.3%	1,453 25.4%	735 12.9%	971 17.0%
	どちらともいえない	11,038 100.0%	1,684 15.3%	623 5.6%	1,423 12.9%	249 2.3%	1,347 12.2%	661 6.0%	166 1.5%	138 1.3%
	あまり変化していない	7,930 100.0%	1,022 12.9%	339 4.3%	866 10.9%	252 3.2%	609 7.7%	379 4.8%	130 1.6%	174 2.2%
	まったく変化していない	2,029 100.0%	170 8.4%	47 2.3%	84 4.1%	44 2.2%	70 3.4%	44 2.2%	13 0.6%	22 1.1%
	無回答	1,644 100.0%	145 8.8%	63 3.8%	98 6.0%	25 1.5%	100 6.1%	59 3.6%	18 1.1%	12 0.7%

		サンプル数	薬剤や医療材料の使用が減少した	使用する薬剤の内容が変化した	治療やケアの標準化が進んだ	医療サービスの質が低下した	医療サービスの質が向上した	書類などの事務作業が煩雑になった	コスト意識が高くなった	その他
全体		29,173 100.0%	1,399 4.8%	1,585 5.4%	2,635 9.0%	665 2.3%	959 3.3%	3,431 11.8%	4,418 15.1%	401 1.4%
DPC導入後の医療内容の変化 (質問8)	大きく変化した	822 100.0%	182 22.1%	164 20.0%	246 29.9%	95 11.6%	141 17.2%	230 28.0%	315 38.3%	19 2.3%
	少し変化した	5,710 100.0%	880 15.4%	921 16.1%	1,325 23.2%	316 5.5%	430 7.5%	1,485 26.0%	2,060 36.1%	82 1.4%
	どちらともいえない	11,038 100.0%	163 1.5%	239 2.2%	623 5.6%	113 1.0%	259 2.3%	735 6.7%	1,044 9.5%	149 1.3%
	あまり変化していない	7,930 100.0%	140 1.8%	214 2.7%	362 4.6%	94 1.2%	100 1.3%	752 9.5%	786 9.9%	86 1.1%
	まったく変化していない	2,029 100.0%	19 0.9%	26 1.3%	31 1.5%	35 1.7%	8 0.4%	163 8.0%	122 6.0%	49 2.4%
	無回答	1,644 100.0%	15 0.9%	21 1.3%	48 2.9%	12 0.7%	21 1.3%	66 4.0%	91 5.5%	16 1.0%

(10)患者からの信頼感の醸成（医師のみ回答）

① 全体傾向

患者から信頼感を得られているかどうかについては、「よくできている」（36.1%）、「少しできている」（40.6%）をあわせ、8割近くの医師が信頼感を得られていると回答しており、患者との信頼関係の構築に対する評価は高い。



ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど、「よくできている」という回答割合が高くなる一方で、「どちらとも言えない」という回答割合が低い。年代があがるほど患者との信頼感醸成についての評価が高くなっており、年代との間では相関が見られる。(分割表分析係数=0.2370、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、東北や東京、中国・四国で「よくできている」という回答割合がやや低いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系で「よくできている」という回答割合がやや高いのに対し、その他では「どちらとも言えない」という回答割合がやや高く、外科系の方が信頼度醸成についての評価が高くなっている。

		サンプル数	よくできている	ある程度できている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	2,475 36.1%	2,783 40.6%	1,333 19.4%	69 1.0%	19 0.3%	176 2.6%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	189 18.5%	505 49.5%	281 27.5%	13 1.3%	3 0.3%	29 2.8%
	30歳代	2,720 100.0%	844 31.0%	1,182 43.5%	595 21.9%	25 0.9%	8 0.3%	66 2.4%
	40歳代	1,987 100.0%	908 45.7%	713 35.9%	309 15.6%	14 0.7%	4 0.2%	39 2.0%
	50歳代	678 100.0%	355 52.4%	227 33.5%	67 9.9%	8 1.2%	2 0.3%	19 2.8%
	60歳代以上	118 100.0%	70 59.3%	29 24.6%	10 8.5%	1 0.8%	0 0.0%	8 6.8%
	無回答	332 100.0%	109 32.8%	127 38.3%	71 21.4%	8 2.4%	2 0.6%	15 4.5%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	1,402 36.8%	1,490 39.1%	747 19.6%	45 1.2%	16 0.4%
試行的適用病院		2,526 100.0%	888 35.2%	1,063 42.1%	493 19.5%	22 0.9%	3 0.1%	57 2.3%
調査協力病院		521 100.0%	185 35.5%	230 44.1%	93 17.9%	2 0.4%	0 0.0%	11 2.1%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	1,389 36.7%	1,482 39.2%	744 19.7%	45 1.2%	16 0.4%	108 2.9%
	国立病院	611 100.0%	219 35.8%	260 42.6%	116 19.0%	4 0.7%	2 0.3%	10 1.6%
	社会保険病院	777 100.0%	283 36.4%	330 42.5%	145 18.7%	6 0.8%	0 0.0%	13 1.7%
	公的病院	253 100.0%	95 37.5%	113 44.7%	37 14.6%	2 0.8%	0 0.0%	6 2.4%
	民間病院	1,430 100.0%	489 34.2%	598 41.8%	291 20.3%	12 0.8%	1 0.1%	39 2.7%
地域別	北海道	454 100.0%	171 37.7%	156 34.4%	104 22.9%	5 1.1%	2 0.4%	16 3.5%
	東北	423 100.0%	126 29.8%	170 40.2%	102 24.1%	9 2.1%	0 0.0%	16 3.8%
	関東	972 100.0%	383 39.4%	371 38.2%	176 18.1%	9 0.9%	2 0.2%	31 3.2%
	東京	422 100.0%	150 35.5%	172 40.8%	81 19.2%	6 1.4%	2 0.5%	11 2.6%
	中部	1,234 100.0%	457 37.0%	487 39.5%	248 20.1%	11 0.9%	4 0.3%	27 2.2%
	関西	1,325 100.0%	481 36.3%	557 42.0%	251 18.9%	9 0.7%	2 0.2%	25 1.9%
	中国・四国	771 100.0%	253 32.8%	341 44.2%	147 19.1%	10 1.3%	4 0.5%	16 2.1%
	九州	1,254 100.0%	454 36.2%	529 42.2%	224 17.9%	10 0.8%	3 0.2%	34 2.7%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	1,015 34.1%	1,275 42.8%	572 19.2%	32 1.1%	8 0.3%	77 2.6%
	外科系	3,201 100.0%	1,307 40.8%	1,237 38.6%	561 17.5%	28 0.9%	6 0.2%	62 1.9%
	その他	583 100.0%	120 20.6%	239 41.0%	179 30.7%	9 1.5%	4 0.7%	32 5.5%
	無回答	92 100.0%	33 35.9%	32 34.8%	21 22.8%	0 0.0%	1 1.1%	5 5.4%

② DPCの理解度との関連

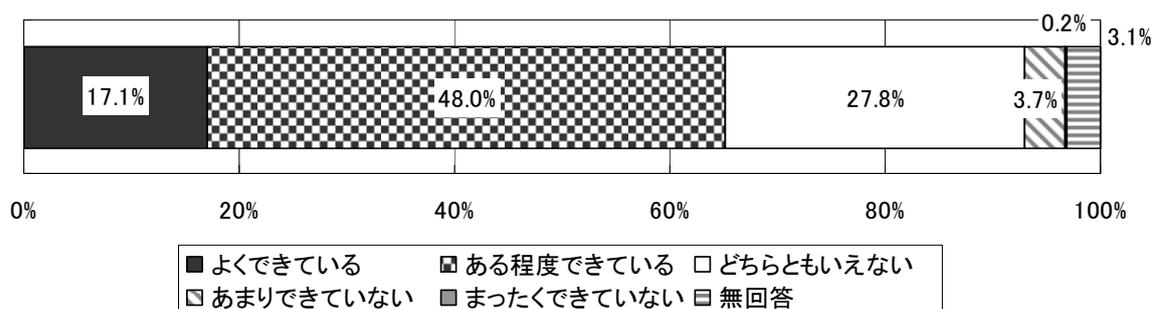
DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「よくできている」という回答割合が高くなっている。DPC の理解度と患者との信頼感の醸成に対する評価との関係は有意であり、相関が見られる。(質問 1 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2630、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2483、P 値<0.01)

		サンプル数	よくできている	ある程度できている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		6,855 100.0%	2,475 36.1%	2,783 40.6%	1,333 19.4%	69 1.0%	19 0.3%	176 2.6%
DPCの理解度 の診断群分類 (質問1について)	よく理解している	414 100.0%	275 66.4%	89 21.5%	37 8.9%	3 0.7%	0 0.0%	10 2.4%
	ある程度理解している	3,243 100.0%	1,351 41.7%	1,324 40.8%	471 14.5%	28 0.9%	2 0.1%	67 2.1%
	どちらともいえない	799 100.0%	193 24.2%	350 43.8%	231 28.9%	9 1.1%	0 0.0%	16 2.0%
	あまり理解していない	1,907 100.0%	532 27.9%	843 44.2%	459 24.1%	15 0.8%	6 0.3%	52 2.7%
	まったく理解していない	478 100.0%	119 24.9%	173 36.2%	134 28.0%	14 2.9%	10 2.1%	28 5.9%
	無回答	14 100.0%	5 35.7%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	3 21.4%
	DPCの理解度 の包括の範囲 (質問2について)	よく理解している	384 100.0%	262 68.2%	72 18.8%	36 9.4%	4 1.0%	0 0.0%
ある程度理解している	2,766 100.0%	1,165 42.1%	1,111 40.2%	407 14.7%	21 0.8%	2 0.1%	60 2.2%	
どちらともいえない	897 100.0%	249 27.8%	399 44.5%	218 24.3%	9 1.0%	0 0.0%	22 2.5%	
あまり理解していない	2,186 100.0%	630 28.8%	981 44.9%	493 22.6%	21 1.0%	5 0.2%	56 2.6%	
まったく理解していない	613 100.0%	168 27.4%	218 35.6%	177 28.9%	14 2.3%	11 1.8%	25 4.1%	
無回答	9 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	

(11)看護の方法や療養生活支援の遂行状況（看護師のみ回答）

① 全体傾向

入院中の看護方法や療養生活支援については、「ある程度できている」という回答が48.1%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」(27.8%)、「よくできている」(17.1%)の順に多い。6割を超える看護師ができていると回答しており、比較的高い評価となっている。



ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よくできている」という回答割合が高くなる一方で、「どちらとも言えない」という回答割合が低くなっている。年代があがるほど看護方法や療養生活支援についての評価が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、公的病院で「よくできている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、関東で「よくできている」という回答割合がやや低いですが、回答傾向には大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	ある程度できている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	3,691 17.1%	10,373 48.0%	6,007 27.8%	805 3.7%	52 0.2%	672 3.1%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	1,672 13.7%	6,029 49.3%	3,806 31.1%	411 3.4%	36 0.3%	283 2.3%
	30歳代	5,228 100.0%	1,023 19.6%	2,428 46.4%	1,392 26.6%	218 4.2%	7 0.1%	160 3.1%
	40歳代	2,573 100.0%	596 23.2%	1,231 47.8%	517 20.1%	111 4.3%	4 0.2%	114 4.4%
	50歳代	1,076 100.0%	311 28.9%	473 44.0%	169 15.7%	41 3.8%	5 0.5%	77 7.2%
	60歳代以上	22 100.0%	6 27.3%	5 22.7%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 22.7%
	無回答	462 100.0%	82 17.7%	207 44.8%	116 25.1%	24 5.2%	0 0.0%	33 7.1%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,566 18.4%	4,151 48.9%	2,235 26.3%	294 3.5%	24 0.3%	220 2.6%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,744 16.8%	4,954 47.7%	2,900 27.9%	405 3.9%	16 0.2%	371 3.6%
	調査協力病院	2,720 100.0%	381 14.0%	1,268 46.6%	872 32.1%	106 3.9%	12 0.4%	81 3.0%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,533 18.2%	4,138 49.1%	2,224 26.4%	293 3.5%	24 0.3%	220 2.6%
	国立病院	2,016 100.0%	378 18.8%	942 46.7%	556 27.6%	81 4.0%	5 0.2%	54 2.7%
	社会保険病院	3,182 100.0%	502 15.8%	1,538 48.3%	907 28.5%	129 4.1%	1 0.0%	105 3.3%
	公的病院	1,062 100.0%	230 21.7%	520 49.0%	253 23.8%	29 2.7%	3 0.3%	27 2.5%
	民間病院	6,908 100.0%	1,048 15.2%	3,235 46.8%	2,067 29.9%	273 4.0%	19 0.3%	266 3.9%
地域別	北海道	1,654 100.0%	287 17.4%	794 48.0%	456 27.6%	68 4.1%	6 0.4%	43 2.6%
	東北	1,742 100.0%	308 17.7%	785 45.1%	441 25.3%	89 5.1%	5 0.3%	114 6.5%
	関東	3,385 100.0%	491 14.5%	1,553 45.9%	1,080 31.9%	146 4.3%	11 0.3%	104 3.1%
	東京	1,611 100.0%	286 17.8%	719 44.6%	508 31.5%	43 2.7%	3 0.2%	52 3.2%
	中部	3,529 100.0%	551 15.6%	1,785 50.6%	943 26.7%	153 4.3%	7 0.2%	90 2.6%
	関西	3,795 100.0%	712 18.8%	1,816 47.9%	1,043 27.5%	118 3.1%	7 0.2%	99 2.6%
	中国・四国	2,391 100.0%	467 19.5%	1,189 49.7%	608 25.4%	64 2.7%	4 0.2%	59 2.5%
	九州	3,493 100.0%	589 16.9%	1,732 49.6%	928 26.6%	124 3.5%	9 0.3%	111 3.2%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,148 15.4%	3,633 48.7%	2,107 28.3%	333 4.5%	13 0.2%	223 3.0%
	外科系	8,978 100.0%	1,652 18.4%	4,274 47.6%	2,491 27.7%	295 3.3%	20 0.2%	246 2.7%
	その他	4,497 100.0%	792 17.6%	2,171 48.3%	1,199 26.7%	151 3.4%	16 0.4%	168 3.7%
	無回答	668 100.0%	99 14.8%	295 44.2%	210 31.4%	26 3.9%	3 0.4%	35 5.2%

② DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「よくできている」という回答割合が高くなっている。

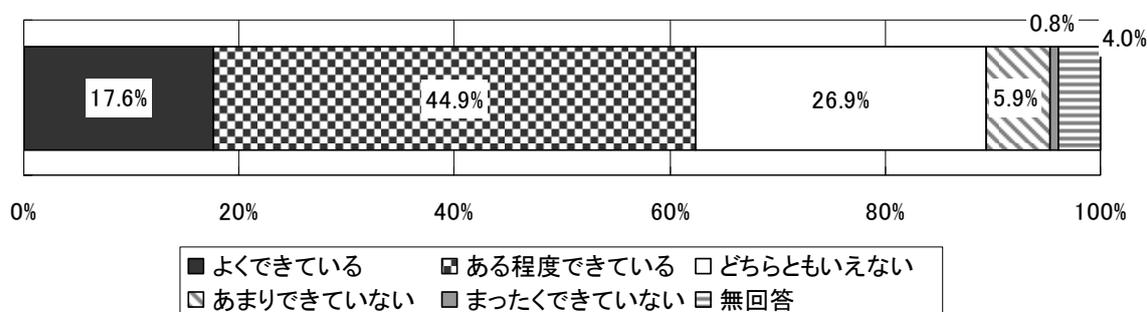
		サンプル数	よくできている	ある程度できている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		21,600 100.0%	3,691 17.1%	10,373 48.0%	6,007 27.8%	805 3.7%	52 0.2%	672 3.1%
DPCの理解度の診断群分類(質問1)について	よく理解している	87 100.0%	36 41.4%	28 32.2%	8 9.2%	7 8.0%	0 0.0%	8 9.2%
	ある程度理解している	2,756 100.0%	707 25.7%	1,397 50.7%	471 17.1%	77 2.8%	5 0.2%	99 3.6%
	どちらともいえない	2,340 100.0%	385 16.5%	1,066 45.6%	765 32.7%	49 2.1%	4 0.2%	71 3.0%
	あまり理解していない	10,439 100.0%	1,673 16.0%	5,135 49.2%	2,941 28.2%	381 3.6%	10 0.1%	299 2.9%
	まったく理解していない	5,902 100.0%	877 14.9%	2,711 45.9%	1,807 30.6%	288 4.9%	33 0.6%	186 3.2%
	無回答	76 100.0%	13 17.1%	36 47.4%	15 19.7%	3 3.9%	0 0.0%	9 11.8%
	DPCの理解度の包括の範囲(質問2)について	よく理解している	59 100.0%	25 42.4%	16 27.1%	7 11.9%	5 8.5%	0 0.0%
ある程度理解している	1,753 100.0%	510 29.1%	855 48.8%	262 14.9%	55 3.1%	2 0.1%	69 3.9%	
どちらともいえない	2,189 100.0%	375 17.1%	1,030 47.1%	663 30.3%	46 2.1%	3 0.1%	72 3.3%	
あまり理解していない	10,504 100.0%	1,735 16.5%	5,171 49.2%	2,896 27.6%	373 3.6%	13 0.1%	316 3.0%	
まったく理解していない	7,019 100.0%	1,033 14.7%	3,267 46.5%	2,163 30.8%	323 4.6%	34 0.5%	199 2.8%	
無回答	76 100.0%	13 17.1%	34 44.7%	16 21.1%	3 3.9%	0 0.0%	10 13.2%	

(12)退院に当たっての患者への説明や退院支援の提供

① 全体傾向

退院にあたっての患者への説明や退院支援の提供については、「少しできている」という回答が 44.9%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」(26.9%)、「よくできている」(17.6%)の順に多い。できているという回答が6割強となっており、比較的高い評価となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よくできている」という回答割合が高いのに対し、看護師では「どちらとも言えない」という回答割合が高くなっている。職制との関係は有意であり、医師の方が看護師より高い評価となっている。(分割表分析係数=0.2698、P値<0.01)



		サンプル数	よくできている	ある程度できている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173	5,127	13,090	7,851	1,729	222	1,154
		100.0%	17.6%	44.9%	26.9%	5.9%	0.8%	4.0%
職性別	医師	6,855	2,394	2,891	1,111	150	27	282
		100.0%	34.9%	42.2%	16.2%	2.2%	0.4%	4.1%
	看護師	21,600	2,648	9,934	6,577	1,545	190	706
	100.0%	12.3%	46.0%	30.4%	7.2%	0.9%	3.3%	
	無回答	718	85	265	163	34	5	166
	100.0%	11.8%	36.9%	22.7%	4.7%	0.7%	23.1%	

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よくできている」という回答割合が高くなるのに対し、年代がさがるほど「ある程度できている」、「どちらともいえない」という回答割合が高くなっており、年代があがるほど評価が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、東北で「よくできている」という回答割合がやや低いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、その他で「どちらともいえない」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	ある程度できている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	2,394 34.9%	2,891 42.2%	1,111 16.2%	150 2.2%	27 0.4%	282 4.1%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	235 23.0%	493 48.3%	229 22.5%	20 2.0%	7 0.7%	36 3.5%
	30歳代	2,720 100.0%	898 33.0%	1,203 44.2%	466 17.1%	56 2.1%	7 0.3%	90 3.3%
	40歳代	1,987 100.0%	784 39.5%	788 39.7%	285 14.3%	49 2.5%	8 0.4%	73 3.7%
	50歳代	678 100.0%	301 44.4%	261 38.5%	55 8.1%	13 1.9%	4 0.6%	44 6.5%
	60歳代以上	118 100.0%	62 52.5%	29 24.6%	11 9.3%	1 0.8%	0 0.0%	15 12.7%
	無回答	332 100.0%	114 34.3%	117 35.2%	65 19.6%	11 3.3%	1 0.3%	24 7.2%
種別	DPC病院	3,808 100.0%	1,340 35.2%	1,568 41.2%	604 15.9%	95 2.5%	19 0.5%	182 4.8%
	試行的適用病院	2,526 100.0%	887 35.1%	1,090 43.2%	413 16.3%	43 1.7%	8 0.3%	85 3.4%
	調査協力病院	521 100.0%	167 32.1%	233 44.7%	94 18.0%	12 2.3%	0 0.0%	15 2.9%
経営形態別	大学病院	3,784 100.0%	1,332 35.2%	1,558 41.2%	601 15.9%	94 2.5%	19 0.5%	180 4.8%
	国立病院	611 100.0%	201 32.9%	274 44.8%	102 16.7%	16 2.6%	2 0.3%	16 2.6%
	社会保険病院	777 100.0%	274 35.3%	321 41.3%	139 17.9%	10 1.3%	3 0.4%	30 3.9%
	公立病院	253 100.0%	89 35.2%	115 45.5%	35 13.8%	4 1.6%	0 0.0%	10 4.0%
	民間病院	1,430 100.0%	498 34.8%	623 43.6%	234 16.4%	26 1.8%	3 0.2%	46 3.2%
地域別	北海道	454 100.0%	173 38.1%	165 36.3%	82 18.1%	9 2.0%	2 0.4%	23 5.1%
	東北	423 100.0%	128 30.3%	177 41.8%	83 19.6%	9 2.1%	1 0.2%	25 5.9%
	関東	972 100.0%	355 36.5%	387 39.8%	156 16.0%	19 2.0%	5 0.5%	50 5.1%
	東京	422 100.0%	140 33.2%	192 45.5%	56 13.3%	11 2.6%	1 0.2%	22 5.2%
	中部	1,234 100.0%	434 35.2%	520 42.1%	202 16.4%	30 2.4%	5 0.4%	43 3.5%
	関西	1,325 100.0%	457 34.5%	574 43.3%	213 16.1%	30 2.3%	5 0.4%	46 3.5%
	中国・四国	771 100.0%	278 36.1%	342 44.4%	108 14.0%	17 2.2%	5 0.6%	21 2.7%
	九州	1,254 100.0%	429 34.2%	534 42.6%	211 16.8%	25 2.0%	3 0.2%	52 4.1%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	1,033 34.7%	1,282 43.0%	470 15.8%	69 2.3%	7 0.2%	118 4.0%
	外科系	3,201 100.0%	1,191 37.2%	1,354 42.3%	467 14.6%	70 2.2%	9 0.3%	110 3.4%
	その他	583 100.0%	135 23.2%	226 38.8%	158 27.1%	10 1.7%	10 1.7%	44 7.5%
	無回答	92 100.0%	35 38.0%	29 31.5%	16 17.4%	1 1.1%	1 1.1%	10 10.9%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よくできている」という回答割合が高くなるのに対し、年代がさがるほど「どちらとも言えない」という回答割合が高くなっており、年代があがるほど評価が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	ある程度できている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	2,648 12.3%	9,934 46.0%	6,577 30.4%	1,545 7.2%	190 0.9%	706 3.3%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	1,216 9.9%	5,585 45.6%	4,117 33.6%	921 7.5%	106 0.9%	292 2.4%
	30歳代	5,228 100.0%	685 13.1%	2,348 44.9%	1,587 30.4%	369 7.1%	61 1.2%	178 3.4%
	40歳代	2,573 100.0%	421 16.4%	1,290 50.1%	560 21.8%	172 6.7%	11 0.4%	119 4.6%
	50歳代	1,076 100.0%	259 24.1%	510 47.4%	176 16.4%	46 4.3%	9 0.8%	76 7.1%
	60歳代以上	22 100.0%	4 18.2%	7 31.8%	4 18.2%	2 9.1%	0 0.0%	5 22.7%
	無回答	462 100.0%	62 13.4%	194 42.0%	132 28.6%	35 7.6%	3 0.6%	36 7.8%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,051 12.4%	3,918 46.1%	2,530 29.8%	680 8.0%	75 0.9%	236 2.8%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,341 12.9%	4,772 45.9%	3,171 30.5%	651 6.3%	82 0.8%	373 3.6%
	調査協力病院	2,720 100.0%	256 9.4%	1,244 45.7%	876 32.2%	214 7.9%	33 1.2%	97 3.6%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,036 12.3%	3,890 46.1%	2,518 29.9%	678 8.0%	74 0.9%	236 2.8%
	国立病院	2,016 100.0%	194 9.6%	894 44.3%	671 33.3%	185 9.2%	16 0.8%	56 2.8%
	社会保険病院	3,182 100.0%	343 10.8%	1,454 45.7%	1,029 32.3%	224 7.0%	24 0.8%	108 3.4%
	公的病院	1,062 100.0%	149 14.0%	546 51.4%	254 23.9%	70 6.6%	9 0.8%	34 3.2%
	民間病院	6,908 100.0%	926 13.4%	3,150 45.6%	2,105 30.5%	388 5.6%	67 1.0%	272 3.9%
地域別	北海道	1,654 100.0%	235 14.2%	763 46.1%	503 30.4%	96 5.8%	13 0.8%	44 2.7%
	東北	1,742 100.0%	248 14.2%	778 44.7%	493 28.3%	101 5.8%	14 0.8%	108 6.2%
	関東	3,385 100.0%	354 10.5%	1,460 43.1%	1,170 34.6%	263 7.8%	31 0.9%	107 3.2%
	東京	1,611 100.0%	202 12.5%	759 47.1%	506 31.4%	83 5.2%	11 0.7%	50 3.1%
	中部	3,529 100.0%	436 12.4%	1,735 49.2%	1,013 28.7%	232 6.6%	17 0.5%	96 2.7%
	関西	3,795 100.0%	477 12.6%	1,761 46.4%	1,131 29.8%	282 7.4%	46 1.2%	98 2.6%
	中国・四国	2,391 100.0%	300 12.5%	1,058 44.2%	741 31.0%	189 7.9%	30 1.3%	73 3.1%
	九州	3,493 100.0%	396 11.3%	1,620 46.4%	1,020 29.2%	299 8.6%	28 0.8%	130 3.7%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	793 10.6%	3,508 47.0%	2,285 30.6%	607 8.1%	37 0.5%	227 3.0%
	外科系	8,978 100.0%	1,168 13.0%	4,200 46.8%	2,683 29.9%	604 6.7%	65 0.7%	258 2.9%
	その他	4,497 100.0%	606 13.5%	1,937 43.1%	1,395 31.0%	291 6.5%	84 1.9%	184 4.1%
	無回答	668 100.0%	81 12.1%	289 43.3%	214 32.0%	43 6.4%	4 0.6%	37 5.5%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「よくできている」という回答割合が高くなっている。DPC の理解度と退院にあたっての患者への説明や退院支援の提供についての評価との関係は有意であり、相関が見られる。(質問 1 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2728、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2708、P 値<0.01)

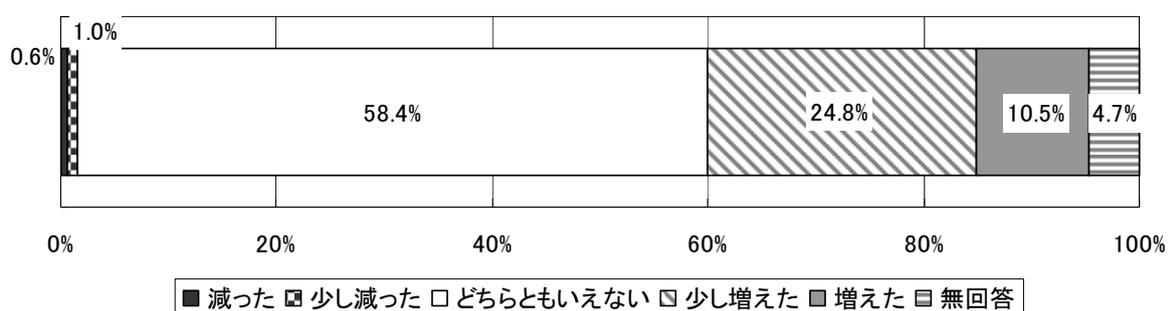
		サンプル数	よくできている	ある程度できている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173 100.0%	5,127 17.6%	13,090 44.9%	7,851 26.9%	1,729 5.9%	222 0.8%	1,154 4.0%
DPCの理解度 の診断群分類 (質問1について)	よく理解している	513 100.0%	289 56.3%	145 28.3%	41 8.0%	11 2.1%	0 0.0%	27 5.3%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,869 30.5%	2,914 47.5%	883 14.4%	208 3.4%	18 0.3%	237 3.9%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	458 14.2%	1,490 46.3%	1,036 32.2%	116 3.6%	10 0.3%	106 3.3%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	1,742 13.8%	5,836 46.3%	3,723 29.5%	825 6.5%	81 0.6%	398 3.2%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	748 11.5%	2,667 41.1%	2,154 33.2%	566 8.7%	111 1.7%	248 3.8%
	無回答	216 100.0%	21 9.7%	38 17.6%	14 6.5%	3 1.4%	2 0.9%	138 63.9%
	DPCの理解度 の包括の範囲 (質問2について)	よく理解している	456 100.0%	260 57.0%	121 26.5%	39 8.6%	5 1.1%	0 0.0%
ある程度理解している	4,622 100.0%	1,555 33.6%	2,106 45.6%	609 13.2%	157 3.4%	12 0.3%	183 4.0%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	491 15.5%	1,502 47.5%	947 30.0%	87 2.8%	12 0.4%	120 3.8%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	1,895 14.6%	6,104 47.1%	3,654 28.2%	800 6.2%	77 0.6%	425 3.3%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	916 11.8%	3,221 41.4%	2,583 33.2%	674 8.7%	117 1.5%	261 3.4%	
無回答	209 100.0%	10 4.8%	36 17.2%	19 9.1%	6 2.9%	4 1.9%	134 64.1%	

(13) 入院期間が遷延する場合に紹介転院を勧める機会の増減

① 全体傾向

入院期間が遷延する場合の紹介転院の増減については、「どちらとも言えない」という回答が 58.4%と最も多い。一方で「少し増えた」(24.8%)、「増えた」(10.5%)という回答も3割以上ある。

医師と看護師を比較すると、医師の方が「増えた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。



		サンプル数	減った	少し減った	どちらとも言えない	少し増えた	増えた	無回答
全体		29,173	161	298	17,051	7,237	3,059	1,367
		100.0%	0.6%	1.0%	58.4%	24.8%	10.5%	4.7%
職性別	医師	6,855	52	68	3,964	1,674	883	214
		100.0%	0.8%	1.0%	57.8%	24.4%	12.9%	3.1%
	看護師	21,600	103	215	12,755	5,424	2,124	979
		100.0%	0.5%	1.0%	59.1%	25.1%	9.8%	4.5%
	無回答	718	6	15	332	139	52	174
		100.0%	0.8%	2.1%	46.2%	19.4%	7.2%	24.2%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別で見ると、年代があがるほど「少し増えた」、「増えた」という回答割合がやや高くなるが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況で見ると、DPC 病院および試行的適用病院で「増えた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別で見ると、国立病院で「少し増えた」、「増えた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別で見ると、中国・四国および九州で「少し増えた」、「増えた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別で見ると、内科系で「少し増えた」、「増えた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	減った	少し減った	どちらともいえない	少し増えた	増えた	無回答
医師全体		6,855 100.0%	52 0.8%	68 1.0%	3,964 57.8%	1,674 24.4%	883 12.9%	214 3.1%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	6 0.6%	8 0.8%	616 60.4%	232 22.7%	126 12.4%	32 3.1%
	30歳代	2,720 100.0%	27 1.0%	30 1.1%	1,630 59.9%	637 23.4%	325 11.9%	71 2.6%
	40歳代	1,987 100.0%	9 0.5%	20 1.0%	1,125 56.6%	525 26.4%	262 13.2%	46 2.3%
	50歳代	678 100.0%	5 0.7%	6 0.9%	348 51.3%	183 27.0%	103 15.2%	33 4.9%
	60歳代以上	118 100.0%	0 0.0%	2 1.7%	47 39.8%	37 31.4%	20 16.9%	12 10.2%
	無回答	332 100.0%	5 1.5%	2 0.6%	198 59.6%	60 18.1%	47 14.2%	20 6.0%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	28 0.7%	42 1.1%	2,135 56.1%	966 25.4%	503 13.2%
試行的適用病院		2,526 100.0%	20 0.8%	21 0.8%	1,480 58.6%	599 23.7%	336 13.3%	70 2.8%
調査協力病院		521 100.0%	4 0.8%	5 1.0%	349 67.0%	109 20.9%	44 8.4%	10 1.9%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	28 0.7%	42 1.1%	2,119 56.0%	963 25.4%	500 13.2%	132 3.5%
	国立病院	611 100.0%	4 0.7%	4 0.7%	288 47.1%	180 29.5%	118 19.3%	17 2.8%
	社会保険病院	777 100.0%	9 1.2%	6 0.8%	496 63.8%	176 22.7%	68 8.8%	22 2.8%
	公的病院	253 100.0%	1 0.4%	4 1.6%	167 66.0%	43 17.0%	30 11.9%	8 3.2%
	民間病院	1,430 100.0%	10 0.7%	12 0.8%	894 62.5%	312 21.8%	167 11.7%	35 2.4%
地域別	北海道	454 100.0%	2 0.4%	4 0.9%	252 55.5%	107 23.6%	71 15.6%	18 4.0%
	東北	423 100.0%	3 0.7%	8 1.9%	223 52.7%	102 24.1%	67 15.8%	20 4.7%
	関東	972 100.0%	8 0.8%	8 0.8%	611 62.9%	217 22.3%	88 9.1%	40 4.1%
	東京	422 100.0%	2 0.5%	6 1.4%	266 63.0%	88 20.9%	46 10.9%	14 3.3%
	中部	1,234 100.0%	8 0.6%	17 1.4%	767 62.2%	301 24.4%	110 8.9%	31 2.5%
	関西	1,325 100.0%	8 0.6%	10 0.8%	805 60.8%	312 23.5%	155 11.7%	35 2.6%
	中国・四国	771 100.0%	8 1.0%	3 0.4%	394 51.1%	215 27.9%	136 17.6%	15 1.9%
	九州	1,254 100.0%	13 1.0%	12 1.0%	646 51.5%	332 26.5%	210 16.7%	41 3.3%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	19 0.6%	33 1.1%	1,606 53.9%	775 26.0%	463 15.5%	83 2.8%
	外科系	3,201 100.0%	29 0.9%	33 1.0%	1,902 59.4%	792 24.7%	360 11.2%	85 2.7%
	その他	583 100.0%	3 0.5%	2 0.3%	407 69.8%	88 15.1%	42 7.2%	41 7.0%
	無回答	92 100.0%	1 1.1%	0 0.0%	49 53.3%	19 20.7%	18 19.6%	5 5.4%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「少し増えた」、「増えた」という回答割合が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院で「少し増えた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、北海道で「増えた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、内科系で「少し増えた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	減った	少し減った	どちらともいえない	少し増えた	増えた	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	103 0.5%	215 1.0%	12,755 59.1%	5,424 25.1%	2,124 9.8%	979 4.5%
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	46 0.4%	125 1.0%	7,639 62.4%	2,977 24.3%	1,010 8.3%	440 3.6%
	30歳代	5,228 100.0%	33 0.6%	47 0.9%	3,111 59.5%	1,263 24.2%	549 10.5%	225 4.3%
	40歳代	2,573 100.0%	13 0.5%	24 0.9%	1,279 49.7%	744 28.9%	361 14.0%	152 5.9%
	50歳代	1,076 100.0%	8 0.7%	12 1.1%	465 43.2%	328 30.5%	154 14.3%	109 10.1%
	60歳代以上	22 100.0%	1 4.5%	0 0.0%	7 31.8%	8 36.4%	1 4.5%	5 22.7%
	無回答	462 100.0%	2 0.4%	7 1.5%	252 54.5%	104 22.5%	49 10.6%	48 10.4%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	40 0.5%	74 0.9%	5,324 62.7%	2,030 23.9%	679 8.0%	343 4.0%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	56 0.5%	105 1.0%	5,819 56.0%	2,724 26.2%	1,195 11.5%	491 4.7%
	調査協力病院	2,720 100.0%	7 0.3%	36 1.3%	1,612 59.3%	670 24.6%	250 9.2%	145 5.3%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	40 0.5%	74 0.9%	5,280 62.6%	2,020 24.0%	675 8.0%	343 4.1%
	国立病院	2,016 100.0%	6 0.3%	15 0.7%	1,050 52.1%	618 30.7%	239 11.9%	88 4.4%
	社会保険病院	3,182 100.0%	16 0.5%	28 0.9%	1,764 55.4%	905 28.4%	329 10.3%	140 4.4%
	公的病院	1,062 100.0%	2 0.2%	16 1.5%	616 58.0%	276 26.0%	104 9.8%	48 4.5%
	民間病院	6,908 100.0%	39 0.6%	82 1.2%	4,045 58.6%	1,605 23.2%	777 11.2%	360 5.2%
地域別	北海道	1,654 100.0%	6 0.4%	15 0.9%	995 60.2%	361 21.8%	213 12.9%	64 3.9%
	東北	1,742 100.0%	10 0.6%	11 0.6%	1,022 58.7%	422 24.2%	131 7.5%	146 8.4%
	関東	3,385 100.0%	16 0.5%	39 1.2%	2,159 63.8%	733 21.7%	282 8.3%	156 4.6%
	東京	1,611 100.0%	7 0.4%	22 1.4%	1,050 65.2%	344 21.4%	129 8.0%	59 3.7%
	中部	3,529 100.0%	16 0.5%	24 0.7%	2,105 59.6%	951 26.9%	287 8.1%	146 4.1%
	関西	3,795 100.0%	24 0.6%	46 1.2%	2,272 59.9%	982 25.9%	331 8.7%	140 3.7%
	中国・四国	2,391 100.0%	4 0.2%	21 0.9%	1,234 51.6%	687 28.7%	346 14.5%	99 4.1%
	九州	3,493 100.0%	20 0.6%	37 1.1%	1,918 54.9%	944 27.0%	405 11.6%	169 4.8%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	30 0.4%	64 0.9%	4,041 54.2%	2,214 29.7%	825 11.1%	283 3.8%
	外科系	8,978 100.0%	40 0.4%	97 1.1%	5,251 58.5%	2,266 25.2%	959 10.7%	365 4.1%
	その他	4,497 100.0%	27 0.6%	38 0.8%	3,050 67.8%	802 17.8%	293 6.5%	287 6.4%
	無回答	668 100.0%	6 0.9%	16 2.4%	413 61.8%	142 21.3%	47 7.0%	44 6.6%

④ DPCの理解度との関連

DPCの理解度との関連性をみると、DPCの診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「増えた」という回答割合がやや高くなっているが、DPCの理解度と紹介転院に対する認識との間には相関は見られない。

		サンプル数	減った	少し減った	どちらともいえない	少し増えた	増えた	無回答
全体		29,173 100.0%	161 0.6%	298 1.0%	17,051 58.4%	7,237 24.8%	3,059 10.5%	1,367 4.7%
DPCの理解度(診断群分類について)	よく理解している	513 100.0%	15 2.9%	13 2.5%	224 43.7%	145 28.3%	94 18.3%	22 4.3%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	47 0.8%	107 1.7%	3,227 52.7%	1,708 27.9%	832 13.6%	208 3.4%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	21 0.7%	31 1.0%	2,014 62.6%	722 22.5%	296 9.2%	132 4.1%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	60 0.5%	118 0.9%	7,456 59.2%	3,228 25.6%	1,217 9.7%	526 4.2%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	18 0.3%	27 0.4%	4,078 62.8%	1,416 21.8%	611 9.4%	344 5.3%
	無回答	216 100.0%	0 0.0%	2 0.9%	52 24.1%	18 8.3%	9 4.2%	135 62.5%
	DPCの理解度(包括の範囲について)	よく理解している	456 100.0%	15 3.3%	7 1.5%	217 47.6%	124 27.2%	71 15.6%
ある程度理解している	4,622 100.0%	37 0.8%	87 1.9%	2,354 50.9%	1,312 28.4%	663 14.3%	169 3.7%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	21 0.7%	51 1.6%	1,921 60.8%	737 23.3%	303 9.6%	126 4.0%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	62 0.5%	110 0.8%	7,644 59.0%	3,329 25.7%	1,273 9.8%	537 4.1%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	25 0.3%	42 0.5%	4,876 62.7%	1,720 22.1%	734 9.4%	375 4.8%	
無回答	209 100.0%	1 0.5%	1 0.5%	39 18.7%	15 7.2%	15 7.2%	138 66.0%	

⑤ クリティカルパスの利用状況との関連

クリティカルパスの利用状況との関連性をみると、利用の状況と紹介転院に対する認識との間には相関は見られない。

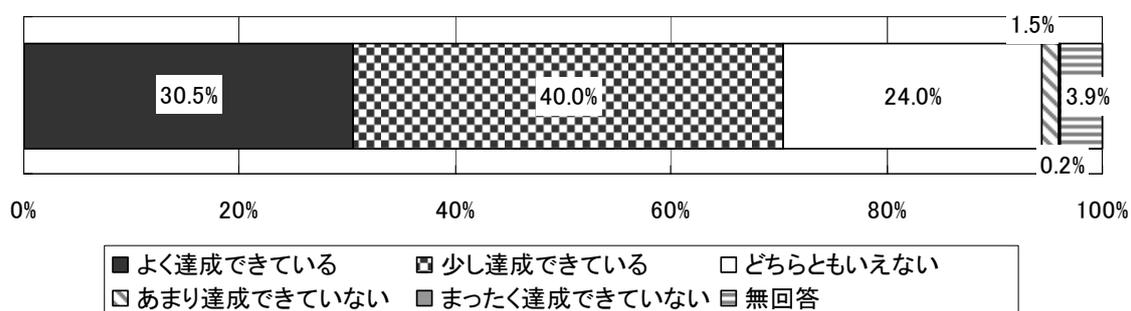
		サンプル数	減った	少し減った	どちらともいえない	少し増えた	増えた	無回答
全体		29,173 100.0%	161 0.6%	298 1.0%	17,051 58.4%	7,237 24.8%	3,059 10.5%	1,367 4.7%
クリティカルパスの利用状況(質問6)	よく利用されている	6,503 100.0%	61 0.9%	98 1.5%	3,687 56.7%	1,714 26.4%	844 13.0%	99 1.5%
	少し利用されている	9,020 100.0%	40 0.4%	123 1.4%	5,099 56.5%	2,660 29.5%	946 10.5%	152 1.7%
	どちらともいえない	6,674 100.0%	21 0.3%	30 0.4%	4,535 68.0%	1,401 21.0%	560 8.4%	127 1.9%
	あまり利用されていない	3,539 100.0%	24 0.7%	30 0.8%	2,035 57.5%	964 27.2%	404 11.4%	82 2.3%
	まったく利用されていない	2,374 100.0%	15 0.6%	14 0.6%	1,531 64.5%	451 19.0%	288 12.1%	75 3.2%
	無回答	1,063 100.0%	0 0.0%	3 0.3%	164 15.4%	47 4.4%	17 1.6%	832 78.3%

(14)退院に当たっての入院目的の達成状況

① 全体傾向

入院目的の達成については、「少し達成できている」という回答が40.0%と最も多く、次いで「よく達成できている」(30.5%)、「どちらとも言えない」(24.0%)の順に多い。7割以上の職員が達成できていると回答しており、高い評価となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よく達成できている」という回答が5割以上で、非常に高い評価となっており、職制との関係は有意である。(分割表分析係数=0.2731、P値<0.01)



		サンプル数	よく達成できている	少し達成できている	どちらとも言えない	あまり達成できていない	まったく達成できていない	無回答
全体		29,173	8,893	11,655	6,988	447	55	1,135
		100.0%	30.5%	40.0%	24.0%	1.5%	0.2%	3.9%
職性別	医師	6,855	3,620	2,200	759	69	9	198
		100.0%	52.8%	32.1%	11.1%	1.0%	0.1%	2.9%
	看護師	21,600	5,130	9,209	6,090	360	45	766
		100.0%	23.8%	42.6%	28.2%	1.7%	0.2%	3.5%
	無回答	718	143	246	139	18	1	171
		100.0%	19.9%	34.3%	19.4%	2.5%	0.1%	23.8%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よく達成できている」という回答割合が高いのに対し、「少し達成できている」という回答割合が高くなり、年代があがるにしたがって入院目的の達成に対する評価が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、公的病院で「よく達成できている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系の方が内科系やその他に比べ「よく達成できている」という回答割合が高い。外科系では入院目的の達成に対する評価が高く、診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よく達成できている	少し達成できている	どちらともいえない	あまり達成できていない	まったく達成できていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	3,620 52.8%	2,200 32.1%	759 11.1%	69 1.0%	9 0.1%	198 2.9%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	405 39.7%	426 41.8%	155 15.2%	6 0.6%	0 0.0%	28 2.7%
	30歳代	2,720 100.0%	1,379 50.7%	929 34.2%	307 11.3%	34 1.3%	4 0.1%	67 2.5%
	40歳代	1,987 100.0%	1,203 60.5%	541 27.2%	179 9.0%	17 0.9%	2 0.1%	45 2.3%
	50歳代	678 100.0%	408 60.2%	172 25.4%	61 9.0%	8 1.2%	2 0.3%	27 4.0%
	60歳代以上	118 100.0%	67 56.8%	28 23.7%	8 6.8%	2 1.7%	1 0.8%	12 10.2%
	無回答	332 100.0%	158 47.6%	104 31.3%	49 14.8%	2 0.6%	0 0.0%	19 5.7%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	1,937 50.9%	1,228 32.2%	456 12.0%	50 1.3%	7 0.2%
試行的適用病院		2,526 100.0%	1,396 55.3%	811 32.1%	242 9.6%	17 0.7%	2 0.1%	58 2.3%
調査協力病院		521 100.0%	287 55.1%	161 30.9%	61 11.7%	2 0.4%	0 0.0%	10 1.9%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	1,919 50.7%	1,225 32.4%	455 12.0%	49 1.3%	7 0.2%	129 3.4%
	国立病院	611 100.0%	345 56.5%	199 32.6%	51 8.3%	2 0.3%	0 0.0%	14 2.3%
	社会保険病院	777 100.0%	437 56.2%	233 30.0%	83 10.7%	4 0.5%	1 0.1%	19 2.4%
	公的病院	253 100.0%	153 60.5%	70 27.7%	20 7.9%	2 0.8%	0 0.0%	8 3.2%
	民間病院	1,430 100.0%	766 53.6%	473 33.1%	150 10.5%	12 0.8%	1 0.1%	28 2.0%
地域別	北海道	454 100.0%	242 53.3%	145 31.9%	48 10.6%	1 0.2%	0 0.0%	18 4.0%
	東北	423 100.0%	209 49.4%	140 33.1%	49 11.6%	4 0.9%	3 0.7%	18 4.3%
	関東	972 100.0%	524 53.9%	287 29.5%	114 11.7%	7 0.7%	2 0.2%	38 3.9%
	東京	422 100.0%	221 52.4%	129 30.6%	51 12.1%	9 2.1%	0 0.0%	12 2.8%
	中部	1,234 100.0%	651 52.8%	393 31.8%	149 12.1%	12 1.0%	3 0.2%	26 2.1%
	関西	1,325 100.0%	682 51.5%	451 34.0%	148 11.2%	12 0.9%	1 0.1%	31 2.3%
	中国・四国	771 100.0%	417 54.1%	257 33.3%	69 8.9%	13 1.7%	0 0.0%	15 1.9%
	九州	1,254 100.0%	674 53.7%	398 31.7%	131 10.4%	11 0.9%	0 0.0%	40 3.2%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	1,424 47.8%	1,089 36.6%	339 11.4%	41 1.4%	6 0.2%	80 2.7%
	外科系	3,201 100.0%	1,953 61.0%	880 27.5%	269 8.4%	23 0.7%	1 0.0%	75 2.3%
	その他	583 100.0%	197 33.8%	201 34.5%	141 24.2%	4 0.7%	2 0.3%	38 6.5%
	無回答	92 100.0%	46 50.0%	30 32.6%	10 10.9%	1 1.1%	0 0.0%	5 5.4%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よく達成できている」という回答割合が高くなるのに対し、年代がさがるほど「どちらとも言えない」という回答割合が高くなり、年代があがるにしたがって入院目的の達成に対する評価が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、調査協力病院で「よく達成できている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院で「よく達成できている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、東京や関東で「よく達成できている」という回答割合がやや低い、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系で「よく達成できている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく達成できている	少し達成できている	どちらともいえない	あまり達成できていない	まったく達成できていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	5,130 23.8%	9,209 42.6%	6,090 28.2%	360 1.7%	45 0.2%	766 3.5%
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	2,555 20.9%	5,311 43.4%	3,823 31.2%	203 1.7%	28 0.2%	317 2.6%
	30歳代	5,228 100.0%	1,331 25.5%	2,152 41.2%	1,456 27.9%	91 1.7%	11 0.2%	187 3.6%
	40歳代	2,573 100.0%	779 30.3%	1,122 43.6%	501 19.5%	40 1.6%	4 0.2%	127 4.9%
	50歳代	1,076 100.0%	358 33.3%	437 40.6%	175 16.3%	15 1.4%	2 0.2%	89 8.3%
	60歳代以上	22 100.0%	6 27.3%	9 40.9%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 18.2%
	無回答	462 100.0%	101 21.9%	176 38.1%	132 28.6%	11 2.4%	0 0.0%	42 9.1%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	2,079 24.5%	3,623 42.7%	2,376 28.0%	137 1.6%	19 0.2%	256 3.0%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	2,492 24.0%	4,433 42.7%	2,875 27.7%	170 1.6%	20 0.2%	400 3.8%
	調査協力病院	2,720 100.0%	559 20.6%	1,153 42.4%	839 30.8%	53 1.9%	6 0.2%	110 4.0%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	2,046 24.3%	3,605 42.8%	2,370 28.1%	136 1.6%	19 0.2%	256 3.0%
	国立病院	2,016 100.0%	577 28.6%	915 45.4%	424 21.0%	28 1.4%	4 0.2%	68 3.4%
	社会保険病院	3,182 100.0%	709 22.3%	1,411 44.3%	881 27.7%	53 1.7%	6 0.2%	122 3.8%
	公的病院	1,062 100.0%	289 27.2%	451 42.5%	268 25.2%	17 1.6%	0 0.0%	37 3.5%
	民間病院	6,908 100.0%	1,509 21.8%	2,827 40.9%	2,147 31.1%	126 1.8%	16 0.2%	283 4.1%
地域別	北海道	1,654 100.0%	410 24.8%	714 43.2%	456 27.6%	24 1.5%	6 0.4%	44 2.7%
	東北	1,742 100.0%	408 23.4%	723 41.5%	462 26.5%	28 1.6%	6 0.3%	115 6.6%
	関東	3,385 100.0%	692 20.4%	1,412 41.7%	1,080 31.9%	68 2.0%	8 0.2%	125 3.7%
	東京	1,611 100.0%	310 19.2%	672 41.7%	534 33.1%	36 2.2%	6 0.4%	53 3.3%
	中部	3,529 100.0%	807 22.9%	1,584 44.9%	973 27.6%	55 1.6%	5 0.1%	105 3.0%
	関西	3,795 100.0%	911 24.0%	1,643 43.3%	1,073 28.3%	50 1.3%	5 0.1%	113 3.0%
	中国・四国	2,391 100.0%	668 27.9%	998 41.7%	612 25.6%	40 1.7%	2 0.1%	71 3.0%
	九州	3,493 100.0%	924 26.5%	1,463 41.9%	900 25.8%	59 1.7%	7 0.2%	140 4.0%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,528 20.5%	3,406 45.7%	2,142 28.7%	130 1.7%	12 0.2%	239 3.2%
	外科系	8,978 100.0%	2,323 25.9%	3,798 42.3%	2,412 26.9%	144 1.6%	22 0.2%	279 3.1%
	その他	4,497 100.0%	1,138 25.3%	1,729 38.4%	1,339 29.8%	74 1.6%	11 0.2%	206 4.6%
	無回答	668 100.0%	141 21.1%	276 41.3%	197 29.5%	12 1.8%	0 0.0%	42 6.3%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「よく達成できている」という回答割合が高い。DPC の理解度と入院目的の達成度に対する評価との関係は有意であり、相関が見られる。(質問 1 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2246、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2261、P 値<0.01)

		サンプル数	よく達成できている	少し達成できている	どちらともいえない	あまり達成できていない	まったく達成できていない	無回答
全体		29,173 100.0%	8,893 30.5%	11,655 40.0%	6,988 24.0%	447 1.5%	55 0.2%	1,135 3.9%
DPCの理解度(診断群分類について)	よく理解している	513 100.0%	338 65.9%	110 21.4%	37 7.2%	7 1.4%	0 0.0%	21 4.1%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	2,778 45.3%	2,313 37.7%	774 12.6%	65 1.1%	7 0.1%	192 3.1%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	794 24.7%	1,300 40.4%	975 30.3%	37 1.2%	2 0.1%	108 3.4%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	3,287 26.1%	5,404 42.9%	3,269 25.9%	210 1.7%	19 0.2%	416 3.3%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	1,666 25.7%	2,496 38.4%	1,915 29.5%	126 1.9%	27 0.4%	264 4.1%
	無回答	216 100.0%	30 13.9%	32 14.8%	18 8.3%	2 0.9%	0 0.0%	134 62.0%
	DPCの理解度の包括(質問2について)	よく理解している	456 100.0%	317 69.5%	77 16.9%	34 7.5%	5 1.1%	0 0.0%
ある程度理解している	4,622 100.0%	2,256 48.8%	1,633 35.3%	528 11.4%	49 1.1%	6 0.1%	150 3.2%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	849 26.9%	1,295 41.0%	866 27.4%	34 1.1%	4 0.1%	111 3.5%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	3,446 26.6%	5,597 43.2%	3,257 25.1%	207 1.6%	15 0.1%	433 3.3%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	2,002 25.8%	3,023 38.9%	2,284 29.4%	152 2.0%	29 0.4%	282 3.6%	
無回答	209 100.0%	23 11.0%	30 14.4%	19 9.1%	0 0.0%	1 0.5%	136 65.1%	

⑤ クリティカルパスの利用状況との関連

クリティカルパスの利用状況との関連性をみると、クリティカルパスをよく利用している職員の場合は「よく達成できている」という回答割合が高く、入院目的の達成度に対する評価が高い。クリティカルパスの利用状況と入院目的の達成度の間には弱い相関が見られる。

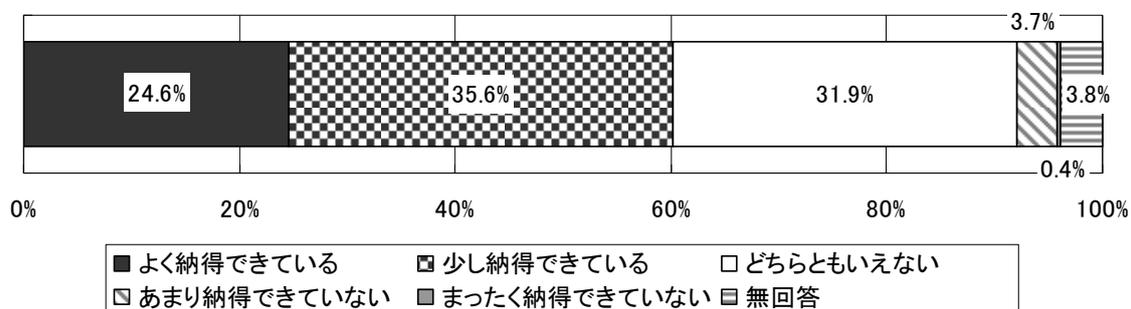
		サンプル数	よく達成できている	少し達成できている	どちらともいえない	あまり達成できていない	まったく達成できていない	無回答
全体		29,173 100.0%	8,893 30.5%	11,655 40.0%	6,988 24.0%	447 1.5%	55 0.2%	1,135 3.9%
クリティカルパスの利用状況(質問6)	よく利用されている	6,503 100.0%	2,799 43.0%	2,521 38.8%	1,064 16.4%	56 0.9%	10 0.2%	53 0.8%
	少し利用されている	9,020 100.0%	2,567 28.5%	4,180 46.3%	2,050 22.7%	119 1.3%	10 0.1%	94 1.0%
	どちらともいえない	6,674 100.0%	1,691 25.3%	2,580 38.7%	2,209 33.1%	83 1.2%	12 0.2%	99 1.5%
	あまり利用されていない	3,539 100.0%	916 25.9%	1,463 41.3%	967 27.3%	128 3.6%	7 0.2%	58 1.6%
	まったく利用されていない	2,374 100.0%	831 35.0%	803 33.8%	616 25.9%	57 2.4%	15 0.6%	52 2.2%
	無回答	1,063 100.0%	89 8.4%	108 10.2%	82 7.7%	4 0.4%	1 0.1%	779 73.3%

(15)医療従事者としての退院に対する納得度

① 全体傾向

患者の退院については、「少し納得できている」という回答が 35.6%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」(31.9%)、「よく納得できている」(24.6%)の順に多い。約6割の職員は納得できている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よく納得できている」という回答割合が非常に高い。職制との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2770、P値<0.01)



		サンプル数	よく納得できている	少し納得できている	どちらとも言えない	あまり納得できていない	まったく納得できていない	無回答
全体		29,173	7,178	10,380	9,316	1,071	110	1,118
		100.0%	24.6%	35.6%	31.9%	3.7%	0.4%	3.8%
職性別	医師	6,855	3,113	2,178	1,122	220	36	186
		100.0%	45.4%	31.8%	16.4%	3.2%	0.5%	2.7%
	看護師	21,600	3,939	7,990	8,005	827	70	769
	100.0%	18.2%	37.0%	37.1%	3.8%	0.3%	3.6%	
	無回答	718	126	212	189	24	4	163
	100.0%	17.5%	29.5%	26.3%	3.3%	0.6%	22.7%	

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代で「少し納得できている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、東北で「よく納得できている」という回答割合がやや低いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系の方が内科系やその他と比べて「よく納得できている」という回答割合が高く、外科系の方が医療従事者としての退院に対する納得度がより高くなっており、診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よく納得でき ている	少し納得でき ている	どちらともい えない	あまり納得で きていない	まったく納得 できていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	3,113 45.4%	2,178 31.8%	1,122 16.4%	220 3.2%	36 0.5%	186 2.7%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	384 37.6%	376 36.9%	206 20.2%	25 2.5%	2 0.2%	27 2.6%
	30歳代	2,720 100.0%	1,227 45.1%	864 31.8%	457 16.8%	86 3.2%	11 0.4%	75 2.8%
	40歳代	1,987 100.0%	971 48.9%	610 30.7%	288 14.5%	66 3.3%	14 0.7%	38 1.9%
	50歳代	678 100.0%	334 49.3%	197 29.1%	96 14.2%	28 4.1%	3 0.4%	20 2.9%
	60歳代以上	118 100.0%	56 47.5%	34 28.8%	11 9.3%	4 3.4%	1 0.8%	12 10.2%
	無回答	332 100.0%	141 42.5%	97 29.2%	64 19.3%	11 3.3%	5 1.5%	14 4.2%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	1,656 43.5%	1,197 31.4%	681 17.9%	145 3.8%	20 0.5%
試行的適用病院		2,526 100.0%	1,205 47.7%	805 31.9%	368 14.6%	69 2.7%	14 0.6%	65 2.6%
調査協力病院		521 100.0%	252 48.4%	176 33.8%	73 14.0%	6 1.2%	2 0.4%	12 2.3%
設置 主体別	大学病院	3,784 100.0%	1,643 43.4%	1,192 31.5%	677 17.9%	144 3.8%	20 0.5%	108 2.9%
	国立病院	611 100.0%	269 44.0%	207 33.9%	85 13.9%	22 3.6%	6 1.0%	22 3.6%
	社会保険病院	777 100.0%	394 50.7%	238 30.6%	109 14.0%	16 2.1%	1 0.1%	19 2.4%
	公的病院	253 100.0%	123 48.6%	79 31.2%	40 15.8%	4 1.6%	0 0.0%	7 2.8%
	民間病院	1,430 100.0%	684 47.8%	462 32.3%	211 14.8%	34 2.4%	9 0.6%	30 2.1%
地域別	北海道	454 100.0%	212 46.7%	130 28.6%	78 17.2%	16 3.5%	3 0.7%	15 3.3%
	東北	423 100.0%	165 39.0%	144 34.0%	78 18.4%	16 3.8%	7 1.7%	13 3.1%
	関東	972 100.0%	470 48.4%	307 31.6%	138 14.2%	24 2.5%	6 0.6%	27 2.8%
	東京	422 100.0%	205 48.6%	128 30.3%	57 13.5%	20 4.7%	3 0.7%	9 2.1%
	中部	1,234 100.0%	560 45.4%	396 32.1%	209 16.9%	34 2.8%	5 0.4%	30 2.4%
	関西	1,325 100.0%	620 46.8%	406 30.6%	226 17.1%	36 2.7%	4 0.3%	33 2.5%
	中国・四国	771 100.0%	345 44.7%	242 31.4%	128 16.6%	32 4.2%	2 0.3%	22 2.9%
	九州	1,254 100.0%	536 42.7%	425 33.9%	208 16.6%	42 3.3%	6 0.5%	37 3.0%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	1,204 40.4%	1,053 35.3%	509 17.1%	126 4.2%	17 0.6%	70 2.3%
	外科系	3,201 100.0%	1,674 52.3%	924 28.9%	440 13.7%	76 2.4%	15 0.5%	72 2.2%
	その他	583 100.0%	192 32.9%	175 30.0%	157 26.9%	17 2.9%	4 0.7%	38 6.5%
	無回答	92 100.0%	43 46.7%	26 28.3%	16 17.4%	1 1.1%	0 0.0%	6 6.5%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よく納得できている」という回答割合がやや高くなるのに対し、年代がさがるほど「どちらともいえない」という回答割合がやや低くなっている。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系の方が「よく納得できている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく納得でき ている	少し納得でき ている	どちらともい えない	あまり納得で きていない	まったく納得 できていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	3,939 18.2%	7,990 37.0%	8,005 37.1%	827 3.8%	70 0.3%	769 3.6%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	2,050 16.8%	4,539 37.1%	4,829 39.5%	427 3.5%	37 0.3%	355 2.9%
	30歳代	5,228 100.0%	1,003 19.2%	1,899 36.3%	1,933 37.0%	208 4.0%	15 0.3%	170 3.3%
	40歳代	2,573 100.0%	568 22.1%	978 38.0%	766 29.8%	119 4.6%	11 0.4%	131 5.1%
	50歳代	1,076 100.0%	230 21.4%	405 37.6%	304 28.3%	55 5.1%	3 0.3%	79 7.3%
	60歳代以上	22 100.0%	7 31.8%	9 40.9%	4 18.2%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%
	無回答	462 100.0%	80 17.3%	159 34.4%	169 36.6%	18 3.9%	3 0.6%	33 7.1%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,502 17.7%	3,121 36.8%	3,258 38.4%	328 3.9%	27 0.3%	254 3.0%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,990 19.2%	3,873 37.3%	3,705 35.7%	386 3.7%	35 0.3%	401 3.9%
	調査協力病院	2,720 100.0%	447 16.4%	996 36.6%	1,042 38.3%	113 4.2%	8 0.3%	114 4.2%
設置 主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,487 17.6%	3,097 36.7%	3,244 38.5%	325 3.9%	27 0.3%	252 3.0%
	国立病院	2,016 100.0%	372 18.5%	811 40.2%	678 33.6%	82 4.1%	8 0.4%	65 3.2%
	社会保険病院	3,182 100.0%	597 18.8%	1,190 37.4%	1,172 36.8%	113 3.6%	10 0.3%	100 3.1%
	公的病院	1,062 100.0%	215 20.2%	409 38.5%	340 32.0%	51 4.8%	1 0.1%	46 4.3%
	民間病院	6,908 100.0%	1,268 18.4%	2,483 35.9%	2,571 37.2%	256 3.7%	24 0.3%	306 4.4%
地域別	北海道	1,654 100.0%	289 17.5%	588 35.6%	634 38.3%	84 5.1%	5 0.3%	54 3.3%
	東北	1,742 100.0%	304 17.5%	660 37.9%	600 34.4%	57 3.3%	10 0.6%	111 6.4%
	関東	3,385 100.0%	583 17.2%	1,235 36.5%	1,314 38.8%	119 3.5%	7 0.2%	127 3.8%
	東京	1,611 100.0%	282 17.5%	612 38.0%	603 37.4%	66 4.1%	6 0.4%	42 2.6%
	中部	3,529 100.0%	693 19.6%	1,320 37.4%	1,268 35.9%	133 3.8%	10 0.3%	105 3.0%
	関西	3,795 100.0%	723 19.1%	1,368 36.0%	1,437 37.9%	144 3.8%	12 0.3%	111 2.9%
	中国・四国	2,391 100.0%	433 18.1%	925 38.7%	859 35.9%	88 3.7%	8 0.3%	78 3.3%
	九州	3,493 100.0%	632 18.1%	1,282 36.7%	1,290 36.9%	136 3.9%	12 0.3%	141 4.0%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,136 15.2%	2,810 37.7%	2,948 39.5%	316 4.2%	16 0.2%	231 3.1%
	外科系	8,978 100.0%	1,704 19.0%	3,381 37.7%	3,232 36.0%	338 3.8%	33 0.4%	290 3.2%
	その他	4,497 100.0%	975 21.7%	1,556 34.6%	1,591 35.4%	141 3.1%	19 0.4%	215 4.8%
	無回答	668 100.0%	124 18.6%	243 36.4%	234 35.0%	32 4.8%	2 0.3%	33 4.9%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「よく納得できている」という回答割合が高い。DPC の理解度と退院に対する納得度との関係は有意であり、相関が見られる。(質問 1 とのクロス分析: 分割表分析係数=0.2130、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析: 分割表分析係数=0.2149、P 値<0.01)

		サンプル数	よく納得できている	少し納得できている	どちらともいえない	あまり納得できていない	まったく納得できていない	無回答
全体		29,173 100.0%	7,178 24.6%	10,380 35.6%	9,316 31.9%	1,071 3.7%	110 0.4%	1,118 3.8%
DPCの理解度(診断群分類(質問1)について)	よく理解している	513 100.0%	300 58.5%	108 21.1%	67 13.1%	19 3.7%	3 0.6%	16 3.1%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	2,285 37.3%	2,219 36.2%	1,227 20.0%	213 3.5%	20 0.3%	165 2.7%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	647 20.1%	1,151 35.8%	1,210 37.6%	102 3.2%	9 0.3%	97 3.0%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	2,659 21.1%	4,698 37.3%	4,305 34.2%	469 3.7%	33 0.3%	441 3.5%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	1,266 19.5%	2,168 33.4%	2,489 38.3%	264 4.1%	45 0.7%	262 4.0%
	無回答	216 100.0%	21 9.7%	36 16.7%	18 8.3%	4 1.9%	0 0.0%	137 63.4%
DPCの理解度の包括(質問2)について	よく理解している	456 100.0%	275 60.3%	88 19.3%	54 11.8%	20 4.4%	2 0.4%	17 3.7%
	ある程度理解している	4,622 100.0%	1,865 40.4%	1,607 34.8%	850 18.4%	161 3.5%	17 0.4%	122 2.6%
	どちらともいえない	3,159 100.0%	685 21.7%	1,120 35.5%	1,136 36.0%	99 3.1%	15 0.5%	104 3.3%
	あまり理解していない	12,955 100.0%	2,797 21.6%	4,922 38.0%	4,294 33.1%	471 3.6%	25 0.2%	446 3.4%
	まったく理解していない	7,772 100.0%	1,544 19.9%	2,619 33.7%	2,953 38.0%	318 4.1%	51 0.7%	287 3.7%
	無回答	209 100.0%	12 5.7%	24 11.5%	29 13.9%	2 1.0%	0 0.0%	142 67.9%

⑤ クリティカルパスの利用状況との関連

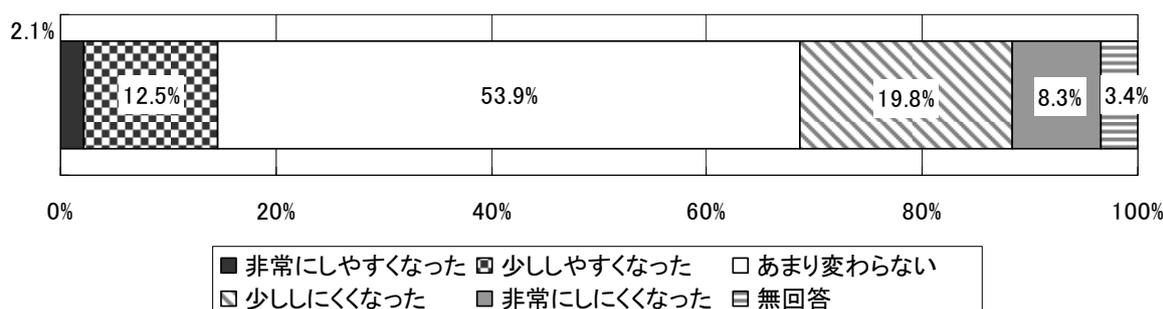
クリティカルパスの利用状況との関連性をみると、クリティカルパスの利用状況と退院に対する納得度との関係には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よく納得できている	少し納得できている	どちらともいえない	あまり納得できていない	まったく納得できていない	無回答
全体		29,173 100.0%	7,178 24.6%	10,380 35.6%	9,316 31.9%	1,071 3.7%	110 0.4%	1,118 3.8%
クリティカルパスの利用状況(質問6)	よく利用されている	6,503 100.0%	2,208 34.0%	2,331 35.8%	1,636 25.2%	156 2.4%	14 0.2%	158 2.4%
	少し利用されている	9,020 100.0%	2,027 22.5%	3,577 39.7%	2,836 31.4%	301 3.3%	27 0.3%	252 2.8%
	どちらともいえない	6,674 100.0%	1,344 20.1%	2,295 34.4%	2,592 38.8%	231 3.5%	25 0.4%	187 2.8%
	あまり利用されていない	3,539 100.0%	736 20.8%	1,259 35.6%	1,217 34.4%	201 5.7%	15 0.4%	111 3.1%
	まったく利用されていない	2,374 100.0%	682 28.7%	687 28.9%	777 32.7%	127 5.3%	18 0.8%	83 3.5%
	無回答	1,063 100.0%	181 17.0%	231 21.7%	258 24.3%	55 5.2%	11 1.0%	327 30.8%

(16)裁量幅が増えるなど診療のやり易さの変化 (DPC 病院・試行的適用病院の医師のみ回答)

① 全体傾向

DPC 導入に伴う診療のやりやすさの変化については、「どちらともいえない」という回答が 53.9%で最も高く、次いで「少ししにくくなった」(19.8%)、「少ししやすくなった」(12.5%) の順に多い。やりやすくなったと感じている医師は 1 割強に過ぎないのに対し、3 割近くの医師がやりにくくなったと感じている。



ア. 年代別

年代別でみると、40 歳代や 50 歳代で「しやすくなった」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、試行的適用病院で「少ししやすくなった」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、東北で「少ししやすくなった」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	非常にしやす くなった	少ししやす くなった	あまり変わら ない	少ししにく くなった	非常にしにく くなった	無回答
医師全体		6,334 100.0%	134 2.1%	793 12.5%	3,416 53.9%	1,252 19.8%	525 8.3%	214 3.4%
年代別	20歳代	953 100.0%	19 2.0%	92 9.7%	541 56.8%	159 16.7%	67 7.0%	75 7.9%
	30歳代	2,562 100.0%	49 1.9%	296 11.6%	1,402 54.7%	524 20.5%	214 8.4%	77 3.0%
	40歳代	1,810 100.0%	41 2.3%	257 14.2%	929 51.3%	387 21.4%	168 9.3%	28 1.5%
	50歳代	596 100.0%	17 2.9%	96 16.1%	312 52.3%	112 18.8%	43 7.2%	16 2.7%
	60歳代以上	101 100.0%	3 3.0%	10 9.9%	59 58.4%	20 19.8%	4 4.0%	5 5.0%
	無回答	312 100.0%	5 1.6%	42 13.5%	173 55.4%	50 16.0%	29 9.3%	13 4.2%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	58 1.5%	396 10.4%	2,051 53.9%	796 20.9%	377 9.9%
試行的適用病院		2,526 100.0%	76 3.0%	397 15.7%	1,365 54.0%	456 18.1%	148 5.9%	84 3.3%
設置 主体別	大学病院	3,784 100.0%	58 1.5%	395 10.4%	2,034 53.8%	792 20.9%	375 9.9%	130 3.4%
	国立病院	1,730 100.0%	13 0.8%	93 5.4%	333 19.2%	73 4.2%	37 2.1%	28 1.6%
	社会保険病院	776 100.0%	28 3.6%	126 16.2%	396 51.0%	162 20.9%	43 5.5%	21 2.7%
	公的病院	26 100.0%	1 3.8%	1 3.8%	13 50.0%	5 19.2%	6 23.1%	0 0.0%
	民間病院	1,171 100.0%	34 2.9%	178 15.2%	640 54.7%	220 18.8%	64 5.5%	35 3.0%
	地域別	北海道	425 100.0%	8 1.9%	48 11.3%	224 52.7%	93 21.9%	30 7.1%
東北		423 100.0%	10 2.4%	81 19.1%	211 49.9%	68 16.1%	37 8.7%	16 3.8%
関東		891 100.0%	25 2.8%	129 14.5%	502 56.3%	154 17.3%	60 6.7%	21 2.4%
東京		422 100.0%	13 3.1%	47 11.1%	201 47.6%	96 22.7%	48 11.4%	17 4.0%
中部		1,091 100.0%	11 1.0%	106 9.7%	618 56.6%	233 21.4%	91 8.3%	32 2.9%
関西		1,194 100.0%	19 1.6%	131 11.0%	637 53.4%	255 21.4%	113 9.5%	39 3.3%
中国・四国		744 100.0%	19 2.6%	91 12.2%	414 55.6%	147 19.8%	55 7.4%	18 2.4%
九州		1,144 100.0%	29 2.5%	160 14.0%	609 53.2%	206 18.0%	91 8.0%	49 4.3%
診療科別	内科系	2,775 100.0%	71 2.6%	399 14.4%	1,417 51.1%	573 20.6%	243 8.8%	72 2.6%
	外科系	2,944 100.0%	53 1.8%	340 11.5%	1,661 56.4%	582 19.8%	241 8.2%	67 2.3%
	その他	532 100.0%	9 1.7%	47 8.8%	292 54.9%	81 15.2%	34 6.4%	69 13.0%
	無回答	83 100.0%	1 1.2%	7 8.4%	46 55.4%	16 19.3%	7 8.4%	6 7.2%

② DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高いほど「少ししやすくなった」という回答割合が高くなる。DPC の理解度と診療のやり易さに対する認識との関係は有意であり、相関が見られる。(質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2076、P 値<0.01)

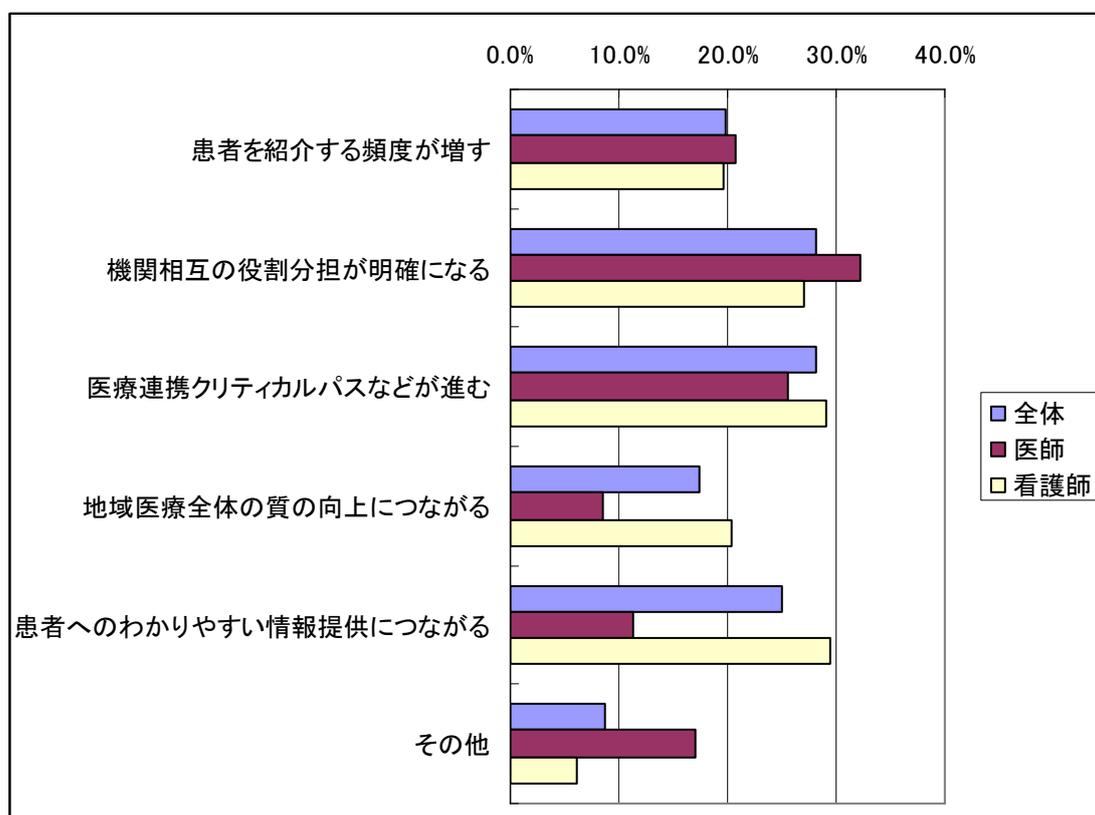
		サンプル数	非常にしやすくなった	少ししやすくなった	あまり変わらない	少ししにくくなった	非常にしにくくなった	無回答
全体		6,334 100.0%	134 2.1%	793 12.5%	3,416 53.9%	1,252 19.8%	525 8.3%	214 3.4%
DPCの理解度 の診断群分類 (質問1)について	よく理解している	394 100.0%	31 7.9%	74 18.8%	164 41.6%	82 20.8%	32 8.1%	11 2.8%
	ある程度理解している	3,000 100.0%	73 2.4%	454 15.1%	1,540 51.3%	655 21.8%	231 7.7%	47 1.6%
	どちらともいえない	732 100.0%	6 0.8%	69 9.4%	431 58.9%	142 19.4%	54 7.4%	30 4.1%
	あまり理解していない	1,746 100.0%	20 1.1%	178 10.2%	1,013 58.0%	323 18.5%	141 8.1%	71 4.1%
	まったく理解していない	449 100.0%	4 0.9%	18 4.0%	263 58.6%	49 10.9%	64 14.3%	51 11.4%
	無回答	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 38.5%	1 7.7%	3 23.1%	4 30.8%
	DPCの理解度 の包括の範囲 (質問2)について	よく理解している	368 100.0%	35 9.5%	62 16.8%	162 44.0%	68 18.5%	33 9.0%
ある程度理解している		2,599 100.0%	63 2.4%	430 16.5%	1,255 48.3%	596 22.9%	215 8.3%	40 1.5%
どちらともいえない		814 100.0%	6 0.7%	82 10.1%	494 60.7%	149 18.3%	53 6.5%	30 3.7%
あまり理解していない		1,978 100.0%	24 1.2%	187 9.5%	1,173 59.3%	368 18.6%	157 7.9%	69 3.5%
まったく理解していない		566 100.0%	6 1.1%	32 5.7%	330 58.3%	69 12.2%	66 11.7%	63 11.1%
無回答		9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	4 44.4%

(17)D P C 導入による医療連携や地域医療への影響

① 全体傾向

DPC 導入による医療連携や地域医療への影響については、「機関相互の役割分担が明確になる」、「医療連携クリティカルパスなどが進む」という回答が 28.2%と最も多く、次いで「患者へのわかりやすい情報提供につながる」(25.0%)、「患者を紹介する頻度が増す」(19.8%)、「地域医療全体の質の向上につながる」(17.4%) の順に多い。

医師と看護師を比較すると、「機関相互の役割分担が明確になる」という項目への回答割合は医師の方がやや高いものの、「患者へのわかりやすい情報提供につながる」、「地域医療全体の質の向上につながる」といった項目への回答割合は看護師の方が非常に高い。全体的に看護師の方が高く評価しており、職制との関係は有意であり、医師と看護師の間で差が見られる。(分割表分析係数=0.2237、P 値<0.01)



	サンプル数	患者を紹介する頻度が増す	機関相互の役割分担が明確になる	医療連携クリティカルパスなどが進む	地域医療全体の質の向上につながる	患者へのわかりやすい情報提供につながる	その他	
全体	29,173 100.0%	5,785 19.8%	8,235 28.2%	8,223 28.2%	5,079 17.4%	7,296 25.0%	2,535 8.7%	
職性別	医師	6,855 100.0%	1,428 20.8%	2,212 32.3%	1,757 25.6%	580 8.5%	780 11.4%	1,170 17.1%
	看護師	21,600 100.0%	4,220 19.5%	5,856 27.1%	6,298 29.2%	4,391 20.3%	6,367 29.5%	1,316 6.1%
	無回答	718 100.0%	137 19.1%	167 23.3%	168 23.4%	108 15.0%	149 20.8%	49 6.8%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別で見ると、50 歳代で「機関相互の役割分担が明確になる」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況で見ると、調査協力病院で各項目への回答割合が高いのが特徴的である。

ウ. 設置主体別

設置主体別で見ると、公的病院で各項目への回答割合が高いのが特徴的である。

エ. 地域別

地域別で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

	サンプル数	患者を紹介する頻度が増す	機関相互の役割分担が明確になる	医療連携クリティカルパスなどが進む	地域医療全体の質の向上につながる	患者へのわかりやすい情報提供につながる	その他	
医師全体	6,855 100.0%	1,428 20.8%	2,212 32.3%	1,757 25.6%	580 8.5%	780 11.4%	1,170 17.1%	
年齢別	20歳代	1,020 100.0%	213 20.9%	308 30.2%	278 27.3%	96 9.4%	107 10.5%	139 13.6%
	30歳代	2,720 100.0%	532 19.6%	776 28.5%	670 24.6%	201 7.4%	261 9.6%	510 18.8%
	40歳代	1,987 100.0%	402 20.2%	712 35.8%	490 24.7%	161 8.1%	245 12.3%	369 18.6%
	50歳代	678 100.0%	185 27.3%	271 40.0%	195 28.8%	85 12.5%	111 16.4%	93 13.7%
	60歳代以上	118 100.0%	36 30.5%	61 51.7%	46 39.0%	19 16.1%	29 24.6%	10 8.5%
	無回答	332 100.0%	60 18.1%	84 25.3%	78 23.5%	18 5.4%	27 8.1%	49 14.8%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	757 19.9%	1,140 29.9%	873 22.9%	285 7.5%	369 9.7%
試行的適用病院		2,526 100.0%	527 20.9%	832 32.9%	687 27.2%	235 9.3%	327 12.9%	398 15.8%
調査協力病院		521 100.0%	144 27.6%	240 46.1%	197 37.8%	60 11.5%	84 16.1%	58 11.1%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	755 20.0%	1,134 30.0%	866 22.9%	282 7.5%	367 9.7%	708 18.7%
	国立病院	611 100.0%	144 23.6%	204 33.4%	163 26.7%	54 8.8%	70 11.5%	95 15.5%
	社会保険病院	777 100.0%	149 19.2%	251 32.3%	211 27.2%	68 8.8%	93 12.0%	128 16.5%
	公的病院	253 100.0%	79 31.2%	117 46.2%	80 31.6%	17 6.7%	25 9.9%	36 14.2%
	民間病院	1,430 100.0%	301 21.0%	506 35.4%	437 30.6%	159 11.1%	225 15.7%	203 14.2%
地域別	北海道	454 100.0%	108 23.8%	153 33.7%	106 23.3%	37 8.1%	59 13.0%	71 15.6%
	東北	423 100.0%	89 21.0%	142 33.6%	122 28.8%	23 5.4%	46 10.9%	79 18.7%
	関東	972 100.0%	194 20.0%	299 30.8%	242 24.9%	92 9.5%	141 14.5%	196 20.2%
	東京	422 100.0%	51 12.1%	111 26.3%	122 28.9%	28 6.6%	59 14.0%	70 16.6%
	中部	1,234 100.0%	246 19.9%	404 32.7%	308 25.0%	117 9.5%	139 11.3%	218 17.7%
	関西	1,325 100.0%	258 19.5%	412 31.1%	332 25.1%	121 9.1%	153 11.5%	236 17.8%
	中国・四国	771 100.0%	184 23.9%	249 32.3%	194 25.2%	53 6.9%	61 7.9%	125 16.2%
	九州	1,254 100.0%	298 23.8%	442 35.2%	331 26.4%	109 8.7%	122 9.7%	175 14.0%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	639 21.5%	922 30.9%	768 25.8%	239 8.0%	294 9.9%	558 18.7%
	外科系	3,201 100.0%	645 20.1%	1,088 34.0%	809 25.3%	277 8.7%	405 12.7%	519 16.2%
	その他	583 100.0%	120 20.6%	178 30.5%	159 27.3%	59 10.1%	75 12.9%	83 14.2%
	無回答	92 100.0%	24 26.1%	24 26.1%	21 22.8%	5 5.4%	6 6.5%	10 10.9%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「患者を紹介する頻度が増す」、「機関相互の役割分担が明確になる」といった項目で回答割合が高くなるが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、調査協力病院で各項目への回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

	サンプル数	患者を紹介する頻度が増す	機関相互の役割分担が明確になる	医療連携クリティカルパスなどが進む	地域医療全体の質の向上につながる	患者へのわかりやすい情報提供につながる	その他	
看護師全体	21,600 100.0%	4,220 19.5%	5,856 27.1%	6,298 29.2%	4,391 20.3%	6,367 29.5%	1,316 6.1%	
年齢別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	1,904 15.6%	2,781 22.7%	3,528 28.8%	2,498 20.4%	3,619 29.6%	775 6.3%
	30歳代	5,228 100.0%	1,104 21.1%	1,559 29.8%	1,518 29.0%	1,027 19.6%	1,505 28.8%	349 6.7%
	40歳代	2,573 100.0%	750 29.1%	956 37.2%	807 31.4%	528 20.5%	761 29.6%	135 5.2%
	50歳代	1,076 100.0%	362 33.6%	448 41.6%	326 30.3%	253 23.5%	366 34.0%	33 3.1%
	60歳代以上	22 100.0%	8 36.4%	9 40.9%	7 31.8%	8 36.4%	8 36.4%	0 0.0%
	無回答	462 100.0%	92 19.9%	103 22.3%	111 24.0%	77 16.7%	107 23.2%	24 5.2%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,507 17.8%	2,268 26.7%	2,395 28.2%	1,512 17.8%	2,464 29.0%	593 7.0%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	2,193 21.1%	2,790 26.9%	3,026 29.1%	2,218 21.3%	2,984 28.7%	577 5.6%
	調査協力病院	2,720 100.0%	520 19.1%	798 29.3%	877 32.2%	661 24.3%	919 33.8%	146 5.4%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,494 17.7%	2,238 26.5%	2,369 28.1%	1,503 17.8%	2,448 29.0%	592 7.0%
	国立病院	2,016 100.0%	452 22.4%	603 29.9%	568 28.2%	433 21.5%	592 29.4%	129 6.4%
	社会保険病院	3,182 100.0%	749 23.5%	900 28.3%	996 31.3%	658 20.7%	872 27.4%	162 5.1%
	公的病院	1,062 100.0%	234 22.0%	351 33.1%	351 33.1%	251 23.6%	326 30.7%	57 5.4%
	民間病院	6,908 100.0%	1,291 18.7%	1,764 25.5%	2,014 29.2%	1,546 22.4%	2,129 30.8%	376 5.4%
地域別	北海道	1,654 100.0%	300 18.1%	466 28.2%	449 27.1%	268 16.2%	412 24.9%	107 6.5%
	東北	1,742 100.0%	351 20.1%	454 26.1%	400 23.0%	323 18.5%	463 26.6%	99 5.7%
	関東	3,385 100.0%	569 16.8%	798 23.6%	964 28.5%	747 22.1%	1,131 33.4%	187 5.5%
	東京	1,611 100.0%	244 15.1%	391 24.3%	489 30.4%	254 15.8%	509 31.6%	118 7.3%
	中部	3,529 100.0%	673 19.1%	936 26.5%	1,061 30.1%	744 21.1%	1,037 29.4%	238 6.7%
	関西	3,795 100.0%	706 18.6%	1,036 27.3%	1,112 29.3%	786 20.7%	1,161 30.6%	251 6.6%
	中国・四国	2,391 100.0%	564 23.6%	691 28.9%	685 28.6%	492 20.6%	635 26.6%	119 5.0%
	九州	3,493 100.0%	813 23.3%	1,084 31.0%	1,138 32.6%	777 22.2%	1,019 29.2%	197 5.6%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,496 20.1%	1,992 26.7%	2,034 27.3%	1,590 21.3%	2,113 28.3%	439 5.9%
	外科系	8,978 100.0%	1,813 20.2%	2,483 27.7%	2,852 31.8%	1,734 19.3%	2,682 29.9%	553 6.2%
	その他	4,497 100.0%	791 17.6%	1,220 27.1%	1,228 27.3%	930 20.7%	1,395 31.0%	297 6.6%
	無回答	668 100.0%	120 18.0%	161 24.1%	184 27.5%	137 20.5%	177 26.5%	27 4.0%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高いほど「患者を紹介する頻度が増す」、「機関相互の役割分担が明確になる」という回答割合が高くなるが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	患者を紹介する頻度が増す	機関相互の役割分担が明確になる	医療連携クリティカルパスなどが進む	地域医療全体の質の向上につながる	患者へのわかりやすい情報提供につながる	その他
全体		29,173 100.0%	5,785 19.8%	8,235 28.2%	8,223 28.2%	5,079 17.4%	7,296 25.0%	2,535 8.7%
DPCの理解度(診断群分類1)について	よく理解している	513 100.0%	155 30.2%	217 42.3%	152 29.6%	95 18.5%	105 20.5%	63 12.3%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,534 25.0%	2,321 37.9%	1,921 31.3%	1,017 16.6%	1,393 22.7%	639 10.4%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	673 20.9%	947 29.4%	1,002 31.2%	647 20.1%	878 27.3%	211 6.6%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	2,467 19.6%	3,468 27.5%	3,673 29.1%	2,350 18.6%	3,386 26.9%	875 6.9%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	945 14.6%	1,257 19.4%	1,448 22.3%	959 14.8%	1,516 23.3%	739 11.4%
	無回答	216 100.0%	11 5.1%	25 11.6%	27 12.5%	11 5.1%	18 8.3%	8 3.7%
	DPCの理解度(包括の範囲2)について	よく理解している	456 100.0%	132 28.9%	183 40.1%	119 26.1%	68 14.9%	82 18.0%
ある程度理解している	4,622 100.0%	1,188 25.7%	1,801 39.0%	1,440 31.2%	737 15.9%	974 21.1%	522 11.3%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	690 21.8%	980 31.0%	992 31.4%	595 18.8%	866 27.4%	234 7.4%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	2,609 20.1%	3,711 28.6%	3,904 30.1%	2,484 19.2%	3,524 27.2%	817 6.3%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	1,155 14.9%	1,537 19.8%	1,749 22.5%	1,179 15.2%	1,829 23.5%	895 11.5%	
無回答	209 100.0%	11 5.3%	23 11.0%	19 9.1%	16 7.7%	21 10.0%	2 1.0%	

⑤ DPC導入後の医療内容の変化との関連

DPC 導入後の医療内容の変化に対する認識との関連性をみると、変化を感じている職員ほど、各項目への回答割合が高くなっている。DPC 導入後の医療内容の変化に対する認識と、DPC 導入による医療連携や地域医療への影響に対する認識との間には、弱い相関が見られる。

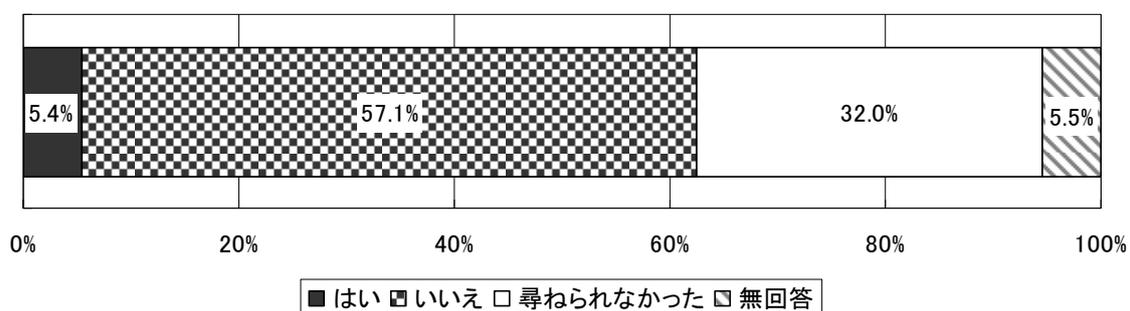
		サンプル数	患者を紹介する頻度が増す	機関相互の役割分担が明確になる	医療連携クリティカルパスなどが進む	地域医療全体の質の向上につながる	患者へのわかりやすい情報提供につながる	その他
全体		29,173 100.0%	5,785 19.8%	8,235 28.2%	8,223 28.2%	5,079 17.4%	7,296 25.0%	2,535 8.7%
DPC導入後の医療内容の変化(質問8)	大きく変化した	822 100.0%	294 35.8%	347 42.2%	289 35.2%	179 21.8%	208 25.3%	59 7.2%
	少し変化した	5,710 100.0%	1,635 28.6%	2,116 37.1%	2,046 35.8%	1,038 18.2%	1,553 27.2%	358 6.3%
	どちらともいえない	11,038 100.0%	1,921 17.4%	2,825 25.6%	3,158 28.6%	2,232 20.2%	3,184 28.8%	750 6.8%
	あまり変化していない	7,930 100.0%	1,487 18.8%	2,284 28.8%	2,074 26.2%	1,235 15.6%	1,787 22.5%	794 10.0%
	まったく変化していない	2,029 100.0%	277 13.7%	385 19.0%	347 17.1%	198 9.8%	294 14.5%	462 22.8%
	無回答	1,644 100.0%	171 10.4%	278 16.9%	309 18.8%	197 12.0%	270 16.4%	112 6.8%

(18)入院診療でかかる費用についての説明の有無

① 全体傾向

入院診療費用の説明については、「はい(説明している)」という回答割合はわずか5.4%しかない。半数以上が「いいえ(説明していない)」と回答しており、費用についての説明はほとんど行われていないことがうかがわれる。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「はい(している)」という回答割合が高く、職制との間では弱い相関が見られる。



		サンプル数	はい	いいえ	尋ねられなかった	無回答
全体		29,173	1,573	16,666	9,344	1,590
		100.0%	5.4%	57.1%	32.0%	5.5%
職性別	医師	6,855	780	3,973	1,937	165
		100.0%	11.4%	58.0%	28.3%	2.4%
	看護師	21,600	754	12,361	7,233	1,252
		100.0%	3.5%	57.2%	33.5%	5.8%
	無回答	718	39	332	174	173
		100.0%	5.4%	46.2%	24.2%	24.1%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「はい（説明している）」という回答割合が高くなっている。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、中国・四国で「はい（説明している）」という回答割合がやや低いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系の方が「はい（説明している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	はい	いいえ	尋ねられなかった	無回答
医師全体		6,855 100.0%	780 11.4%	3,973 58.0%	1,937 28.3%	165 2.4%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	45 4.4%	644 63.1%	297 29.1%	34 3.3%
	30歳代	2,720 100.0%	258 9.5%	1,609 59.2%	791 29.1%	62 2.3%
	40歳代	1,987 100.0%	282 14.2%	1,135 57.1%	540 27.2%	30 1.5%
	50歳代	678 100.0%	138 20.4%	340 50.1%	186 27.4%	14 2.1%
	60歳代以上	118 100.0%	27 22.9%	59 50.0%	23 19.5%	9 7.6%
	無回答	332 100.0%	30 9.0%	186 56.0%	100 30.1%	16 4.8%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	397 10.4%	2,244 58.9%	1,069 28.1%
試行的適用病院		2,526 100.0%	332 13.1%	1,403 55.5%	737 29.2%	54 2.1%
調査協力病院		521 100.0%	51 9.8%	326 62.6%	131 25.1%	13 2.5%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	393 10.4%	2,236 59.1%	1,057 27.9%	98 2.6%
	国立病院	611 100.0%	68 11.1%	358 58.6%	167 27.3%	18 2.9%
	社会保険病院	777 100.0%	107 13.8%	432 55.6%	222 28.6%	16 2.1%
	公的病院	253 100.0%	30 11.9%	157 62.1%	59 23.3%	7 2.8%
	民間病院	1,430 100.0%	182 12.7%	790 55.2%	432 30.2%	26 1.8%
地域別	北海道	454 100.0%	61 13.4%	252 55.5%	127 28.0%	14 3.1%
	東北	423 100.0%	53 12.5%	245 57.9%	114 27.0%	11 2.6%
	関東	972 100.0%	126 13.0%	555 57.1%	271 27.9%	20 2.1%
	東京	422 100.0%	51 12.1%	226 53.6%	134 31.8%	11 2.6%
	中部	1,234 100.0%	144 11.7%	708 57.4%	356 28.8%	26 2.1%
	関西	1,325 100.0%	146 11.0%	763 57.6%	390 29.4%	26 2.0%
	中国・四国	771 100.0%	56 7.3%	474 61.5%	223 28.9%	18 2.3%
	九州	1,254 100.0%	143 11.4%	750 59.8%	322 25.7%	39 3.1%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	262 8.8%	1,775 59.6%	888 29.8%	54 1.8%
	外科系	3,201 100.0%	462 14.4%	1,820 56.9%	857 26.8%	62 1.9%
	その他	583 100.0%	44 7.5%	328 56.3%	168 28.8%	43 7.4%
	無回答	92 100.0%	12 13.0%	50 54.3%	24 26.1%	6 6.5%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

	サンプル数	はい	いいえ	尋ねられなかった	無回答	
看護師全体	21,600 100.0%	754 3.5%	12,361 57.2%	7,233 33.5%	1,252 5.8%	
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	334 2.7%	7,099 58.0%	4,252 34.7%	552 4.5%
	30歳代	5,228 100.0%	190 3.6%	2,993 57.2%	1,750 33.5%	295 5.6%
	40歳代	2,573 100.0%	134 5.2%	1,437 55.8%	785 30.5%	217 8.4%
	50歳代	1,076 100.0%	82 7.6%	573 53.3%	287 26.7%	134 12.5%
	60歳代以上	22 100.0%	1 4.5%	9 40.9%	9 40.9%	3 13.6%
	無回答	462 100.0%	13 2.8%	249 53.9%	149 32.3%	51 11.0%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	252 3.0%	4,853 57.2%	2,902 34.2%	483 5.7%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	426 4.1%	5,838 56.2%	3,479 33.5%	647 6.2%
	調査協力病院	2,720 100.0%	76 2.8%	1,670 61.4%	852 31.3%	122 4.5%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	249 3.0%	4,820 57.2%	2,881 34.2%	482 5.7%
	国立病院	2,016 100.0%	75 3.7%	1,180 58.5%	655 32.5%	106 5.3%
	社会保険病院	3,182 100.0%	129 4.1%	1,815 57.0%	1,075 33.8%	163 5.1%
	公的病院	1,062 100.0%	23 2.2%	628 59.1%	362 34.1%	49 4.6%
	民間病院	6,908 100.0%	278 4.0%	3,918 56.7%	2,260 32.7%	452 6.5%
地域別	北海道	1,654 100.0%	46 2.8%	954 57.7%	561 33.9%	93 5.6%
	東北	1,742 100.0%	89 5.1%	919 52.8%	570 32.7%	164 9.4%
	関東	3,385 100.0%	131 3.9%	1,884 55.7%	1,165 34.4%	205 6.1%
	東京	1,611 100.0%	65 4.0%	904 56.1%	567 35.2%	75 4.7%
	中部	3,529 100.0%	97 2.7%	2,088 59.2%	1,152 32.6%	192 5.4%
	関西	3,795 100.0%	114 3.0%	2,202 58.0%	1,289 34.0%	190 5.0%
	中国・四国	2,391 100.0%	79 3.3%	1,374 57.5%	798 33.4%	140 5.9%
	九州	3,493 100.0%	133 3.8%	2,036 58.3%	1,131 32.4%	193 5.5%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	170 2.3%	4,390 58.9%	2,512 33.7%	385 5.2%
	外科系	8,978 100.0%	303 3.4%	5,137 57.2%	3,043 33.9%	495 5.5%
	その他	4,497 100.0%	250 5.6%	2,454 54.6%	1,484 33.0%	309 6.9%
	無回答	668 100.0%	31 4.6%	380 56.9%	194 29.0%	63 9.4%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「はい（説明している）」という回答割合が高い。DPC の理解度と退院に対する入院診療費用の説明の状況との関係は有意であり、相関が見られる。（質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.2059、P 値<0.01）

		サンプル数	はい	いいえ	尋ねられなかった	無回答
全体		29,173 100.0%	1,573 5.4%	16,666 57.1%	9,344 32.0%	1,590 5.5%
DPCの理解度（診断群分類）について	よく理解している	513 100.0%	141 27.5%	227 44.2%	128 25.0%	17 3.3%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	680 11.1%	3,341 54.5%	1,876 30.6%	232 3.8%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	152 4.7%	1,748 54.4%	1,164 36.2%	152 4.7%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	465 3.7%	7,395 58.7%	4,078 32.4%	667 5.3%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	130 2.0%	3,877 59.7%	2,050 31.6%	380 5.9%
	無回答	216 100.0%	2 0.9%	43 19.9%	30 13.9%	141 65.3%
	DPCの理解度（包括の範囲）について	よく理解している	456 100.0%	124 27.2%	199 43.6%	119 26.1%
ある程度理解している		4,622 100.0%	614 13.3%	2,445 52.9%	1,396 30.2%	167 3.6%
どちらともいえない		3,159 100.0%	184 5.8%	1,703 53.9%	1,100 34.8%	172 5.4%
あまり理解していない		12,955 100.0%	502 3.9%	7,578 58.5%	4,204 32.5%	671 5.2%
まったく理解していない		7,772 100.0%	147 1.9%	4,706 60.6%	2,493 32.1%	426 5.5%
無回答		209 100.0%	2 1.0%	35 16.7%	32 15.3%	140 67.0%

⑤ クリティカルパスの利用状況との関連

クリティカルパスの利用状況との関連性をみると、クリティカルパスの利用状況と入院診療費用の説明の状況との関係には弱い相関が見られる。

		サンプル数	はい	いいえ	尋ねられなかった	無回答
全体		29,173 100.0%	1,573 5.4%	16,666 57.1%	9,344 32.0%	1,590 5.5%
クリティカルパスの利用状況（質問6）	よく利用されている	6,503 100.0%	572 8.8%	3,485 53.6%	2,155 33.1%	291 4.5%
	少し利用されている	9,020 100.0%	425 4.7%	5,331 59.1%	2,896 32.1%	368 4.1%
	どちらともいえない	6,674 100.0%	263 3.9%	3,889 58.3%	2,221 33.3%	301 4.5%
	あまり利用されていない	3,539 100.0%	164 4.6%	2,144 60.6%	1,075 30.4%	156 4.4%
	まったく利用されていない	2,374 100.0%	122 5.1%	1,386 58.4%	750 31.6%	116 4.9%
	無回答	1,063 100.0%	27 2.5%	431 40.5%	247 23.2%	358 33.7%

2. 患者満足度調査

2-1. サンプル数および回答者の属性

(1) サンプル数

22,641 サンプル（配布数 35,968、回収率 62.9%）

(2) 回答者の属性

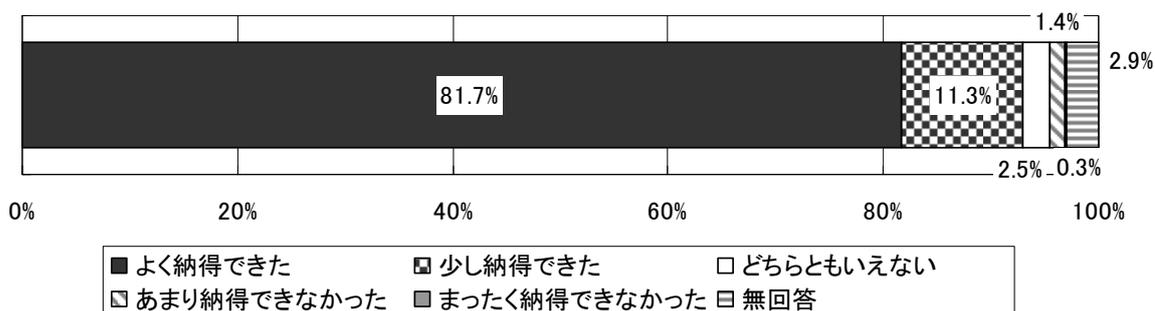
		人数	構成比
総数		22,641	100.0%
性別	男性	11,622	51.3%
	女性	10,553	46.6%
	無回答	466	2.1%
年齢	20歳未満	1,708	7.5%
	20歳代	1,289	5.7%
	30歳代	1,869	8.3%
	40歳代	1,790	7.9%
	50歳代	3,689	16.3%
	60歳代	4,885	21.6%
	70歳代	4,856	21.4%
	80歳代以上	1,862	8.2%
	無回答	693	3.1%
地域	北海道	1,682	7.4%
	東北	1,830	8.1%
	東京	3,893	17.2%
	関東	1,844	8.1%
	中部	3,743	16.5%
	関西	3,846	17.0%
	中国・四国	2,569	11.3%
	九州	3,234	14.3%
種別	DPC病院	6,791	30.0%
	試行的適用病院	11,932	52.7%
	調査協力病院	3,918	17.3%
入院回数	初めて	10,875	48.0%
	2回目	4,858	21.5%
	3回目以上	6,307	27.9%
	無回答	601	2.7%
退院後の予定	自宅療養	19,515	86.2%
	他病院への転院	1,063	4.7%
	その他	824	3.6%
	無回答	1,239	5.5%

2-2. 調査結果

(1) 入院前の説明に対する納得度

① 全体傾向

入院前の説明については、「よく納得できた」という回答が81.7%と非常に多く、「少し納得できた」(11.3%)という回答とあわせ、9割以上の患者が納得していると回答しており、高い評価が得られている。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別でみると、東北で「よく納得できた」という回答割合がやや低く、「少し納得できた」という回答割合が高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

カ. 退院後の予定

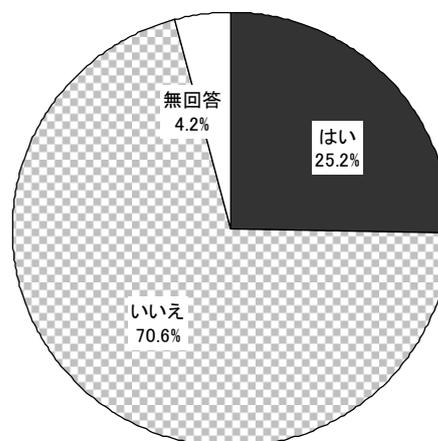
退院後の予定との関連性をみると、他の病院への転院で「よく納得できた」という回答割合がやや低く、「少し納得できた」という回答割合が高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく納得できた	少し納得できた	どちらともいえない	あまり納得できなかった	まったく納得できなかった	無回答
全体		22,641 100.0%	18,487 81.7%	2,552 11.3%	573 2.5%	314 1.4%	59 0.3%	656 2.9%
性別	男性	11,622 100.0%	9,545 82.1%	1,328 11.4%	311 2.7%	182 1.6%	33 0.3%	223 1.9%
	女性	10,553 100.0%	8,709 82.5%	1,179 11.2%	253 2.4%	125 1.2%	25 0.2%	262 2.5%
	無回答	466 100.0%	233 50.0%	45 9.7%	9 1.9%	7 1.5%	1 0.2%	171 36.7%
年代別	10歳未満	1,332 100.0%	1,116 83.8%	169 12.7%	26 2.0%	18 1.4%	2 0.2%	1 0.1%
	10歳代	376 100.0%	301 80.1%	49 13.0%	20 5.3%	2 0.5%	1 0.3%	3 0.8%
	20歳代	1,289 100.0%	1,034 80.2%	170 13.2%	56 4.3%	17 1.3%	2 0.2%	10 0.8%
	30歳代	1,869 100.0%	1,547 82.8%	221 11.8%	58 3.1%	25 1.3%	9 0.5%	9 0.5%
	40歳代	1,790 100.0%	1,439 80.4%	224 12.5%	55 3.1%	33 1.8%	9 0.5%	30 1.7%
	50歳代	3,689 100.0%	2,995 81.2%	449 12.2%	104 2.8%	65 1.8%	5 0.1%	71 1.9%
	60歳代	4,885 100.0%	4,071 83.3%	544 11.1%	96 2.0%	54 1.1%	11 0.2%	109 2.2%
	70歳代	4,856 100.0%	4,050 83.4%	482 9.9%	94 1.9%	56 1.2%	13 0.3%	161 3.3%
	80歳代	1,653 100.0%	1,381 83.5%	149 9.0%	38 2.3%	24 1.5%	3 0.2%	58 3.5%
	90歳代	202 100.0%	163 80.7%	20 9.9%	5 2.5%	2 1.0%	0 0.0%	12 5.9%
	100歳以上	7 100.0%	5 71.4%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
	無回答	693 100.0%	385 55.6%	75 10.8%	20 2.9%	18 2.6%	4 0.6%	191 27.6%
	種別	DPC病院	6,791 100.0%	5,574 82.1%	788 11.6%	147 2.2%	96 1.4%	20 0.3%
試行的適用病院		11,932 100.0%	9,707 81.4%	1,342 11.2%	336 2.8%	169 1.4%	29 0.2%	349 2.9%
調査協力病院		3,918 100.0%	3,206 81.8%	422 10.8%	90 2.3%	49 1.3%	10 0.3%	141 3.6%
設置主体別	大学病院	6,465 100.0%	5,278 81.6%	770 11.9%	142 2.2%	92 1.4%	20 0.3%	163 2.5%
	国立病院	2,547 100.0%	2,137 83.9%	271 10.6%	42 1.6%	29 1.1%	4 0.2%	64 2.5%
	社会保険病院	4,457 100.0%	3,542 79.5%	542 12.2%	166 3.7%	67 1.5%	16 0.4%	124 2.8%
	公的病院	1,929 100.0%	1,573 81.5%	215 11.1%	40 2.1%	29 1.5%	7 0.4%	65 3.4%
	民間病院	7,243 100.0%	5,957 82.2%	754 10.4%	183 2.5%	97 1.3%	12 0.2%	240 3.3%
地域別	北海道	1,682 100.0%	1,383 82.2%	178 10.6%	47 2.8%	14 0.8%	3 0.2%	57 3.4%
	東北	1,830 100.0%	1,398 76.4%	272 14.9%	96 5.2%	20 1.1%	4 0.2%	40 2.2%
	関東	3,893 100.0%	3,200 82.2%	404 10.4%	97 2.5%	61 1.6%	12 0.3%	119 3.1%
	東京	1,844 100.0%	1,537 83.4%	194 10.5%	38 2.1%	30 1.6%	6 0.3%	39 2.1%
	中部	3,743 100.0%	3,043 81.3%	453 12.1%	87 2.3%	48 1.3%	6 0.2%	106 2.8%
	関西	3,670 100.0%	3,143 85.6%	436 11.9%	95 2.6%	56 1.5%	11 0.3%	105 2.9%
	中国・四国	2,569 100.0%	2,085 81.2%	288 11.2%	47 1.8%	38 1.5%	5 0.2%	106 4.1%
	九州	3,234 100.0%	2,698 83.4%	327 10.1%	66 2.0%	47 1.5%	12 0.4%	84 2.6%
退院後の予定	自宅	19,515 100.0%	16,203 83.0%	2,157 11.1%	468 2.4%	260 1.3%	47 0.2%	380 1.9%
	他病院への転院	1,063 100.0%	822 77.3%	141 13.3%	34 3.2%	22 2.1%	5 0.5%	39 3.7%
	その他	824 100.0%	661 80.2%	112 13.6%	26 3.2%	10 1.2%	2 0.2%	13 1.6%
	無回答	1,239 100.0%	801 64.6%	142 11.5%	45 3.6%	22 1.8%	5 0.4%	224 18.1%

(2) 入院前の費用に関する説明の有無

① 全体傾向

入院前の費用に関する説明については、「はい（あった）」という回答は 25.2%しかなく、「いいえ（なかった）」という回答割合が 70.6%と非常に高い。入院前の費用に関する説明は十分に行われていないことがうかがわれる。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、20歳代と90歳代で「はい（あった）」という回答割合がやや高いが、その他の年代では大きな差は見られない。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で「はい（あった）」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、社会保険病院や民間病院で「はい（あった）」という回答割合がやや高いのに対し、国立病院および公的病院はやや低く、設置主体による傾向の違いが見られる。

オ. 地域別

地域別でみると、「はい（あった）」という回答割合は、東京や東北でやや高いのに対し、中国・四国、中部、北海道、関西ではやや低くなっており、地域による回答傾向の違いが見られる。

カ. 退院後の予定

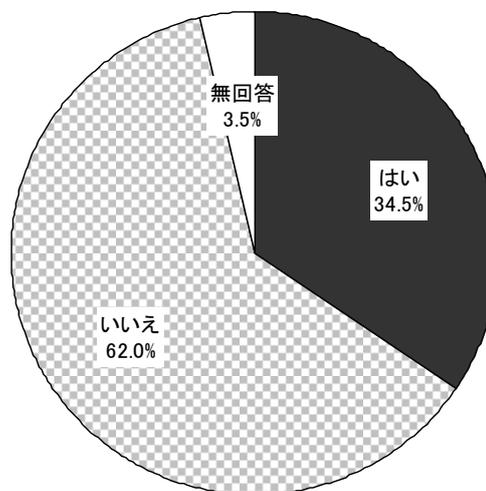
退院後の予定との関連性をみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	はい	いいえ	無回答
全体		22,641 100.0%	5,698 25.2%	15,990 70.6%	953 4.2%
性別	男性	11,622 100.0%	3,087 26.6%	8,155 70.2%	380 3.3%
	女性	10,553 100.0%	2,541 24.1%	7,618 72.2%	394 3.7%
	無回答	466 100.0%	70 15.0%	217 46.6%	179 38.4%
年代別	10歳未満	1,332 100.0%	357 26.8%	955 71.7%	20 1.5%
	10歳代	376 100.0%	116 30.9%	244 64.9%	16 4.3%
	20歳代	1,289 100.0%	404 31.3%	860 66.7%	25 1.9%
	30歳代	1,869 100.0%	557 29.8%	1,283 68.6%	29 1.6%
	40歳代	1,790 100.0%	446 24.9%	1,318 73.6%	26 1.5%
	50歳代	3,689 100.0%	874 23.7%	2,709 73.4%	106 2.9%
	60歳代	4,885 100.0%	1,096 22.4%	3,632 74.4%	157 3.2%
	70歳代	4,856 100.0%	1,234 25.4%	3,357 69.1%	265 5.5%
	80歳代	1,653 100.0%	421 25.5%	1,141 69.0%	91 5.5%
	90歳代	202 100.0%	63 31.2%	123 60.9%	16 7.9%
	100歳以上	7 100.0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%
	無回答	693 100.0%	128 18.5%	363 52.4%	202 29.1%
種別	DPC病院	6,791 100.0%	1,568 23.1%	4,960 73.0%	263 3.9%
	試行的適用病院	11,932 100.0%	3,238 27.1%	8,203 68.7%	491 4.1%
	調査協力病院	3,918 100.0%	892 22.8%	2,827 72.2%	199 5.1%
設置主体別	大学病院	6,465 100.0%	1,485 23.0%	4,727 73.1%	253 3.9%
	国立病院	2,547 100.0%	496 19.5%	1,937 76.1%	114 4.5%
	社会保険病院	4,457 100.0%	1,187 26.6%	3,101 69.6%	169 3.8%
	公的病院	1,929 100.0%	398 20.6%	1,437 74.5%	94 4.9%
	民間病院	7,243 100.0%	2,132 29.4%	4,788 66.1%	323 4.5%
地域別	北海道	1,682 100.0%	404 24.0%	1,204 71.6%	74 4.4%
	東北	1,830 100.0%	542 29.6%	1,226 67.0%	62 3.4%
	関東	3,893 100.0%	1,027 26.4%	2,705 69.5%	161 4.1%
	東京	1,844 100.0%	583 31.6%	1,196 64.9%	65 3.5%
	中部	3,743 100.0%	875 23.4%	2,698 72.1%	170 4.5%
	関西	3,846 100.0%	906 23.6%	2,792 72.6%	148 3.8%
	中国・四国	2,569 100.0%	531 20.7%	1,899 73.9%	139 5.4%
	九州	3,234 100.0%	830 25.7%	2,270 70.2%	134 4.1%
退院後の予定	自宅	19,515 100.0%	4,868 24.9%	14,022 71.9%	625 3.2%
	他病院への転院	1,063 100.0%	264 24.8%	745 70.1%	54 5.1%
	その他	824 100.0%	247 30.0%	545 66.1%	32 3.9%
	無回答	1,239 100.0%	319 25.7%	678 54.7%	242 19.5%

(3) 入院医療費の算定方法が変わったことの認知状況(DPC 病院・試行的適用病院の患者のみ回答)

① 全体傾向

入院医療費の算定方法が変わったことについては、「はい (知っていた)」という回答割合が 34.5%に対して、「いいえ (知らなかった)」という回答割合が 62.0%と高い。入院医療費の算定方法の変化については十分に認知されていないことがうかがわれる。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別で見ると、年齢が上がるほど「はい (知っていた)」という回答割合が高くなる傾向が見られる。

ウ. 種別

DPC の導入状況で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別で見ると、公的病院で「はい (知っていた)」という回答割合が低いですが、その他については大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別で見ると、北海道で「はい (知っていた)」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

カ. 退院後の予定

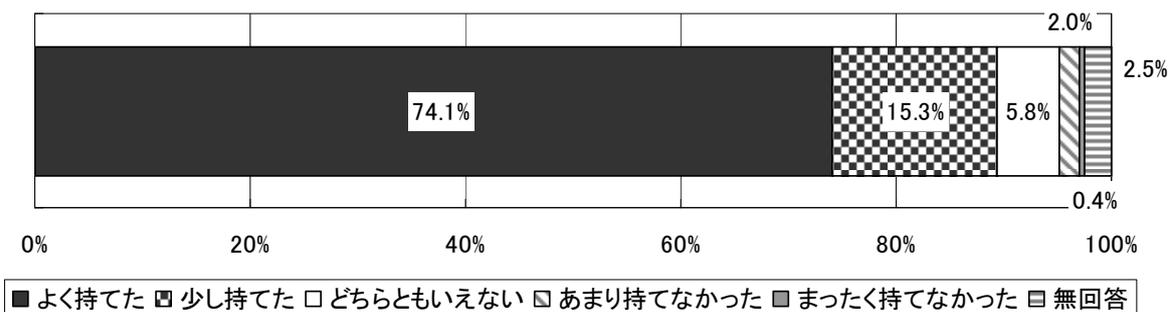
退院後の予定との関連性を見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	はい	いいえ	無回答
全体		18,723 100.0%	6,464 34.5%	11,605 62.0%	654 3.5%
性別	男性	9,739 100.0%	3,393 34.8%	6,095 62.6%	251 2.6%
	女性	8,607 100.0%	2,969 34.5%	5,377 62.5%	261 3.0%
	無回答	377 100.0%	102 27.1%	133 35.3%	142 37.7%
年代別	10歳未満	1,011 100.0%	248 24.5%	747 73.9%	16 1.6%
	10歳代	301 100.0%	70 23.3%	225 74.8%	6 2.0%
	20歳代	1,086 100.0%	285 26.2%	794 73.1%	7 0.6%
	30歳代	1,556 100.0%	426 27.4%	1,118 71.9%	12 0.8%
	40歳代	1,496 100.0%	458 30.6%	1,032 69.0%	6 0.4%
	50歳代	3,125 100.0%	1,030 33.0%	2,037 65.2%	58 1.9%
	60歳代	4,070 100.0%	1,578 38.8%	2,368 58.2%	124 3.0%
	70歳代	4,044 100.0%	1,618 40.0%	2,236 55.3%	190 4.7%
	80歳代	1,324 100.0%	518 39.1%	744 56.2%	62 4.7%
	90歳代	150 100.0%	67 44.7%	75 50.0%	8 5.3%
	100歳以上	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	554 100.0%	160 28.9%	229 41.3%	165 29.8%
	種別	DPC病院	6,791 100.0%	2,301 33.9%	4,253 62.6%
試行的適用病院		11,932 100.0%	4,163 34.9%	7,352 61.6%	417 3.5%
設置主体別	大学病院	6,465 100.0%	2,165 33.5%	4,069 62.9%	231 3.6%
	国立病院	2,138 100.0%	767 35.9%	1,303 60.9%	68 3.2%
	社会保険病院	4,457 100.0%	1,543 34.6%	2,783 62.4%	131 2.9%
	公的病院	292 100.0%	106 36.3%	175 59.9%	11 3.8%
	民間病院	5,371 100.0%	1,883 35.1%	3,275 61.0%	213 4.0%
地域別	北海道	1,492 100.0%	607 40.7%	845 56.6%	40 2.7%
	東北	1,830 100.0%	627 34.3%	1,138 62.2%	65 3.6%
	関東	3,122 100.0%	1,100 35.2%	1,927 61.7%	95 3.0%
	東京	1,844 100.0%	615 33.4%	1,176 63.8%	53 2.9%
	中部	2,627 100.0%	890 33.9%	1,623 61.8%	114 4.3%
	関西	2,881 100.0%	1,004 34.8%	1,780 61.8%	97 3.4%
	中国・四国	2,312 100.0%	719 31.1%	1,487 64.3%	106 4.6%
	九州	2,615 100.0%	902 34.5%	1,629 62.3%	84 3.2%
退院後の予定	自宅	16,182 100.0%	5,605 34.6%	10,176 62.9%	401 2.5%
	他病院への転院	890 100.0%	284 31.9%	568 63.8%	38 4.3%
	その他	645 100.0%	228 35.3%	399 61.9%	18 2.8%
	無回答	1,006 100.0%	347 34.5%	462 45.9%	197 19.6%

(4) 入院中の質問等を通じた医師への信頼感

① 全体傾向

入院中に質問等を通じて医師に対して信頼感を持てたかということについては、「よく持てた」という回答割合が74.1%と高く、「少し持てた」(15.3%)という回答をあわせると、約9割の患者が医師への信頼感を得たと回答しており、高い評価となっている。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、「よく持てた」という回答割合が、80歳代や100歳代では8割以上の高い回答割合となっているのに対し、20歳代、30歳代、40歳代では7割を下回っている。年代があがるほど信頼度が高くなるという傾向が見られる。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、社会保険病院で「よく持てた」という回答割合がやや低いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別でみると、東北で「よく持てた」という回答割合がやや低く、「少し持てた」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

カ. 退院後の予定

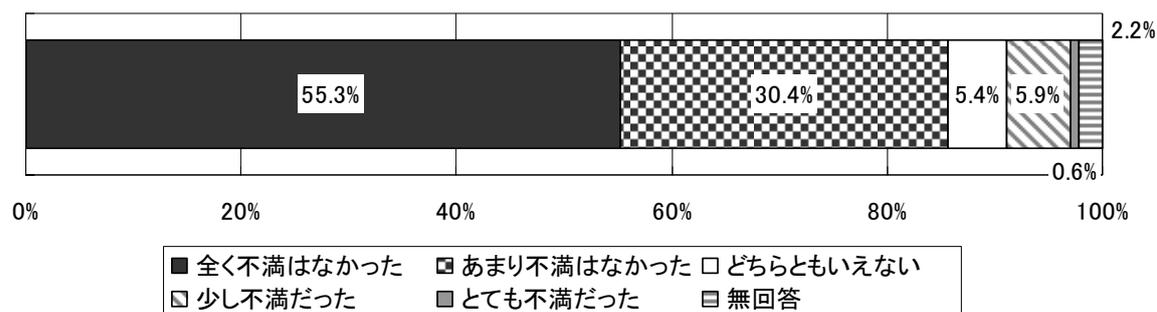
退院後の予定との関連性をみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく持てた	少し持てた	どちらともいえない	あまり持てなかった	まったく持てなかった	無回答
全体		22,641 100.0%	16,772 74.1%	3,464 15.3%	1,307 5.8%	442 2.0%	88 0.4%	568 2.5%
性別	男性	11,622 100.0%	8,657 74.5%	1,815 15.6%	662 5.7%	248 2.1%	54 0.5%	186 1.6%
	女性	10,553 100.0%	7,891 74.8%	1,607 15.2%	628 6.0%	185 1.8%	34 0.3%	208 2.0%
	無回答	466 100.0%	224 48.1%	42 9.0%	17 3.6%	9 1.9%	0 0.0%	174 37.3%
年代別	10歳未満	1,332 100.0%	945 70.9%	247 18.5%	108 8.1%	23 1.7%	2 0.2%	7 0.5%
	10歳代	376 100.0%	268 71.3%	64 17.0%	29 7.7%	8 2.1%	2 0.5%	5 1.3%
	20歳代	1,289 100.0%	862 66.9%	264 20.5%	116 9.0%	34 2.6%	4 0.3%	9 0.7%
	30歳代	1,869 100.0%	1,302 69.7%	344 18.4%	167 8.9%	45 2.4%	4 0.2%	7 0.4%
	40歳代	1,790 100.0%	1,254 70.1%	322 18.0%	152 8.5%	43 2.4%	5 0.3%	14 0.8%
	50歳代	3,689 100.0%	2,691 72.9%	654 17.7%	205 5.6%	72 2.0%	11 0.3%	56 1.5%
	60歳代	4,885 100.0%	3,732 76.4%	712 14.6%	242 5.0%	89 1.8%	29 0.6%	81 1.7%
	70歳代	4,856 100.0%	3,862 79.5%	587 12.1%	169 3.5%	78 1.6%	22 0.5%	138 2.8%
	80歳代	1,653 100.0%	1,348 81.5%	161 9.7%	70 4.2%	29 1.8%	6 0.4%	39 2.4%
	90歳代	202 100.0%	156 77.2%	24 11.9%	10 5.0%	0 0.0%	1 0.5%	11 5.4%
	100歳以上	7 100.0%	6 85.7%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	693 100.0%	346 49.9%	85 12.3%	38 5.5%	21 3.0%	2 0.3%	201 29.0%
	種別	DPC病院	6,791 100.0%	5,074 74.7%	1,055 15.5%	348 5.1%	138 2.0%	30 0.4%
試行的適用病院		11,932 100.0%	8,726 73.1%	1,870 15.7%	768 6.4%	230 1.9%	47 0.4%	291 2.4%
調査協力病院		3,918 100.0%	2,972 75.9%	539 13.8%	191 4.9%	74 1.9%	11 0.3%	131 3.3%
設置主体別	大学病院	6,465 100.0%	4,805 74.3%	1,016 15.7%	337 5.2%	135 2.1%	30 0.5%	142 2.2%
	国立病院	2,547 100.0%	1,972 77.4%	368 14.4%	124 4.9%	29 1.1%	7 0.3%	47 1.8%
	社会保険病院	4,457 100.0%	3,173 71.2%	741 16.6%	324 7.3%	101 2.3%	18 0.4%	100 2.2%
	公的病院	1,929 100.0%	1,493 77.4%	228 11.8%	91 4.7%	39 2.0%	5 0.3%	73 3.8%
	民間病院	7,243 100.0%	5,329 73.6%	1,111 15.3%	431 6.0%	138 1.9%	28 0.4%	206 2.8%
地域別	北海道	1,682 100.0%	1,238 73.6%	260 15.5%	92 5.5%	45 2.7%	8 0.5%	39 2.3%
	東北	1,830 100.0%	1,242 67.9%	334 18.3%	165 9.0%	45 2.5%	5 0.3%	39 2.1%
	関東	3,893 100.0%	2,847 73.1%	627 16.1%	229 5.9%	80 2.1%	20 0.5%	90 2.3%
	東京	1,844 100.0%	1,420 77.0%	270 14.6%	88 4.8%	36 2.0%	6 0.3%	24 1.3%
	中部	3,743 100.0%	2,732 73.0%	592 15.8%	223 6.0%	71 1.9%	11 0.3%	114 3.0%
	関西	3,846 100.0%	2,951 76.7%	530 13.8%	198 5.1%	69 1.8%	9 0.2%	89 2.3%
	中国・四国	2,569 100.0%	1,894 73.7%	398 15.5%	129 5.0%	46 1.8%	10 0.4%	92 3.6%
	九州	3,234 100.0%	2,448 75.7%	453 14.0%	183 5.7%	50 1.5%	19 0.6%	81 2.5%
退院後の予定	自宅	19,515 100.0%	14,698 75.3%	3,002 15.4%	1,088 5.6%	360 1.8%	64 0.3%	303 1.6%
	他病院への転院	1,063 100.0%	745 70.1%	175 16.5%	75 7.1%	34 3.2%	8 0.8%	26 2.4%
	その他	824 100.0%	593 72.0%	130 15.8%	62 7.5%	16 1.9%	5 0.6%	18 2.2%
	無回答	1,239 100.0%	736 59.4%	157 12.7%	82 6.6%	32 2.6%	11 0.9%	221 17.8%

(5) 入院中の療養生活に対する支援への満足度

① 全体傾向

入院中に療養生活に対する支援については、「まったく不満はなかった」という回答割合が55.3%と半数以上であり、「あまり不満はなかった」(30.4%)という回答をあわせると、9割近くの患者は療養生活に対する支援に満足していると回答しており、ここでも高い評価となっている。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、70歳代以上で「まったく不満はなかった」という回答割合が高いのに対し、10歳未満では「少し不満だった」という回答割合がやや高くなっているように、年代があがるほど満足度が高くなるという傾向が見られる。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院や社会保険病院で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別でみると、東北で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや低いものの、回答傾向に大きな差は見られない。

カ. 退院後の予定

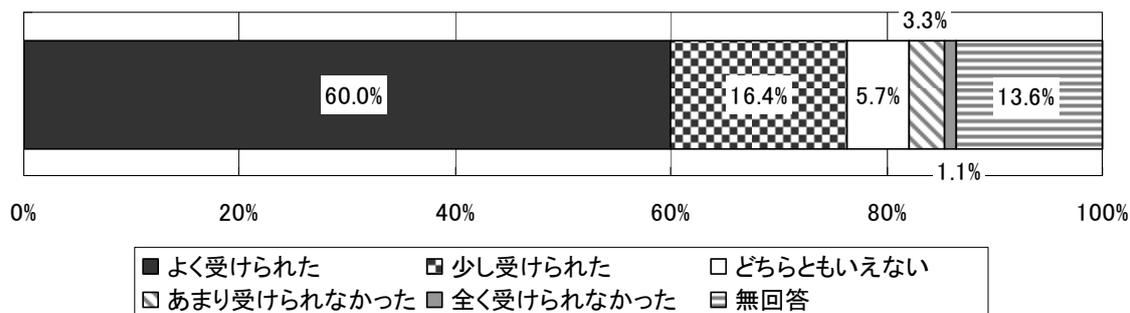
退院後の予定との関連性をみると、自宅療養で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	全く不満はな かった	あまり不満は なかった	どちらともい えない	少し不満だっ た	とても不満 だった	無回答
全 体		22,641 100.0%	12,514 55.3%	6,894 30.4%	1,232 5.4%	1,347 5.9%	147 0.6%	507 2.2%
性別	男性	11,622 100.0%	6,566 56.5%	3,543 30.5%	633 5.4%	648 5.6%	75 0.6%	157 1.4%
	女性	10,553 100.0%	5,772 54.7%	3,273 31.0%	579 5.5%	683 6.5%	64 0.6%	182 1.7%
	無回答	466 100.0%	176 37.8%	78 16.7%	20 4.3%	16 3.4%	8 1.7%	168 36.1%
年代別	10歳未満	1,332 100.0%	548 41.1%	506 38.0%	136 10.2%	118 8.9%	17 1.3%	7 0.5%
	10歳代	376 100.0%	207 55.1%	113 30.1%	31 8.2%	18 4.8%	6 1.6%	1 0.3%
	20歳代	1,289 100.0%	640 49.7%	438 34.0%	108 8.4%	89 6.9%	6 0.5%	8 0.6%
	30歳代	1,869 100.0%	913 48.8%	664 35.5%	145 7.8%	132 7.1%	9 0.5%	6 0.3%
	40歳代	1,790 100.0%	870 48.6%	665 37.2%	119 6.6%	109 6.1%	17 0.9%	10 0.6%
	50歳代	3,689 100.0%	1,909 51.7%	1,265 34.3%	179 4.9%	258 7.0%	30 0.8%	48 1.3%
	60歳代	4,885 100.0%	2,890 59.2%	1,403 28.7%	205 4.2%	291 6.0%	28 0.6%	68 1.4%
	70歳代	4,856 100.0%	3,084 63.5%	1,222 25.2%	192 4.0%	216 4.4%	16 0.3%	126 2.6%
	80歳代	1,653 100.0%	1,054 63.8%	417 25.2%	66 4.0%	72 4.4%	5 0.3%	39 2.4%
	90歳代	202 100.0%	123 60.9%	55 27.2%	8 4.0%	6 3.0%	1 0.5%	9 4.5%
	100歳以上	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	693 100.0%	270 39.0%	145 20.9%	43 6.2%	38 5.5%	12 1.7%	185 26.7%
	種別	DPC病院	6,791 100.0%	3,621 53.3%	2,192 32.3%	343 5.1%	438 6.4%	47 0.7%
試行的適用病院		11,932 100.0%	6,752 56.6%	3,500 29.3%	684 5.7%	665 5.6%	82 0.7%	249 2.1%
調査協力病院		3,918 100.0%	2,141 54.6%	1,202 30.7%	205 5.2%	244 6.2%	18 0.5%	108 2.8%
設置 主体別	大学病院	6,465 100.0%	3,416 52.8%	2,096 32.4%	333 5.2%	427 6.6%	47 0.7%	146 2.3%
	国立病院	2,547 100.0%	1,474 57.9%	764 30.0%	105 4.1%	152 6.0%	6 0.2%	46 1.8%
	社会保険病院	4,457 100.0%	2,515 56.4%	1,310 29.4%	287 6.4%	229 5.1%	30 0.7%	86 1.9%
	公的病院	1,929 100.0%	1,073 55.6%	585 30.3%	93 4.8%	107 5.5%	10 0.5%	61 3.2%
	民間病院	7,243 100.0%	4,036 55.7%	2,139 29.5%	414 5.7%	432 6.0%	54 0.7%	168 2.3%
地域別	北海道	1,682 100.0%	926 55.1%	504 30.0%	93 5.5%	112 6.7%	13 0.8%	34 2.0%
	東北	1,830 100.0%	927 50.7%	600 32.8%	159 8.7%	98 5.4%	12 0.7%	34 1.9%
	関東	3,893 100.0%	2,160 55.5%	1,170 30.1%	216 5.5%	236 6.1%	28 0.7%	83 2.1%
	東京	1,844 100.0%	1,062 57.6%	589 31.9%	72 3.9%	84 4.6%	11 0.6%	26 1.4%
	中部	3,743 100.0%	2,048 54.7%	1,144 30.6%	203 5.4%	218 5.8%	18 0.5%	112 3.0%
	関西	3,846 100.0%	2,167 56.3%	1,165 30.3%	195 5.1%	222 5.8%	22 0.6%	75 2.0%
	中国・四国	2,569 100.0%	1,413 55.0%	789 30.7%	112 4.4%	158 6.2%	19 0.7%	78 3.0%
	九州	3,234 100.0%	1,811 56.0%	933 28.8%	182 5.6%	219 6.8%	24 0.7%	65 2.0%
退 院 後 の 予 定	自宅	19,515 100.0%	10,975 56.2%	6,012 30.8%	1,017 5.2%	1,137 5.8%	118 0.6%	256 1.3%
	他病院への転院	1,063 100.0%	526 49.5%	342 32.2%	86 8.1%	71 6.7%	12 1.1%	26 2.4%
	その他	824 100.0%	430 52.2%	255 30.9%	57 6.9%	61 7.4%	4 0.5%	17 2.1%
	無回答	1,239 100.0%	583 47.1%	285 23.0%	72 5.8%	78 6.3%	13 1.0%	208 16.8%

(6) 退院後の生活についての医師等からの説明や支援の有無

① 全体傾向

退院後の生活についての医師等からの説明や支援については、「よく受けられた」という回答割合が 60.0%と高く、「少し受けられた」(16.4%) という回答をあわせると、8割近くの患者が退院後の生活についての説明等が受けられたとしている。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、30歳代で「よく受けられた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、調査協力病院で「よく受けられた」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、公的病院で「よく受けられた」という回答割合が高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別でみると、東北で「どちらとも言えない」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

カ. 退院後の予定

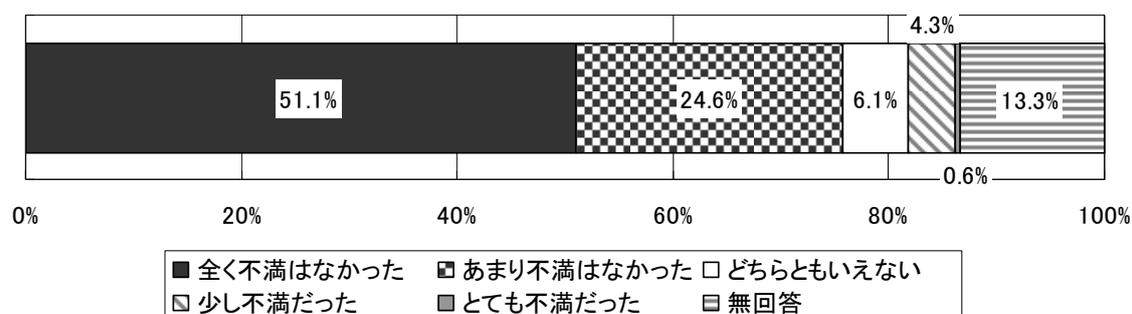
退院後の予定との関連性をみると、他病院へ転院という患者で「よく受けられた」という回答割合がやや低いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく受けられた	少し受けられた	どちらともいえない	あまり受けられなかった	全く受けられなかった	無回答
全体		22,641 100.0%	13,580 60.0%	3,710 16.4%	1,297 5.7%	744 3.3%	241 1.1%	3,069 13.6%
性別	男性	11,622 100.0%	6,907 59.4%	1,997 17.2%	692 6.0%	402 3.5%	129 1.1%	1,495 12.9%
	女性	10,553 100.0%	6,510 61.7%	1,664 15.8%	590 5.6%	334 3.2%	109 1.0%	1,346 12.8%
	無回答	466 100.0%	163 35.0%	49 10.5%	15 3.2%	8 1.7%	3 0.6%	228 48.9%
年代別	10歳未満	1,332 100.0%	828 62.2%	281 21.1%	100 7.5%	42 3.2%	6 0.5%	75 5.6%
	10歳代	376 100.0%	238 63.3%	71 18.9%	25 6.6%	11 2.9%	2 0.5%	29 7.7%
	20歳代	1,289 100.0%	828 64.2%	242 18.8%	117 9.1%	29 2.2%	10 0.8%	63 4.9%
	30歳代	1,869 100.0%	1,233 66.0%	349 18.7%	136 7.3%	65 3.5%	14 0.7%	72 3.9%
	40歳代	1,790 100.0%	1,082 60.4%	379 21.2%	143 8.0%	64 3.6%	16 0.9%	106 5.9%
	50歳代	3,689 100.0%	2,173 58.9%	721 19.5%	220 6.0%	139 3.8%	45 1.2%	391 10.6%
	60歳代	4,885 100.0%	2,929 60.0%	722 14.8%	234 4.8%	160 3.3%	56 1.1%	784 16.0%
	70歳代	4,856 100.0%	2,952 60.8%	612 12.6%	200 4.1%	129 2.7%	54 1.1%	909 18.7%
	80歳代	1,653 100.0%	934 56.5%	211 12.8%	82 5.0%	78 4.7%	23 1.4%	325 19.7%
	90歳代	202 100.0%	108 53.5%	34 16.8%	10 5.0%	6 3.0%	5 2.5%	39 19.3%
	100歳以上	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%
	無回答	693 100.0%	272 39.2%	86 12.4%	30 4.3%	21 3.0%	10 1.4%	274 39.5%
	種別	DPC病院	6,791 100.0%	4,005 59.0%	1,157 17.0%	338 5.0%	212 3.1%	75 1.1%
試行的適用病院		11,932 100.0%	7,004 58.7%	1,861 15.6%	707 5.9%	390 3.3%	123 1.0%	1,847 15.5%
調査協力病院		3,918 100.0%	2,571 65.6%	692 17.7%	252 6.4%	142 3.6%	43 1.1%	218 5.6%
設置主体別	大学病院	6,465 100.0%	3,795 58.7%	1,099 17.0%	324 5.0%	206 3.2%	72 1.1%	969 15.0%
	国立病院	2,547 100.0%	1,516 59.5%	443 17.4%	140 5.5%	98 3.8%	23 0.9%	327 12.8%
	社会保険病院	4,457 100.0%	2,564 57.5%	707 15.9%	321 7.2%	148 3.3%	50 1.1%	667 15.0%
	公的病院	1,929 100.0%	1,284 66.6%	303 15.7%	111 5.8%	74 3.8%	16 0.8%	141 7.3%
	民間病院	7,243 100.0%	4,421 61.0%	1,158 16.0%	401 5.5%	218 3.0%	80 1.1%	965 13.3%
地域別	北海道	1,682 100.0%	1,014 60.3%	256 15.2%	101 6.0%	55 3.3%	23 1.4%	233 13.9%
	東北	1,830 100.0%	1,070 58.5%	311 17.0%	155 8.5%	76 4.2%	14 0.8%	204 11.1%
	関東	3,893 100.0%	2,313 59.4%	662 17.0%	208 5.3%	135 3.5%	54 1.4%	521 13.4%
	東京	1,844 100.0%	1,166 63.2%	303 16.4%	81 4.4%	46 2.5%	19 1.0%	229 12.4%
	中部	3,743 100.0%	2,233 59.7%	643 17.2%	222 5.9%	110 2.9%	43 1.1%	492 13.1%
	関西	3,846 100.0%	2,286 59.4%	640 16.6%	210 5.5%	153 4.0%	32 0.8%	525 13.7%
	中国・四国	2,569 100.0%	1,470 57.2%	421 16.4%	148 5.8%	76 3.0%	28 1.1%	426 16.6%
	九州	3,234 100.0%	2,028 62.7%	474 14.7%	172 5.3%	93 2.9%	28 0.9%	439 13.6%
退院後の予定	自宅	19,515 100.0%	11,997 61.5%	3,284 16.8%	1,090 5.6%	619 3.2%	202 1.0%	2,323 11.9%
	他病院への転院	1,063 100.0%	529 49.8%	175 16.5%	95 8.9%	52 4.9%	21 2.0%	191 18.0%
	その他	824 100.0%	511 62.0%	119 14.4%	46 5.6%	27 3.3%	8 1.0%	113 13.7%
	無回答	1,239 100.0%	543 43.8%	132 10.7%	66 5.3%	46 3.7%	10 0.8%	442 35.7%

(7) 入院目的の達成状況

① 全体傾向

入院目的の達成状況については、「まったく不満はなかった」(51.1%)と「あまり不満はなかった」(24.6%)をあわせると、8割近くの患者が不満はなかったと回答している。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、40歳代と90歳代で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや低く、40歳代では「あまり不満はなかった」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、大学病院と公的病院で「まったく不満はなかった」という回答割合がやや低くなっているが、回答傾向にほとんど差は見られない。

オ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

カ. 退院後の予定

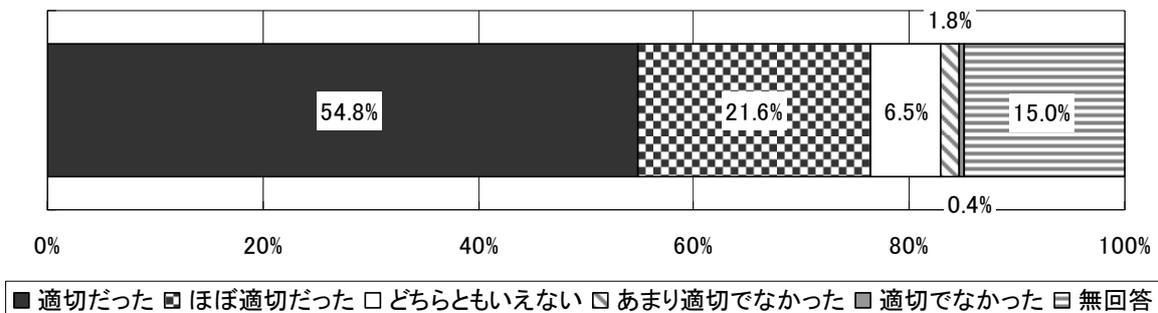
退院後の予定との関連性をみると、他病院へ転院という患者で「まったく不満はなかった」という回答割合が低く、「少し不満だった」、「とても不満だった」という回答割合がやや高くなっている。

		サンプル数	全く不満はな かった	あまり不満は なかった	どちらともい えない	少し不満だっ た	とても不満 だった	無回答
全体		22,641 100.0%	11,562 51.1%	5,570 24.6%	1,389 6.1%	972 4.3%	136 0.6%	3,012 13.3%
性別	男性	11,622 100.0%	6,021 51.8%	2,832 24.4%	707 6.1%	491 4.2%	81 0.7%	1,490 12.8%
	女性	10,553 100.0%	5,400 51.2%	2,667 25.3%	661 6.3%	469 4.4%	51 0.5%	1,305 12.4%
	無回答	466 100.0%	141 30.3%	71 15.2%	21 4.5%	12 2.6%	4 0.9%	217 46.6%
年代別	10歳未満	1,332 100.0%	676 50.8%	440 33.0%	98 7.4%	46 3.5%	6 0.5%	66 5.0%
	10歳代	376 100.0%	198 52.7%	107 28.5%	28 7.4%	13 3.5%	3 0.8%	27 7.2%
	20歳代	1,289 100.0%	684 53.1%	348 27.0%	113 8.8%	75 5.8%	8 0.6%	61 4.7%
	30歳代	1,869 100.0%	998 53.4%	536 28.7%	162 8.7%	95 5.1%	15 0.8%	63 3.4%
	40歳代	1,790 100.0%	857 47.9%	550 30.7%	158 8.8%	94 5.3%	16 0.9%	115 6.4%
	50歳代	3,689 100.0%	1,815 49.2%	1,016 27.5%	247 6.7%	191 5.2%	33 0.9%	387 10.5%
	60歳代	4,885 100.0%	2,503 51.2%	1,097 22.5%	265 5.4%	201 4.1%	31 0.6%	788 16.1%
	70歳代	4,856 100.0%	2,614 53.8%	1,014 20.9%	187 3.9%	164 3.4%	14 0.3%	863 17.8%
	80歳代	1,653 100.0%	888 53.7%	301 18.2%	74 4.5%	56 3.4%	3 0.2%	331 20.0%
	90歳代	202 100.0%	98 48.5%	46 22.8%	11 5.4%	5 2.5%	0 0.0%	42 20.8%
	100歳以上	7 100.0%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%
	無回答	693 100.0%	227 32.8%	114 16.5%	46 6.6%	32 4.6%	7 1.0%	267 38.5%
	種別	DPC病院	6,791 100.0%	3,296 48.5%	1,801 26.5%	451 6.6%	339 5.0%	55 0.8%
試行的適用病院		11,932 100.0%	6,297 52.8%	2,834 23.8%	734 6.2%	461 3.9%	63 0.5%	1,543 12.9%
調査協力病院		3,918 100.0%	1,969 50.3%	935 23.9%	204 5.2%	172 4.4%	18 0.5%	620 15.8%
設置 主体別	大学病院	6,465 100.0%	3,126 48.4%	1,703 26.3%	435 6.7%	326 5.0%	54 0.8%	821 12.7%
	国立病院	2,547 100.0%	1,340 52.6%	635 24.9%	146 5.7%	116 4.6%	10 0.4%	300 11.8%
	社会保険病院	4,457 100.0%	2,318 52.0%	1,070 24.0%	311 7.0%	168 3.8%	24 0.5%	566 12.7%
	公的病院	1,929 100.0%	961 49.8%	423 21.9%	104 5.4%	78 4.0%	7 0.4%	356 18.5%
	民間病院	7,243 100.0%	3,817 52.7%	1,739 24.0%	393 5.4%	284 3.9%	41 0.6%	969 13.4%
地域別	北海道	1,682 100.0%	840 49.9%	438 26.0%	117 7.0%	68 4.0%	16 1.0%	203 12.1%
	東北	1,830 100.0%	902 49.3%	503 27.5%	167 9.1%	78 4.3%	9 0.5%	171 9.3%
	関東	3,893 100.0%	2,062 53.0%	928 23.8%	229 5.9%	158 4.1%	26 0.7%	490 12.6%
	東京	1,844 100.0%	1,006 54.6%	464 25.2%	96 5.2%	81 4.4%	7 0.4%	190 10.3%
	中部	3,743 100.0%	1,896 50.7%	900 24.0%	215 5.7%	175 4.7%	21 0.6%	536 14.3%
	関西	3,846 100.0%	1,932 50.2%	932 24.2%	239 6.2%	146 3.8%	26 0.7%	571 14.8%
	中国・四国	2,569 100.0%	1,257 48.9%	635 24.7%	136 5.3%	128 5.0%	15 0.6%	398 15.5%
	九州	3,234 100.0%	1,667 51.5%	770 23.8%	190 5.9%	138 4.3%	16 0.5%	453 14.0%
退院 後の 予定	自宅	19,515 100.0%	10,281 52.7%	4,899 25.1%	1,154 5.9%	786 4.0%	104 0.5%	2,291 11.7%
	他病院への転院	1,063 100.0%	411 38.7%	274 25.8%	101 9.5%	82 7.7%	20 1.9%	175 16.5%
	その他	824 100.0%	398 48.3%	190 23.1%	64 7.8%	44 5.3%	8 1.0%	120 14.6%
	無回答	1,239 100.0%	472 38.1%	207 16.7%	70 5.6%	60 4.8%	4 0.3%	426 34.4%

(8) 退院の時期についての評価

① 全体傾向

退院の時期については、「適切だった」(54.8%)と「ほぼ適切だった」(21.6%)をあわせると、8割近くの患者が適切であると回答しており、高く評価している。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、20歳代、30歳代で「適切だった」という回答割合がやや高いのに対し、60歳代や80歳代以上の回答割合がやや低いが、これらの年代では無回答の割合が高くなっており、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院で「適切だった」という回答割合が高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 地域別

地域別でみると、東北で「適切だった」という回答割合がやや低く、「ほぼ適切だった」という回答割合がやや高くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

カ. 退院後の予定

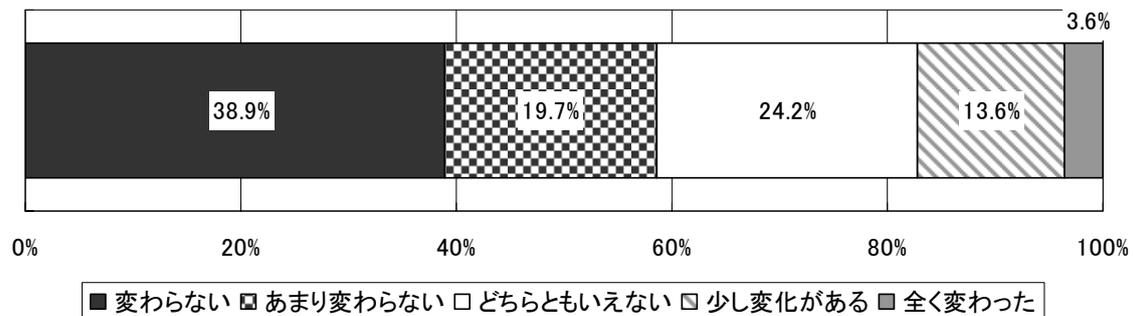
退院後の予定との関連性をみると、他病院へ転院という患者で「適切だった」という回答割合が低く、「どちらとも言えない」、「あまり適切でなかった」という回答割合がやや高い。

		サンプル数	適切だった	ほぼ適切だった	どちらともいえない	あまり適切でなかった	適切でなかった	無回答
全体		22,641 100.0%	12,397 54.8%	4,891 21.6%	1,479 6.5%	405 1.8%	83 0.4%	3,386 15.0%
性別	男性	11,622 100.0%	6,418 55.2%	2,538 21.8%	768 6.6%	202 1.7%	47 0.4%	1,649 14.2%
	女性	10,553 100.0%	5,814 55.1%	2,297 21.8%	696 6.6%	198 1.9%	36 0.3%	1,512 14.3%
	無回答	466 100.0%	165 35.4%	56 12.0%	15 3.2%	5 1.1%	0 0.0%	225 48.3%
年代別	10歳未満	1,332 100.0%	813 61.0%	341 25.6%	85 6.4%	13 1.0%	1 0.1%	79 5.9%
	10歳代	376 100.0%	209 55.6%	77 20.5%	50 13.3%	10 2.7%	0 0.0%	30 8.0%
	20歳代	1,289 100.0%	788 61.1%	299 23.2%	103 8.0%	24 1.9%	3 0.2%	72 5.6%
	30歳代	1,869 100.0%	1,174 62.8%	426 22.8%	136 7.3%	34 1.8%	16 0.9%	83 4.4%
	40歳代	1,790 100.0%	976 54.5%	494 27.6%	152 8.5%	40 2.2%	7 0.4%	121 6.8%
	50歳代	3,689 100.0%	1,970 53.4%	884 24.0%	297 8.1%	82 2.2%	12 0.3%	444 12.0%
	60歳代	4,885 100.0%	2,580 52.8%	1,035 21.2%	274 5.6%	77 1.6%	21 0.4%	898 18.4%
	70歳代	4,856 100.0%	2,660 54.8%	894 18.4%	239 4.9%	76 1.6%	10 0.2%	977 20.1%
	80歳代	1,653 100.0%	872 52.8%	309 18.7%	84 5.1%	34 2.1%	10 0.6%	344 20.8%
	90歳代	202 100.0%	100 49.5%	37 18.3%	16 7.9%	4 2.0%	1 0.5%	44 21.8%
	100歳以上	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%
	無回答	693 100.0%	252 36.4%	93 13.4%	43 6.2%	11 1.6%	2 0.3%	292 42.1%
	種別	DPC病院	6,791 100.0%	3,588 52.8%	1,578 23.2%	475 7.0%	170 2.5%	32 0.5%
試行的適用病院		11,932 100.0%	6,692 56.1%	2,451 20.5%	803 6.7%	182 1.5%	42 0.4%	1,762 14.8%
調査協力病院		3,918 100.0%	2,117 54.0%	862 22.0%	201 5.1%	53 1.4%	9 0.2%	676 17.3%
設置主体別	大学病院	6,465 100.0%	3,413 52.8%	1,495 23.1%	456 7.1%	157 2.4%	31 0.5%	913 14.1%
	国立病院	2,547 100.0%	1,459 57.3%	544 21.4%	134 5.3%	58 2.3%	9 0.4%	343 13.5%
	社会保険病院	4,457 100.0%	2,483 55.7%	943 21.2%	321 7.2%	54 1.2%	16 0.4%	640 14.4%
	公的病院	1,929 100.0%	1,006 52.2%	408 21.2%	113 5.9%	21 1.1%	4 0.2%	377 19.5%
	民間病院	7,243 100.0%	4,036 55.7%	1,501 20.7%	455 6.3%	115 1.6%	23 0.3%	1,113 15.4%
地域別	北海道	1,682 100.0%	936 55.6%	354 21.0%	123 7.3%	24 1.4%	5 0.3%	240 14.3%
	東北	1,830 100.0%	964 52.7%	468 25.6%	161 8.8%	35 1.9%	7 0.4%	195 10.7%
	関東	3,893 100.0%	2,178 55.9%	831 21.3%	239 6.1%	71 1.8%	16 0.4%	558 14.3%
	東京	1,844 100.0%	1,052 57.0%	417 22.6%	111 6.0%	36 2.0%	5 0.3%	223 12.1%
	中部	3,743 100.0%	2,052 54.8%	806 21.5%	212 5.7%	69 1.8%	13 0.3%	591 15.8%
	関西	3,846 100.0%	2,083 54.2%	801 20.8%	258 6.7%	56 1.5%	13 0.3%	635 16.5%
	中国・四国	2,569 100.0%	1,363 53.1%	541 21.1%	166 6.5%	46 1.8%	12 0.5%	441 17.2%
	九州	3,234 100.0%	1,769 54.7%	673 20.8%	209 6.5%	68 2.1%	12 0.4%	503 15.6%
退院後の予定	自宅	19,515 100.0%	11,053 56.6%	4,287 22.0%	1,218 6.2%	322 1.7%	60 0.3%	2,575 13.2%
	他病院への転院	1,063 100.0%	418 39.3%	246 23.1%	135 12.7%	50 4.7%	14 1.3%	200 18.8%
	その他	824 100.0%	433 52.5%	169 20.5%	62 7.5%	13 1.6%	7 0.8%	140 17.0%
	無回答	1,239 100.0%	493 39.8%	189 15.3%	64 5.2%	20 1.6%	2 0.2%	471 38.0%

(9) DPC導入後の医療内容や入院期間の変化（1年以上前に入院経験のある患者のみ回答）

① 全体傾向

DPC導入後の医療内容や入院期間については、「変わらない」という回答が38.9%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」（24.2%）、「あまり変わらない」（19.7%）の順となっており、8割以上の患者はDPC導入による医療内容等の変化を感じていない。



② 属性によるクロス分析

ア. 性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 年代別

年代別でみると、70歳代、80歳代で「変わらない」という回答割合が高いのに対し、50歳代、60歳代で「少し変化がある」という回答割合が高く、年代との間に弱い相関が見られる。

ウ. 種別

DPCの導入状況でみると、調査協力病院で「変わらない」、「少し変化がある」という回答割合が高いのに対し、DPC病院および試行的適用病院では「どちらとも言えない」という回答割合が高い。DPC病院および試行的適用病院と、調査協力病院の間での回答傾向に違いが見られ、DPCの導入状況と医療内容等の変化に対する認識の間には相関が見られる。

（分割表分析係数=0.2240、P値<0.01）

エ. 設置主体別

設置主体別でみると、公的病院で「変わらない」、「少し変化がある」という回答割合が高く、国立病院では「少し変化がある」という回答割合が高くなっている。設置主体と医療内容等の変化に対する認識の間には弱い相関が見られる。

オ. 地域別

地域別でみると、関西で「変わらない」という回答割合がやや高く、東北、中国・

四国で「あまり変わらない」という回答割合が低くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

カ. 退院後の予定

退院後の予定との関連性をみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	変わらない	あまり変わらない	どちらともいえない	少し変化がある	全く変わった
全体		8,221 100.0%	3,198 38.9%	1,620 19.7%	1,988 24.2%	1,120 13.6%	295 3.6%
性別	男性	4,514 100.0%	1,749 38.7%	909 20.1%	1,085 24.0%	604 13.4%	167 3.7%
	女性	3,598 100.0%	1,405 39.0%	688 19.1%	884 24.6%	498 13.8%	123 3.4%
	無回答	109 100.0%	44 40.4%	23 21.1%	19 17.4%	18 16.5%	5 4.6%
年代別	10歳未満	451 100.0%	160 35.5%	99 22.0%	133 29.5%	47 10.4%	12 2.7%
	10歳代	115 100.0%	36 31.3%	10 8.7%	48 41.7%	17 14.8%	4 3.5%
	20歳代	402 100.0%	131 32.6%	66 16.4%	158 39.3%	38 9.5%	9 2.2%
	30歳代	673 100.0%	230 34.2%	93 13.8%	233 34.6%	92 13.7%	25 3.7%
	40歳代	591 100.0%	176 29.8%	126 21.3%	196 33.2%	70 11.8%	23 3.9%
	50歳代	1,284 100.0%	442 34.4%	243 18.9%	309 24.1%	234 18.2%	56 4.4%
	60歳代	1,746 100.0%	688 39.4%	349 20.0%	374 21.4%	260 14.9%	75 4.3%
	70歳代	1,949 100.0%	900 46.2%	413 21.2%	343 17.6%	241 12.4%	52 2.7%
	80歳代	723 100.0%	316 43.7%	157 21.7%	144 19.9%	80 11.1%	26 3.6%
	90歳代	97 100.0%	41 42.3%	26 26.8%	17 17.5%	10 10.3%	3 3.1%
	100歳以上	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	186 100.0%	78 41.9%	36 19.4%	31 16.7%	31 16.7%	10 5.4%
	種別	DPC病院	2,251 100.0%	799 35.5%	438 19.5%	653 29.0%	292 13.0%
試行的適用病院		4,448 100.0%	1,686 37.9%	918 20.6%	1,230 27.7%	499 11.2%	115 2.6%
調査協力病院		1,522 100.0%	713 46.8%	264 17.3%	105 6.9%	329 21.6%	111 7.3%
設置主体別	大学病院	2,158 100.0%	760 35.2%	419 19.4%	633 29.3%	279 12.9%	67 3.1%
	国立病院	923 100.0%	333 36.1%	169 18.3%	212 23.0%	165 17.9%	44 4.8%
	社会保険病院	1,732 100.0%	642 37.1%	388 22.4%	474 27.4%	183 10.6%	45 2.6%
	公的病院	710 100.0%	336 47.3%	141 19.9%	67 9.4%	142 20.0%	24 3.4%
	民間病院	2,698 100.0%	1,127 41.8%	503 18.6%	602 22.3%	351 13.0%	115 4.3%
地域別	北海道	666 100.0%	257 38.6%	127 19.1%	178 26.7%	82 12.3%	22 3.3%
	東北	772 100.0%	259 33.5%	188 24.4%	216 28.0%	90 11.7%	19 2.5%
	関東	1,413 100.0%	548 38.8%	262 18.5%	343 24.3%	202 14.3%	58 4.1%
	東京	629 100.0%	240 38.2%	123 19.6%	174 27.7%	74 11.8%	18 2.9%
	中部	1,395 100.0%	540 38.7%	246 17.6%	307 22.0%	222 15.9%	80 5.7%
	関西	1,357 100.0%	586 43.2%	258 19.0%	291 21.4%	180 13.3%	42 3.1%
	中国・四国	844 100.0%	308 36.5%	185 21.9%	208 24.6%	113 13.4%	30 3.6%
	九州	1,145 100.0%	460 40.2%	231 20.2%	271 23.7%	157 13.7%	26 2.3%
	退院後の予定	7,139 100.0%	2,775 38.9%	1,428 20.0%	1,716 24.0%	971 13.6%	249 3.5%
他病院への転院	398 100.0%	144 36.2%	72 18.1%	111 27.9%	50 12.6%	21 5.3%	
その他	277 100.0%	104 37.5%	48 17.3%	77 27.8%	37 13.4%	11 4.0%	
無回答	407 100.0%	175 43.0%	72 17.7%	84 20.6%	62 15.2%	14 3.4%	

3 前年度調査結果との比較分析

3-1. 比較分析の方法

(1) 比較対象施設

平成16年度において、本調査と同様のアンケート調査（平成17年度調査では一部質問を追加）を実施していることから、平成16年度、平成17年度の2回ともアンケート調査を実施した施設を対象に、調査結果を比較分析した。

比較対象とした施設は表Ⅲ-1に示した14施設である。

表Ⅲ-1 比較対象病院一覧

施設名	区分（設置主体別）
北海道大学病院	大学病院（国公立）
岩手医科大学附属病院	大学病院（私立）
埼玉医科大学病院	大学病院（私立）
昭和大学病院	大学病院（私立）
金沢医科大学病院	大学病院（私立）
名古屋大学医学部附属病院	大学病院（国公立）
大阪大学医学部附属病院	大学病院（国公立）
九州大学病院	大学病院（国公立）
鹿児島大学病院	大学病院（国公立）
宮城社会保険病院	社会保険病院
岐阜社会保険病院	社会保険病院
社会保険中京病院	社会保険病院
健康保険諫早総合病院	社会保険病院
健康保険八代総合病院	社会保険病院

(2) 分析の方法

調査結果の分析は、医療達成度調査については、全体傾向とあわせて、職制別（医師、看護師）、設置主体別（国公立大学、私立大学、社会保険病院）ごとに、年度間での調査結果の違いを分析した。

また、患者満足度調査については、年度間での全体傾向の違いを分析した。

分析方法は χ 自乗検定を用いた。

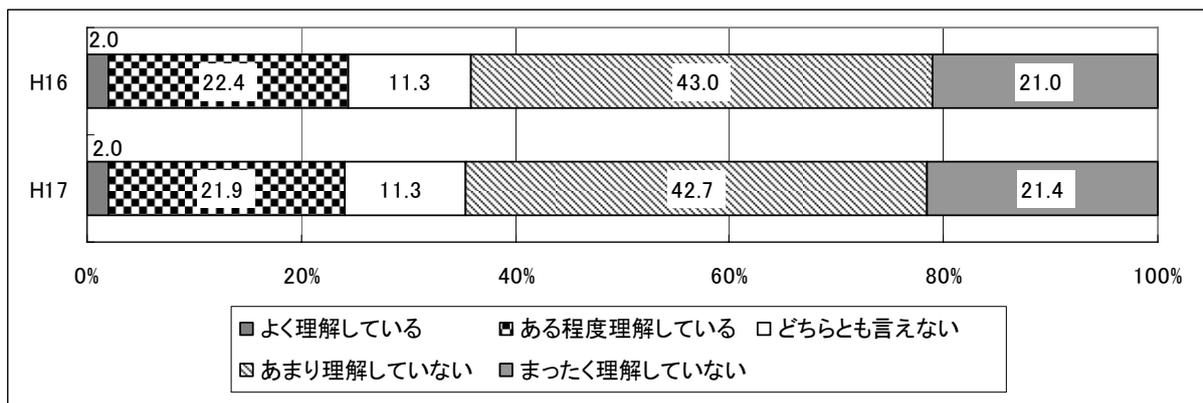
分割表分析係数により相関の強さを判定するとともに、（分割表分析係数が大きいほど相関が強い）分割表分析係数が大きい項目については危険率5%で検定した。（ $P < 0.05$ で有意。）

3-2. 比較分析の結果

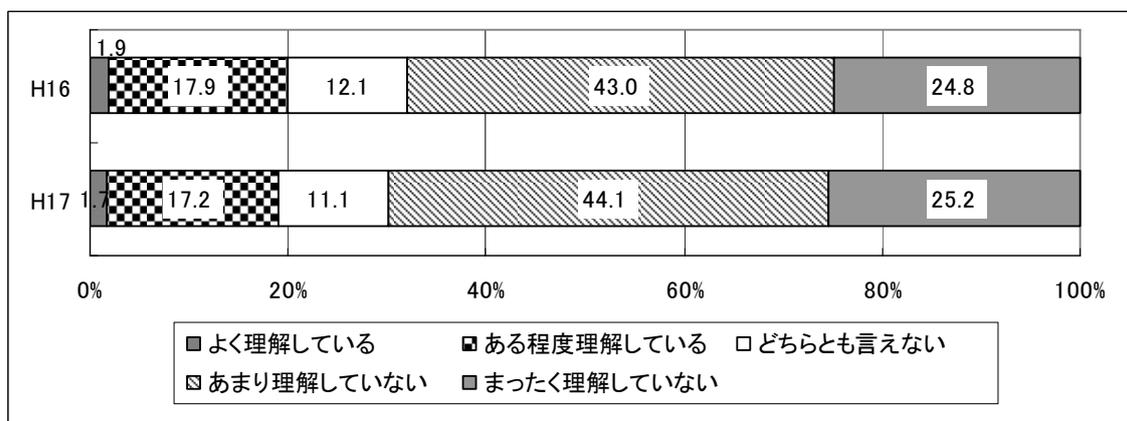
(1) 医療達成度調査

平成16年度の調査結果と平成17年度の調査結果の間では、すべての質問において回答傾向に大きな差は見られなかった。

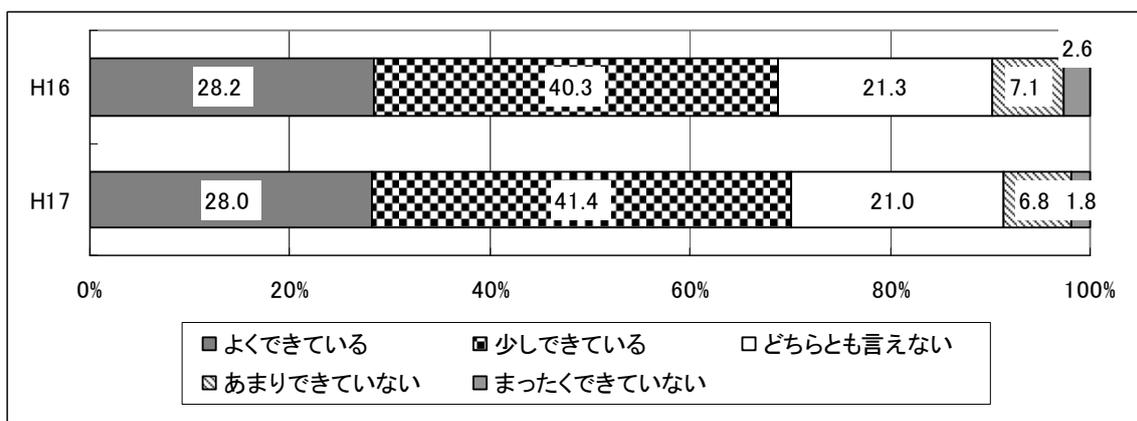
グラフⅢ-1 DPCの診断群分類についての理解度



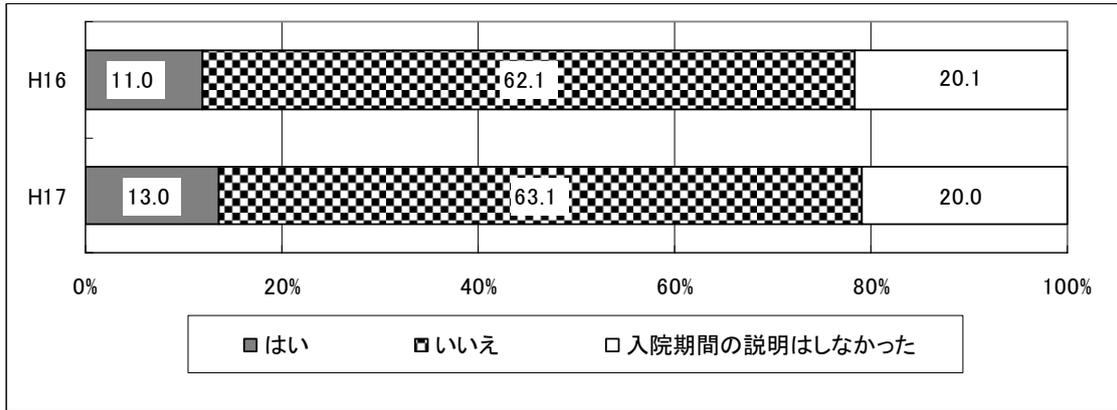
グラフⅢ-2 DPCの包括の範囲についての理解度



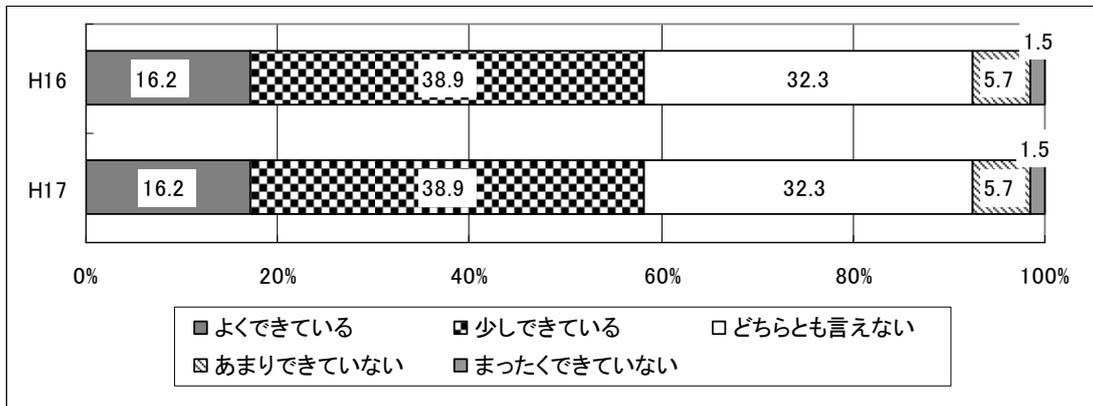
グラフⅢ-3 入院時の患者への説明状況



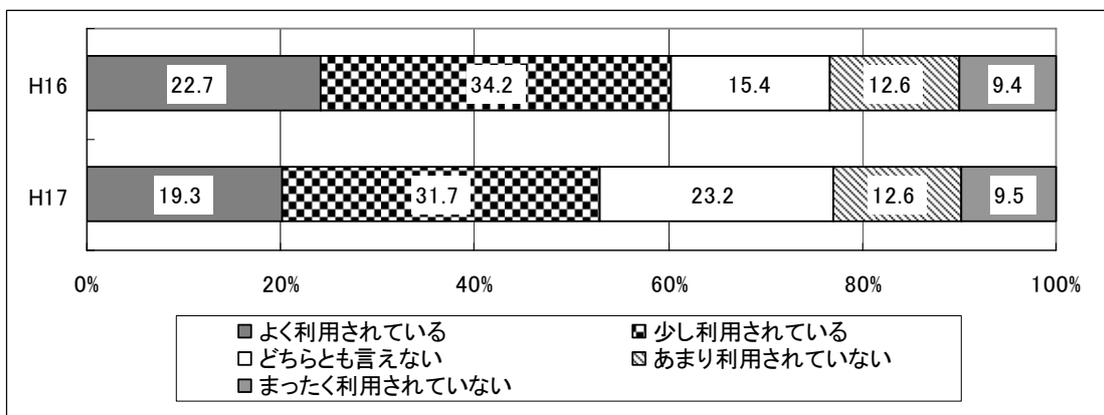
グラフⅢ－４ 診断群ごとの平均在院日数の利用状況



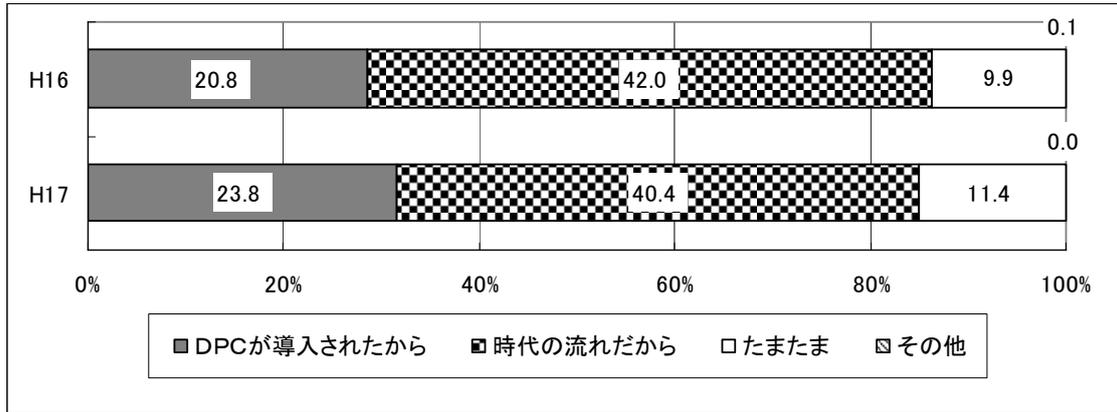
グラフⅢ－５ 入院中の患者への計画的な医療内容の提供



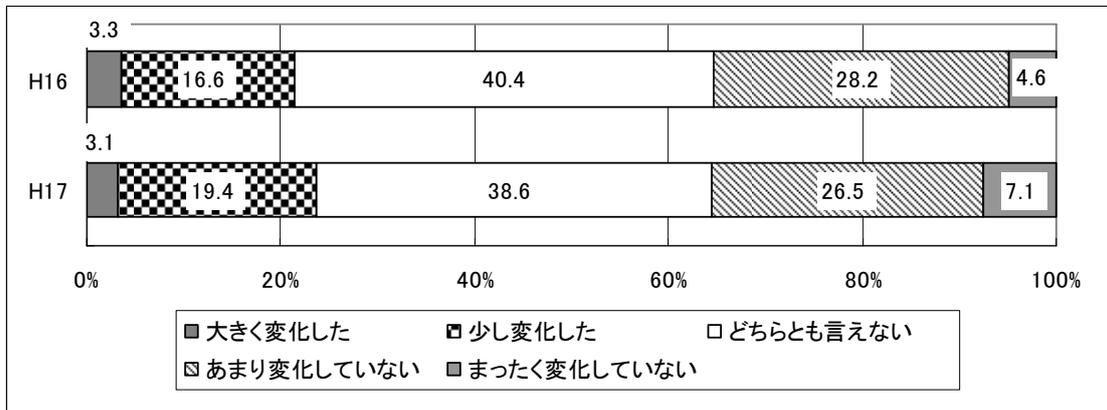
グラフⅢ－６ クリティカルパスの利用状況



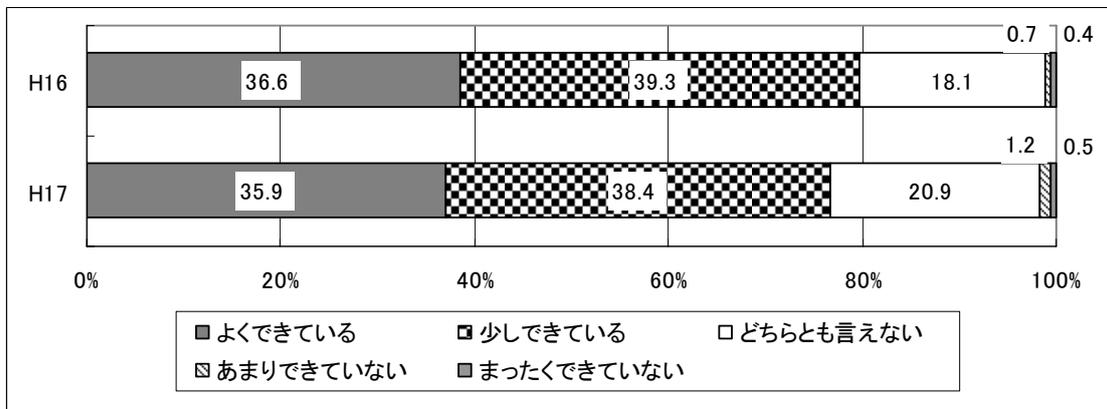
グラフⅢ－７ クリティカルパスの利用が変化している理由



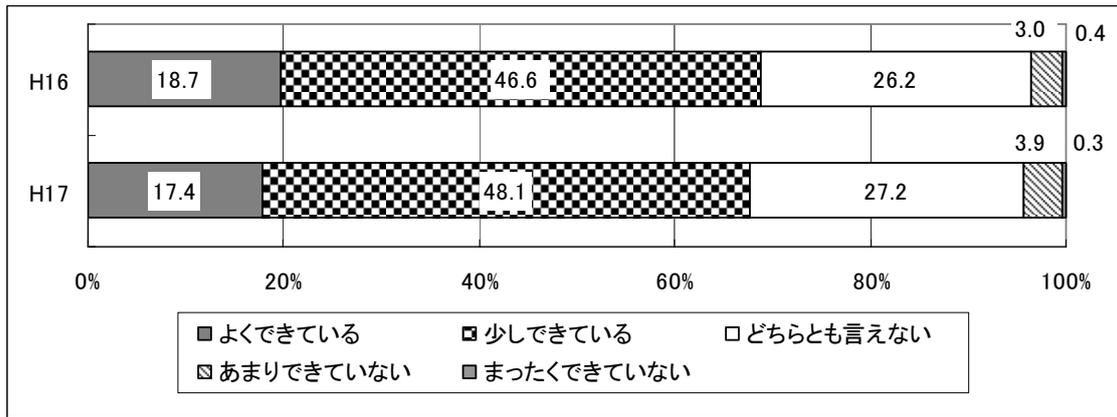
グラフⅢ－８ DPC導入後の医療内容の変化



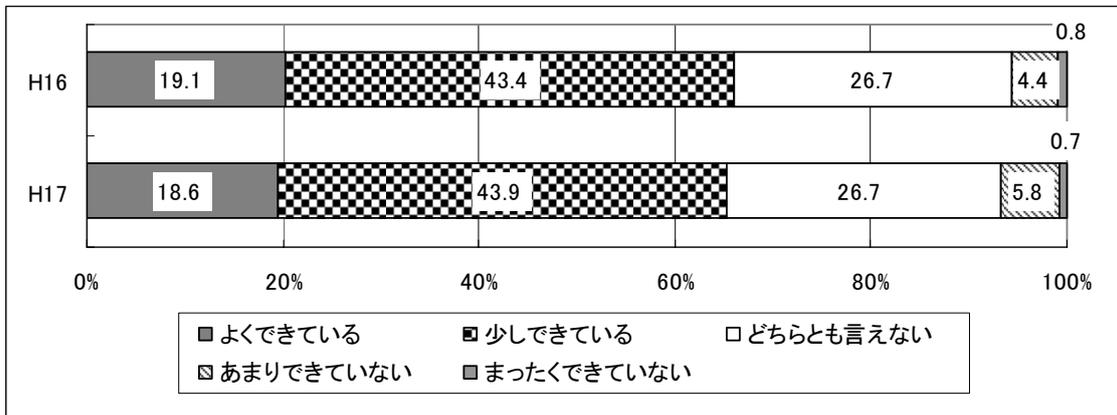
グラフⅢ－９ 患者からの信頼感の醸成（医師のみ回答）



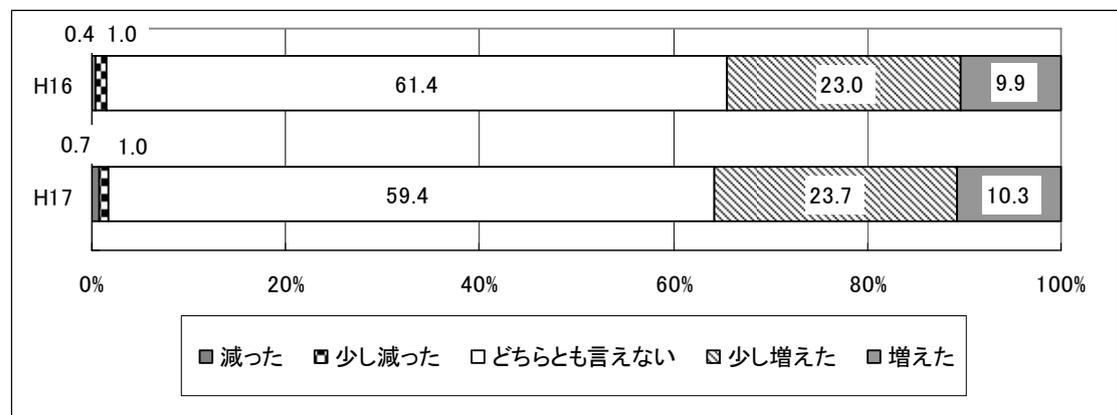
グラフⅢ-10 看護の方法や療養生活支援の遂行状況（看護師のみ回答）



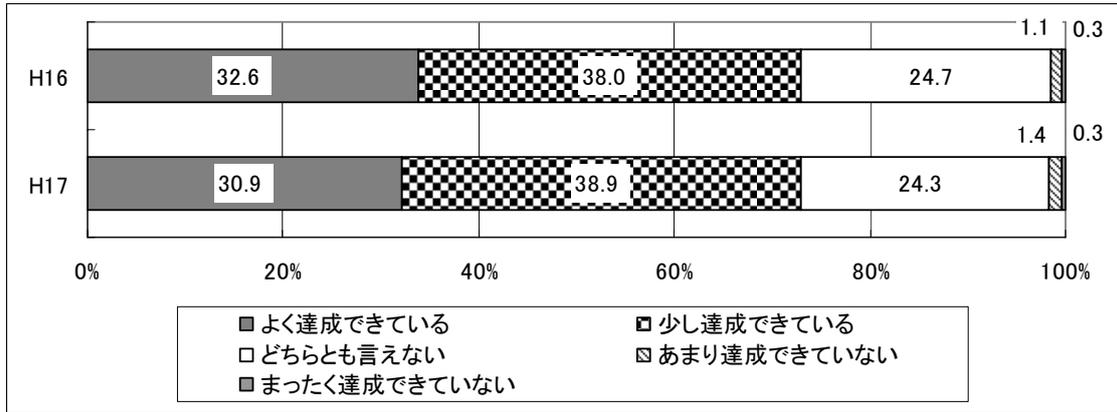
グラフⅢ-11 退院に当たっての患者への説明や退院支援の提供



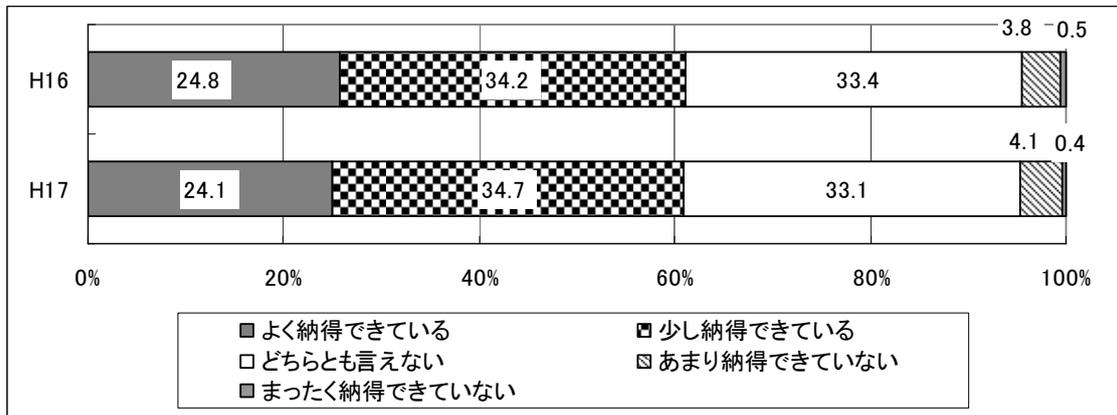
グラフⅢ-12 入院期間が遷延する場合紹介転院を勧める機会の増減



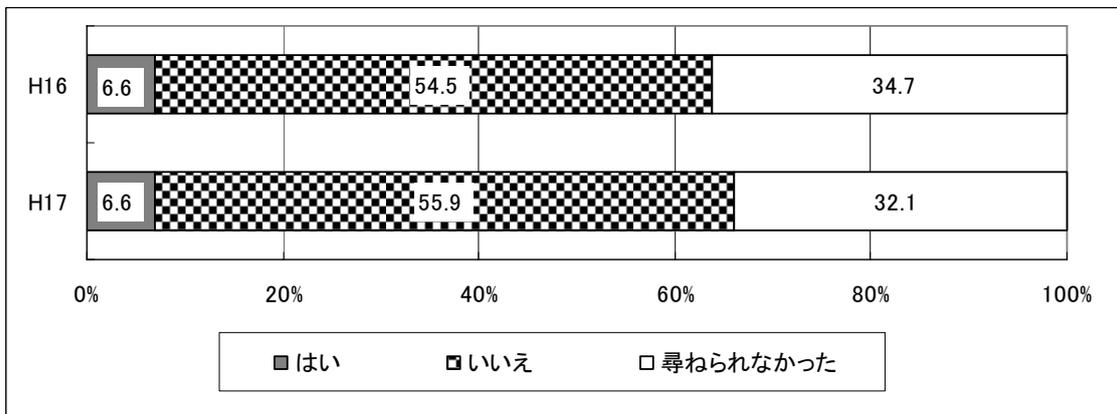
グラフⅢ-13 退院に当たっての入院目的の達成状況



グラフⅢ-14 医療従事者として退院に対する納得度



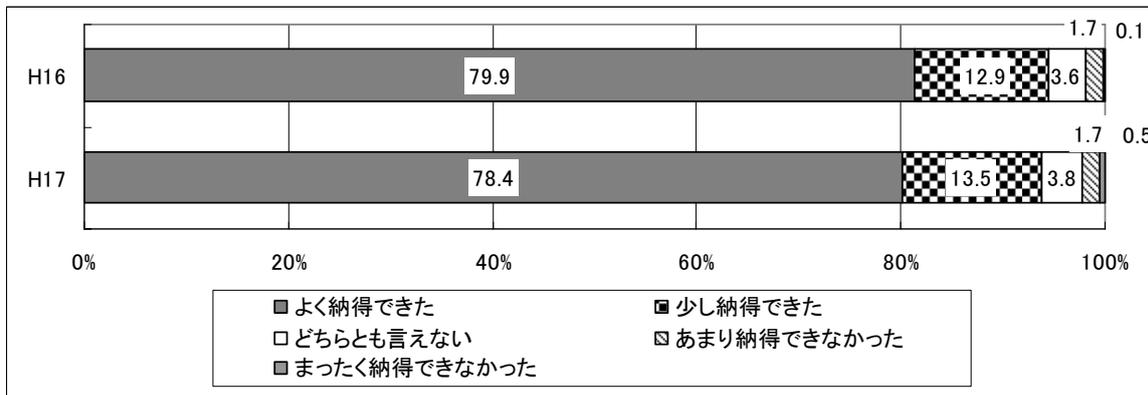
グラフⅢ-15 入院診療でかかる費用についての説明の有無



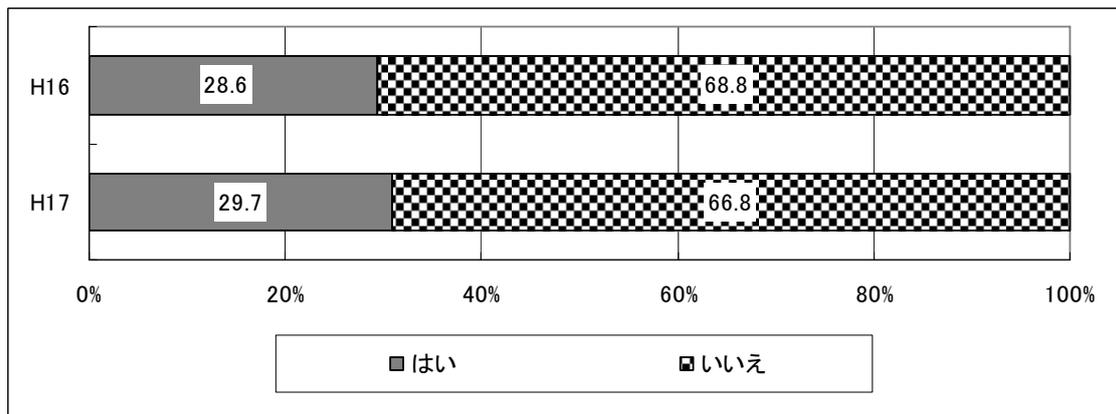
(2) 患者満足度調査

平成 16 年度の調査結果と平成 17 年度の調査結果の間では、すべての質問において回答傾向に大きな差は見られなかった。

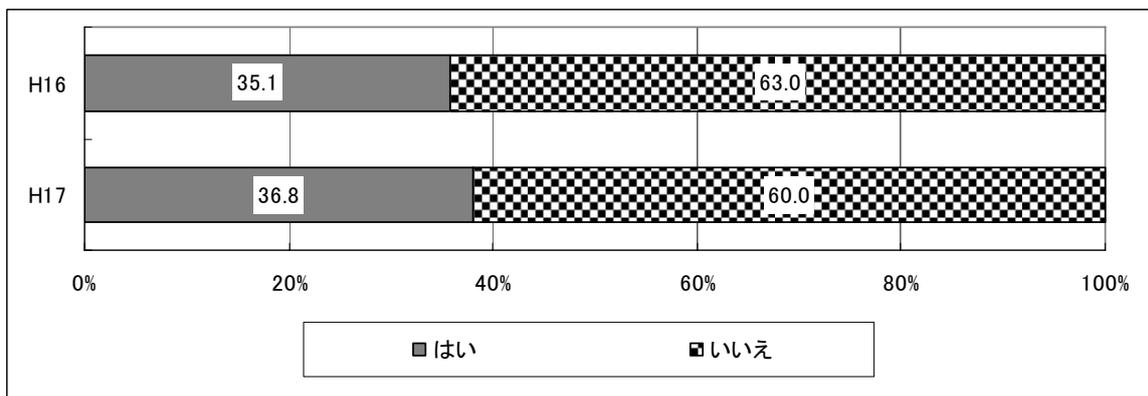
グラフⅢ-16 入院前の説明に対する納得度



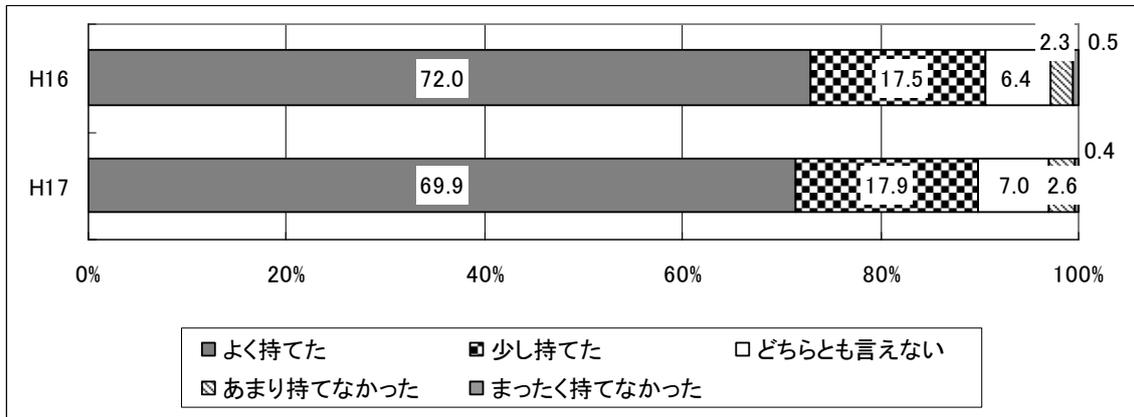
グラフⅢ-17 入院前の費用に関する説明の有無



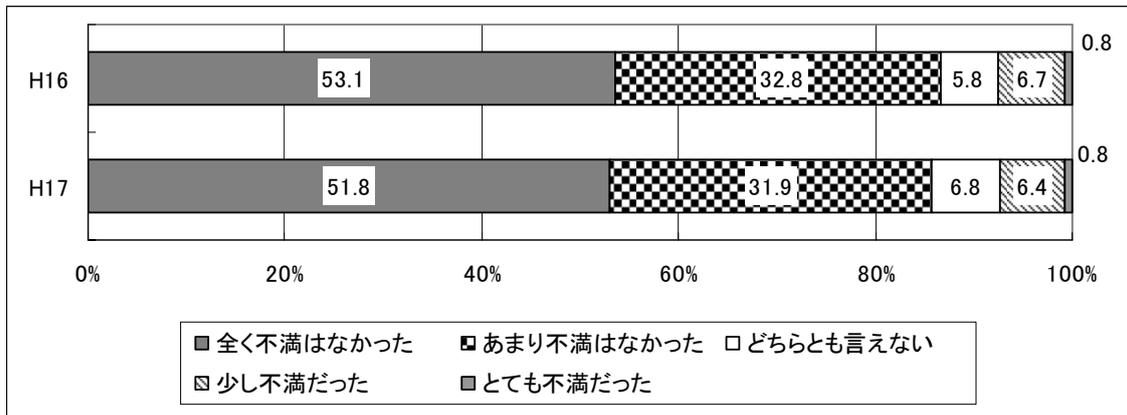
グラフⅢ-18 入院医療費の算定方法が変わったことの認知状況



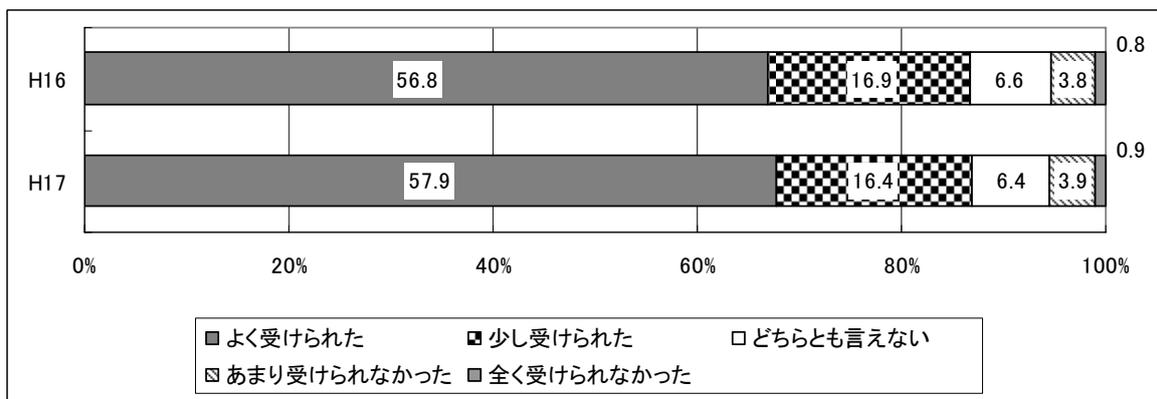
グラフⅢ-19 入院中の質問等を通じた医師への信頼感



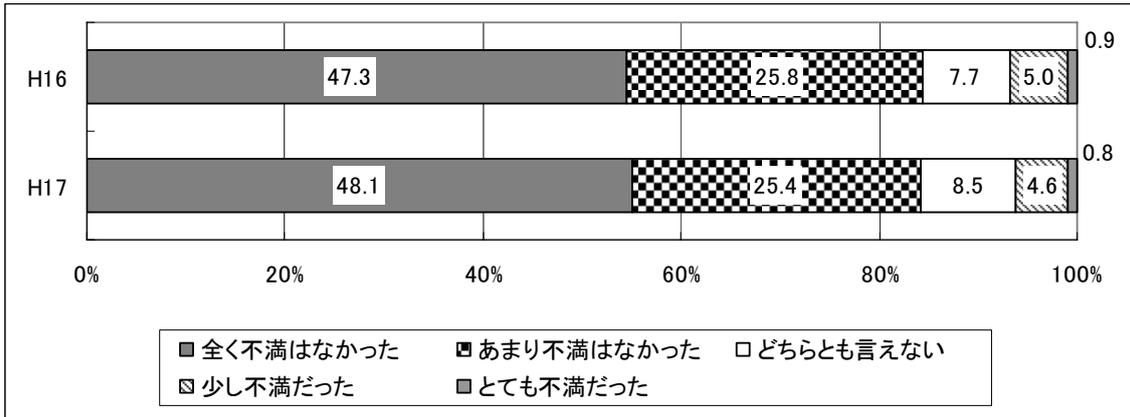
グラフⅢ-20 入院中の療養生活に対する支援への満足度



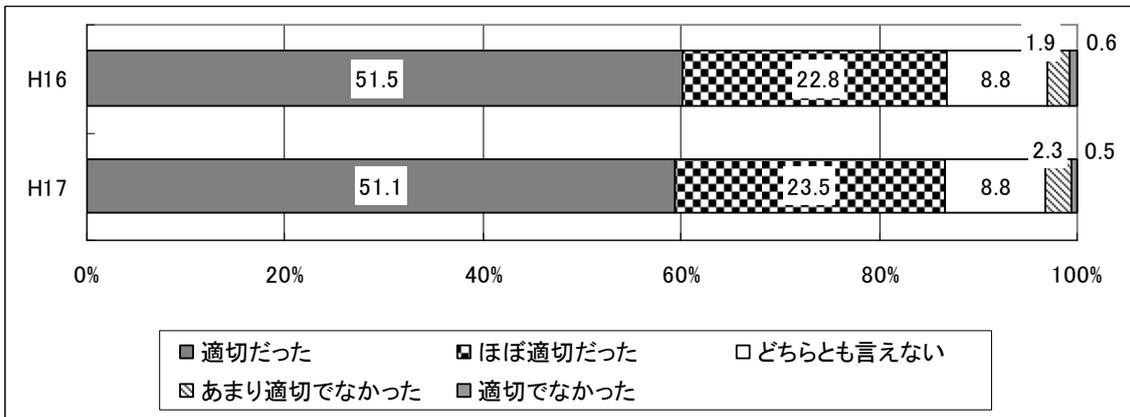
グラフⅢ-21 退院後の生活についての医師等からの説明や支援の有無



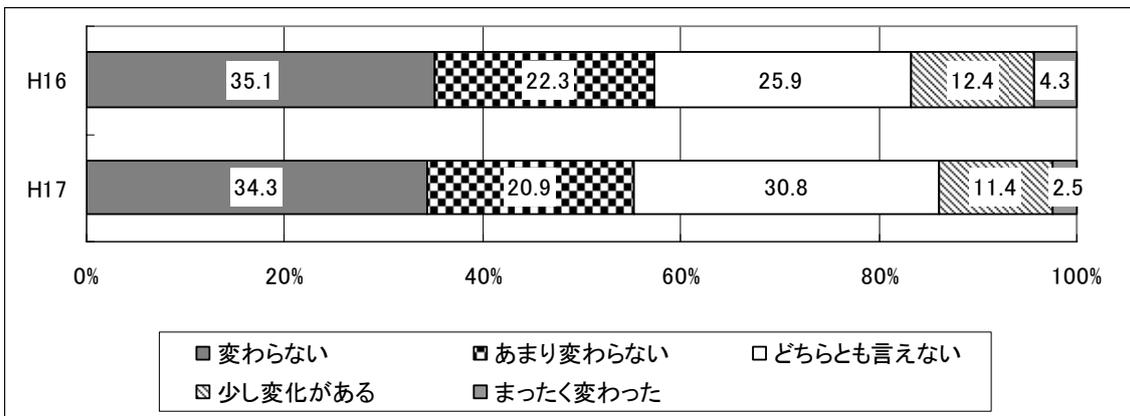
グラフⅢ-22 入院目的の達成状況



グラフⅢ-23 退院の時期についての評価



グラフⅢ-24 D P C導入後の医療内容や入院期間の変化 (1年以上前に入院経験のある患者のみ回答)



第3章 アンケート調査票

1. 医療達成度調査アンケート調査票

1-1. DPC病院および試行的適用病院対象調査

医療達成度に関する職員アンケート調査										
診療報酬調査専門組織 DPC評価分科会 「医療の達成度、患者満足度に係る調査班」										
回答者の方ご自身について、次の各項目についてお答え下さい。										
性別	1 男性	2 女性	年齢	() 歳						
職制	1 医師	2 看護師	経験年数	() 年						
所属	1 内科系 2 外科系 3 その他 ()									
※看護師の所属については、診療科に所属せずに、看護部等に所属している場合は、主に担当している診療科を選んでください。										
以下の質問について、それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。										
質問1 DPCの診断群分類について、どのような分類となっているかといったことなどを、ご自身でどの程度把握し、理解していると思えますか。(1つに○)										
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1 よく理解している</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">4 あまり理解していない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2 ある程度理解している</td> <td style="padding: 5px;">5 まったく理解していない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 どちらとも言えない</td> <td></td> </tr> </table>					1 よく理解している	4 あまり理解していない	2 ある程度理解している	5 まったく理解していない	3 どちらとも言えない	
1 よく理解している	4 あまり理解していない									
2 ある程度理解している	5 まったく理解していない									
3 どちらとも言えない										
質問2 DPCの包括の範囲について、どのような診療行為が出来高で算定可能かといったことなどを、ご自身でどの程度把握し、理解していると思えますか。(1つに○)										
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1 よく理解している</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">4 あまり理解していない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2 ある程度理解している</td> <td style="padding: 5px;">5 まったく理解していない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 どちらとも言えない</td> <td></td> </tr> </table>					1 よく理解している	4 あまり理解していない	2 ある程度理解している	5 まったく理解していない	3 どちらとも言えない	
1 よく理解している	4 あまり理解していない									
2 ある程度理解している	5 まったく理解していない									
3 どちらとも言えない										
質問3 入院時に入院目的(検査・治療方針や手術方法)を十分に患者に説明できていると思えますか。(1つに○)										
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1 よくできている</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">4 あまりできていない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2 少しできている</td> <td style="padding: 5px;">5 まったくできていない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 どちらとも言えない</td> <td></td> </tr> </table>					1 よくできている	4 あまりできていない	2 少しできている	5 まったくできていない	3 どちらとも言えない	
1 よくできている	4 あまりできていない									
2 少しできている	5 まったくできていない									
3 どちらとも言えない										
[質問3で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]										
質問3-2 入院目的を十分に患者に説明できていない理由をお書き下さい。(自由記述)										
質問4 患者に入院期間の説明をする際に、診断群分類ごとに示された平均在院日数を利用していますか。(1つに○)										
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">1 はい</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">2 いいえ</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">3 入院期間の説明はしなかった</td> </tr> </table>					1 はい	2 いいえ	3 入院期間の説明はしなかった			
1 はい	2 いいえ	3 入院期間の説明はしなかった								

質問5 入院中、患者に計画的に医療内容を提供できていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問5で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問5-2 患者に計画的な医療内容を提供できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

質問6 DPCの導入以前と現在を比較して、クリティカルパスは利用されていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 よく利用されている | 4 あまり利用されていない |
| 2 少し利用されている | 5 まったく利用されていない |
| 3 どちらとも言えない | |

質問7 DPCの導入以前と現在を比較して、クリティカルパスの利用状況が変化している場合には、その理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------|
| 1 DPCが導入されたから | 3 たまたま |
| 2 時代の流れだから | |

質問8 入院中に提供している医療内容は、DPCの導入前と比較して変化していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 大きく変化した | 4 あまり変化していない |
| 2 少し変化した | 5 まったく変化していない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問8で「1」または「2」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問8-2 入院中に提供している医療内容は、どのように変化していますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 患者への説明が増えた | 9 薬剤や医療材料の使用が減少した |
| 2 患者参加型の医療が進んだ | 10 使用する薬剤の内容が変化した |
| 3 入院期間が短縮した | 11 治療やケアの標準化が進んだ |
| 4 無理な退院や中途半端な退院が増加した | 12 医療サービスの質が低下した |
| 5 クリティカルパスの利用が増加した | 13 医療サービスの質が向上した |
| 6 計画的な入院、治療が行われた | 14 書類などの事務作業が煩雑になった |
| 7 外来との機能分担が進んだ | 15 コスト意識が高くなった |
| 8 検査が減少した | 16 その他() |

質問9 医師の方にうかがいます。入院中の相談に対する対応などを通じて患者からの信頼感を得ることができていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問9で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問9-2 患者からの信頼感を得ることができていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問10 看護師の方にうかがいます。入院中の看護の方法や療養生活の支援について適切に遂行できていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問10で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問10-2 入院中の看護の方法や療養生活の支援が適切に遂行できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問11 退院にあたり、患者への説明や退院支援を十分に提供できていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問11で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問11-2 退院にあたって患者への説明や退院支援が十分に提供できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問12 入院期間が遷延する場合に紹介転院を勧める機会は増えましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------|
| 1 減った | 4 少し増えた |
| 2 少し減った | 5 増えた |
| 3 どちらとも言えない | |

質問13 退院にあたり、入院目的(検査・治療方針や手術方法)が達成できていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 よく達成できている | 4 あまり達成できていない |
| 2 少し達成できている | 5 まったく達成できていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問13で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問13-2 退院にあたって入院目的が達成できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

問 1 4 退院に際して、医療従事者として納得できる退院となっていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 よく納得できている | 4 あまり納得できていない |
| 2 少し納得できている | 5 まったく納得できていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問 1 4 で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問 1 4-2 医療従事者として納得できる退院となっていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問 1 5 医師の方にうかがいます。DPCが導入されたことで、出来高払いの場合と比べて裁量の幅が増えるなど、診療しやすくなったと思いませんか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 非常にしやすくなった | 4 少ししにくくなった |
| 2 少ししやすくなった | 5 非常にしにくくなった |
| 3 あまり変わらない | |

質問 1 5-2 どのような点でそう思われますか。具体的な内容をお書き下さい。(自由記述)

--

質問 1 6 DPCの導入は医療連携と地域医療にどのような影響を与えと思いませんか。(いくつでも○)

- | |
|-----------------------|
| 1 患者を紹介する頻度が増す |
| 2 機関相互の役割分担が明確になる |
| 3 医療連携クリティカルパスなどが進む |
| 4 地域医療全体の質の向上につながる |
| 5 患者へのわかりやすい情報提供につながる |
| 6 その他 () |

質問 1 7 入院前に入院診療でかかる費用について説明できていますか。(1つに○)

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 尋ねられなかった |
|------|-------|------------|

以上で質問は終わりです。

ご記入後は、添付した封筒に入れ、担当の職員の方にお渡し下さい。

1-2. 調査協力病院対象調査

医療達成度に関する職員アンケート調査

診療報酬調査専門組織 DPC評価分科会
「医療の達成度、患者満足度に係る調査班」

回答者の方ご自身について、次の各項目についてお答え下さい。

性別	1 男性	2 女性	年齢	() 歳
職制	1 医師	2 看護師	経験年数	() 年
所属	1 内科系	2 外科系	3 その他	()

※看護師の所属については、診療科に所属せずに、看護部等に所属している場合は、主に担当している診療科を選んでください。

以下の質問について、それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。

質問1 DPCの診断群分類について、どのような分類となっているかといったことなどを、ご自身でどの程度把握し、理解していると思えますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 よく理解している | 4 あまり理解していない |
| 2 ある程度理解している | 5 まったく理解していない |
| 3 どちらとも言えない | |

質問2 DPCの包括の範囲について、どのような診療行為が出来高で算定可能かといったことなどを、ご自身でどの程度把握し、理解していると思えますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 よく理解している | 4 あまり理解していない |
| 2 ある程度理解している | 5 まったく理解していない |
| 3 どちらとも言えない | |

質問3 入院時に入院目的(検査・治療方針や手術方法)を十分に患者に説明できていると思えますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問3で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問3-2 入院目的を十分に患者に説明できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

質問4 患者に入院期間の説明をする際に、診断群分類ごとに示された平均在院日数を利用していますか。(1つに○)

- | | | |
|------|-------|-----------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 入院期間の説明はしなかった |
|------|-------|-----------------|

質問5 入院中、患者に計画的に医療内容を提供できていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問5で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問5-2 患者に計画的な医療内容を提供できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

質問6 DPCへの調査協力以前と現在を比較して、クリティカルパスは利用されていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 よく利用されている | 4 あまり利用されていない |
| 2 少し利用されている | 5 まったく利用されていない |
| 3 どちらとも言えない | |

質問7 DPCへの調査協力以前と現在を比較して、クリティカルパスの利用状況が変化している場合には、その理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------|
| 1 DPCが導入されたから | 3 たまたま |
| 2 時代の流れだから | |

質問8 入院中に提供している医療内容は、DPCへの調査協力以前と比較して変化していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 大きく変化した | 4 あまり変化していない |
| 2 少し変化した | 5 まったく変化していない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問8で「1」または「2」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問8-2 入院中に提供している医療内容は、どのように変化していますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 患者への説明が増えた | 9 薬剤や医療材料の使用が減少した |
| 2 患者参加型の医療が進んだ | 10 使用する薬剤の内容が変化した |
| 3 入院期間が短縮した | 11 治療やケアの標準化が進んだ |
| 4 無理な退院や中途半端な退院が増加した | 12 医療サービスの質が低下した |
| 5 クリティカルパスの利用が増加した | 13 医療サービスの質が向上した |
| 6 計画的な入院、治療が行われた | 14 書類などの事務作業が煩雑になった |
| 7 外来との機能分担が進んだ | 15 コスト意識が高くなった |
| 8 検査が減少した | 16 その他() |

質問9 医師の方にうかがいます。入院中の相談に対する対応などを通じて患者からの信頼感を得ることができていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問9で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問9-2 患者からの信頼感を得ることができていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問10 看護師の方にうかがいます。入院中の看護の方法や療養生活の支援について適切に遂行できていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問10で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問10-2 入院中の看護の方法や療養生活の支援が適切に遂行できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問11 退院にあたり、患者への説明や退院支援を十分に提供できていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よくできている | 4 あまりできていない |
| 2 少しできている | 5 まったくできていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問11で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問11-2 退院にあたって患者への説明や退院支援が十分に提供できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問12 入院期間が遷延する場合に紹介転院を勧める機会は増えましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------|
| 1 減った | 4 少し増えた |
| 2 少し減った | 5 増えた |
| 3 どちらとも言えない | |

質問13 退院にあたり、入院目的(検査・治療方針や手術方法)が達成できていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 よく達成できている | 4 あまり達成できていない |
| 2 少し達成できている | 5 まったく達成できていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問13で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問13-2 退院にあたって入院目的が達成できていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

問14 退院に際して、医療従事者として納得できる退院となっていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 よく納得できている | 4 あまり納得できていない |
| 2 少し納得できている | 5 まったく納得できていない |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問14で「4」または「5」を選んだ方のみ、回答して下さい。]

質問14-2 医療従事者として納得できる退院となっていない理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問15 DPCの導入は医療連携と地域医療にどのような影響を与えenと思いますか。
(いくつでも○)

- | |
|-----------------------|
| 1 患者を紹介する頻度が増す |
| 2 機関相互の役割分担が明確になる |
| 3 医療連携クリティカルパスなどが進む |
| 4 地域医療全体の質の向上につながる |
| 5 患者へのわかりやすい情報提供につながる |
| 6 その他 () |

質問16 入院前に入院診療でかかる費用について説明できていますか。(1つに○)

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 尋ねられなかった |
|------|-------|------------|

以上で質問は終わりです。

ご記入後は、添付した封筒に入れ、担当の職員の方にお渡し下さい。

2. 患者満足度調査アンケート調査票

2-1. DPC病院および試行的適用病院対象調査

患者満足度に関するアンケート調査			
患者の方ご自身のことについて次の各項目についてお答え下さい。			
年 齢	() 歳	性 別	1 男性 2 女性
当病院への入院回数	1 初めて 2 2回目 3 3回目以上		
入院している科	() 科		
当病院を退院後のご予定	1 自宅療養 2 他病院へ転院 3 その他 ()		
※ご本人以外が回答している場合は、回答している方についてお答え下さい。			
年 齢	() 歳	性 別	1 男性 2 女性
※以下の質問について、それぞれにあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。			
質問1 入院前の説明で、今回の入院目的（検査・治療方針や手術方法）について納得できましたか。			
1 よく納得できた		4 あまり納得できなかった	
2 少し納得できた		5 まったく納得できなかった	
3 どちらとも言えない			
質問2 入院前に入院診療でかかる費用についての説明を受けられましたか。			
1 はい		2 いいえ	
質問3 平成15年度から、入院医療費の算定方法が包括評価に変わっていることをご存知でしたか。			
1 はい		2 いいえ	
質問4 入院中の質問や提案、苦情などを通じて、医師への信頼感を持ってましたか。			
1 よく持てた		4 あまり持てなかった	
2 少し持てた		5 まったく持てなかった	
3 どちらとも言えない			
質問5 入院中の療養生活に対する支援について、不満はなかったでしょうか。			
1 全く不満はなかった		4 少し不満だった	
2 あまり不満はなかった		5 とても不満だった	
3 どちらとも言えない			
質問6 退院後の生活などにつき、医師や看護師から十分な説明や支援を受けることができましたか。			
1 よく受けられた		4 あまり受けられなかった	
2 少し受けられた		5 全く受けられなかった	
3 どちらとも言えない			

質問7 退院にあたり、今回の入院期間で入院目的は達成され、不満はなかったでしょうか。

- | | |
|---------------|------------|
| 1 まったく不満はなかった | 4 少し不満だった |
| 2 あまり不満はなかった | 5 とても不満だった |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問7で「4」または「5」を選んだ方のみお答え下さい。]

質問7-2 不満だった理由をお書き下さい。(自由記述)

質問8 退院の時期はあなたにとって適切だったとお考えですか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 適切だった | 4 あまり適切でなかった |
| 2 ほぼ適切だった | 5 適切でなかった |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問8で「4」または「5」を選んだ方のみお答え下さい。]

質問8-2 退院時期が適切でなかったと思われた理由をお書き下さい。(自由記述)

質問9 平成15年7月以前に入院経験がある方におうかがいします。

入院費の算定方式が包括評価に変わり、医療内容や入院期間に変化を感じられましたか。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 変わらない | 4 少し変化がある |
| 2 あまり変わらない | 5 まったく変わった |
| 3 どちらとも言えない | |

質問は以上で終わりです。

ご記入後は、添付した封筒に入れて、担当の職員にお渡し下さい。

2-2. 調査協力病院対象調査

患者満足度に関するアンケート調査			
患者の方ご自身のことについて次の各項目についてお答え下さい。			
年 齢	() 歳	性 別	1 男 性 2 女 性
当病院への入院回数	1 初めて 2 2回目 3 3回目以上		
入院している科	() 科		
当病院を退院後のご予定	1 自宅療養 2 他病院へ転院 3 その他 ()		
※ご本人以外が回答している場合は、回答している方についてお答え下さい。			
年 齢	() 歳	性 別	1 男 性 2 女 性
※以下の質問について、それぞれにあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。			
質問1 入院前の説明で、今回の入院目的（検査・治療方針や手術方法）について納得できましたか。			
1 よく納得できた		4 あまり納得できなかった	
2 少し納得できた		5 まったく納得できなかった	
3 どちらとも言えない			
質問2 入院前に入院診療でかかる費用についての説明を受けられましたか。			
1 はい		2 いいえ	
質問3 入院中の質問や提案、苦情などを通じて、医師への信頼感を持ってましたか。			
1 よく持てた		4 あまり持てなかった	
2 少し持てた		5 まったく持てなかった	
3 どちらとも言えない			
質問4 入院中の療養生活に対する支援について、不満はなかったでしょうか。			
1 全く不満はなかった		4 少し不満だった	
2 あまり不満はなかった		5 とても不満だった	
3 どちらとも言えない			
質問5 退院後の生活などにつき、医師や看護師から十分な説明や支援を受けることができましたか。			
1 よく受けられた		4 あまり受けられなかった	
2 少し受けられた		5 全く受けられなかった	
3 どちらとも言えない			

質問6 退院にあたり、今回の入院期間で入院目的は達成され、不満はなかったでしょうか。

- | | |
|---------------|------------|
| 1 まったく不満はなかった | 4 少し不満だった |
| 2 あまり不満はなかった | 5 とても不満だった |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問6で「4」または「5」を選んだ方のみお答え下さい。]

質問6-2 不満だった理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問7 退院の時期はあなたにとって適切だったとお考えですか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 適切だった | 4 あまり適切でなかった |
| 2 ほぼ適切だった | 5 適切でなかった |
| 3 どちらとも言えない | |

[質問7で「4」または「5」を選んだ方のみお答え下さい。]

質問7-2 退院時期が適切でなかったと思われた理由をお書き下さい。(自由記述)

--

質問8 この病院に2回以上入院経験がある方におうかがいします。

前回の入院時に比べて、医療内容や入院期間に変化を感じられましたか。

前回の入院時期	年	月頃
---------	---	----

- | | |
|-------------|------------|
| 1 変わらない | 4 少し変化がある |
| 2 あまり変わらない | 5 まったく変わった |
| 3 どちらとも言えない | |

質問は以上で終わりです。

ご記入後は、添付した封筒に入れて、担当の職員にお渡し下さい。